

Iwami Art Museum

平成25
[2013]
年度

年報

島根県立石見美術館

Annual Report April 2013- March 2014

目次 Contents

活動方針・活動内容	1
展覧会一覧	2
企画展	3
特別展	11
コレクション展	16
その他の展覧会	28
教育普及活動	29
ボランティア	32
連携事業	33
所蔵作品一覧	34
新収蔵作品一覧	47
所蔵作品貸出実績	48
入館者数一覧・ミュージアムパスポート会員数一覧	49
収支概要	50
鳥根県芸術文化センター条例	51
鳥根県立石見美術館管理規則	56
施設概要	59
運営組織体制	62
利用案内	63

島根県立石見美術館と島根県芸術文化センター

島根県芸術文化センターは、「島根県立石見美術館」と「島根県立いわみ芸術劇場」の複合施設です。この施設は、石見地域の芸術文化拠点として、美術や音楽、演劇などの分野が相互に協調し、誘発し合いながら、多様で質の高い芸術文化の鑑賞機会を提供します。また、石見地域に育まれてきた文化を大切にしながら、新しい芸術文化の創造をめざします。

活動方針

- 1：芸術を身近に感じる仕組みづくり
- 2：芸術文化を通じたネットワークの支援・育成
- 3：非日常空間の提供
- 4：世界に目を向けた情報発信

島根県立石見美術館

- 1：幅広い視野で多彩な企画展を開催します。また、テーマ性をもった質の高い常設展示を行います。
- 2：地域や分野、年代にとらわれず、優れた国内外の作品を収集します。
- 3：美術作品の収集、および展示、保存、また教育普及に関する調査研究を行います。
- 4：美術に関する理解を深めるための講演会やワークショップなどの教育普及活動を行います。

島根県立いわみ芸術劇場

- 1：芸術文化を鑑賞する場として、また創造する場としての活動を行います。
- 2：優れた芸術文化に接することができるよう充実した自主事業を行います。
- 3：舞台芸術に関する研修機会を提供します。

展覧会一覧

	展示室	展覧会名	会期
企画展	展示室D	和歌と美術 歌のたのしみ、絵のよろこび	平成25年 4月20日～6月3日
		キモノ・ビューティー —シックでモダンな装い 江戸から昭和—	平成25年 7月13日～8月26日
		一木一草に神をみる 自然と美術	平成25年 9月14日～11月4日
		生誕120年 宮芳平 —森鷗外の小説『天龍』の画家—	平成25年12月21日～ 平成26年2月24日
特別展	展示室A	益田糸操り人形	平成25年 8月31日～10月13日
	展示室A	原清 陶芸展	平成25年 10月17日～12月15日
	展示室B	島根のやきもの —近代の出雲・石見の陶芸—	平成25年12月26日～ 平成26年2月16日
	展示室C	森英恵 オートクチュールの精華	平成26年 1月17日～3月3日
コレクション展	展示室A	雲谷派と墨絵の系譜	平成25年 2月27日～4月15日
		布地とデザイン	平成25年 6月6日～7月6日
		なごむ絵	平成25年12月18日～ 平成26年2月3日
		あなたは どう見る? ～よく見て話そう、美術について	平成26年 2月5日～3月24日
	展示室B	根付	平成25年 2月13日～5月6日
		眼力	平成25年 5月8日～6月24日
		かたちを見る	平成25年 6月26日～8月3日
		キモノガールズコレクション	平成25年 8月7日～9月16日
		森鷗外の交友録	平成25年 9月18日～11月18日
		アンドレ・マルティのファッションプレート	平成25年 11月20日～12月23日
	展示室C	プリント柄の魅力	平成25年 3月28日～5月13日
		風景を愉しむ	平成25年 5月15日～7月1日
		ファッションを写す	平成25年 7月3日～8月10日
		刺繍の魔法	平成25年 8月15日～9月30日
		雲谷等顔とその一派	平成25年 10月2日～11月10日
		草間彌生	平成25年11月13日～ 平成26年1月13日
テキスタイル・デザイン		平成26年 3月5日～4月21日	
その他の展覧会	展示室D	第35回島根県独立書人団益田支部書展	平成25年 6月20日～6月24日
		第32回益田市美術展	平成25年 11月14日～11月17日
		第46回島根県総合美術展(県展)移動展	平成25年 12月5日～12月8日
		全島根小中学校図画作品展 益田展	平成26年 3月7日～3月10日

企画展 和歌と美術 歌のたのしみ、絵のよろこび



ポスター



会場



会場



会場

展覧会名：企画展 和歌と美術 歌のたのしみ、絵のよろこび

会 期：平成25年4月20日(土)～6月3日(月)

休 館 日：毎週火曜日(ただし4月30日は開館)

観 覧 料：当日券 一般／1,000(800)円、企画・コレクション展セット1,150(920)円

大学生／600(450)円、企画・コレクション展セット700(530)円

前売券[企画・コレクション展セット]

一般／900円、大学生／500円

*神々の国しまねプロジェクトにより、高校生以下は入場無料

* ()内は20名以上の団体料金

*障害者手帳保持者および介助者は入場無料

主 催：島根県立石見美術館、山陰中央新報社、BSS山陰放送

協 賛：和菓子処 三松堂

内 容

「神々の国しまね 一古事記1300年」事業の一環として開催。島根県の出雲、石見、隠岐の3地方がいずれも和歌にゆかりが深いことから、「和歌の国しまね」とうたい、特に当地、石見ゆかりの柿本人麻呂像を可能な限り集めた。《佐竹本三十六歌仙絵「柿本人麻呂」》、《時代不同歌合》の二点の重要文化財をはじめ、鎌倉時代から現代までの絵画、カルタ、装身具など72点を展覧。日本人が古来よりいかに和歌と美術のコラボレーションを楽しんできたかを紹介した。また、地元の流派による大茶会、飲食業組合とのタイアップによるハマグリ料理の紹介、タクシー組合とタイアップしたタクシープランの企画、協賛の地元和菓子店による展覧会にあわせた新作菓子の開発など、地域との連携も行った。

新聞、雑誌掲載

『美術の窓』2月号 2月20日 川西 由里「和歌の国しまね」で見る、歌と絵の関係

山陰中央新報 4月2日 展覧会告知記事

山陰中央新報 4月20日 開幕記事

山陰中央新報 4月21日 展覧会取材記事

山陰中央新報 4月22日 記念講演会取材記事

山陰中央新報 4月23日～27日 川西 由里 作品紹介

山陰中央新報 4月29日 トークショー取材記事

『美術の窓』5月号 5月20日 川西 由里 展覧会紹介

山陰中央新報 5月8日 展覧会紹介記事

山陰中央新報 5月12日 ワークショップ取材記事

山陰中央新報 5月16日 川西 由里「貝形カルタや貝合せ 文化的で格調高い玩具」

山陰中央新報 5月19日 teaガーデン取材記事

朝日新聞 5月19日 teaガーデン取材記事

山陰中央新報 5月30日 「来て!見て!いわみ 7」「柿本人麻呂像」(京都国立博物館蔵)

印刷物

展覧会ポスター：B2

展覧会チラシ：A4変形

子供のための鑑賞ガイド

オリジナル「ふせん」

先行告知ツール

展覧会図録

(デザイン：すべて野村デザイン制作室)

関連事業

記念講演会「詠まれた「もの」・描かれた「もの」

講 師：並木 誠士(京都工芸繊維大学大学院教授)

日 時：4月21日(日)14:00～15:30

会 場：講義室

参 加 者：33名



トークショー

トークショー「和歌と美術をもっと楽しむ∞のコトバ」

ゲスト：土屋 貴裕(東京国立博物館研究員) 案内役：川西 由里(当館主任学芸員)
 日時：4月28日(日)14:00～15:30
 会場：講義室
 参加者：45名

ワークショップ「ハマグリに歌絵をかこう」

出品作の「貝合せ」にちなみ、益田名物の大きなハマグリの貝に和歌にちなんだ絵を描いた。
 講師：川西 由里(当館主任学芸員)
 日時：5月11日(土)14:00～16:00
 会場：講義室
 参加者：14名



ワークショップ

グラントワ大茶会

地元の4流派による茶会。
 日時：5月4日(土)、5日(日・祝)
 会場：グラントワ中庭広場
 参加者：合計2,715名

グラントワ tea ガーデン「和歌茶(わかちや)」

日時：5月18日(土)11:00～
 会場：美術館ロビー
 参加者：100名

ギャラリートーク

講師：当館学芸員
 日時：4月20日(土)、5月3日(金・祝)、26日(月)、6月2日(日)、いずれも14:00～
 会場：展示室D・A

「かるたくじ」で運だめし！

来場者全員に美術館入口で百人一首カルタを使った「かるたくじ」を引いてもらい、女性歌人の札を引いた方に、オリジナルの「ふせん」をプレゼントした。

三松堂スペシャルデー

展覧会初日と最終日、先着50名に、協賛企業「和菓子処 三松堂」の和菓子をプレゼントした。

企画展 キモノ・ビューティー シックでモダンな装いの美 江戸から昭和



ポスター



会場



会場



会場

展覧会名：企画展 キモノ・ビューティー シックでモダンな装いの美 江戸から昭和
 会 期：平成25年7月13日(土)～8月26日(月)
 休 館 日：毎週火曜日(ただし8月13日は開館)
 観 覧 料：当日券 一般／1,000(800)円、企画・コレクション展セット1,150(920)円
 大学生／600(450)円、企画・コレクション展セット700(530)円
 前売券[企画・コレクション展セット]
 一般／900円、大学生／500円
 *神々の国しまねプロジェクトにより、高校生以下は入場無料
 *()内は20名以上の団体料金
 *障害者手帳保持者および介助者は入場無料
 主 催：鳥根県立石見美術館、山陰中央テレビ、中国新聞社
 後 援：アメリカ大使館、共立女子大学
 協 力：日本航空
 協 賛：資生堂
 企画協力：国際アート

内 容

江戸時代中期から昭和初期に至るきものを中心に、女性の美とともに支えた帯や髪飾り、また当時の風俗をいさぎと描いた絵画作品を合わせて展示し、きもの美と、その装いに対する日本女性の細やかな美意識を検証した。

新聞、雑誌掲載

中国新聞 7月10日 展示作業取材記事
 山陰中央新報 7月13日 内覧会取材記事
 中国新聞 7月26日～28日 川西 由里 作品紹介(前期)
 山陰中央新報 7月25日 川西 由里『吉祥』の婚礼衣裳展示 ポストン美術館から里帰り
 中国新聞 7月23日 和装グループ来場取材記事
 中国新聞 8月4日 メークショー取材記事
 中国新聞 8月15日 記念講演会取材記事
 中国新聞 8月9日～11日 川西 由里 作品紹介(後期)

印刷物

展覧会ポスター：B2
 展覧会チラシ：A4
 子供のための鑑賞ガイド
 割引券：ポストカードサイズ
 オリジナル「あぶらとり紙」
 (デザイン：すべて野村デザイン制作室)

関連事業

記念講演会「きものの美 江戸から昭和まで」

講 師：長崎 巖(共立女子大学教授)
 日 時：8月4日(日)14:00～15:30
 会 場：講義室
 参 加 者：37名

川島成道ヴァイオリンミニコンサート

日 時：7月14日(日)14:00～15:00
 会 場：展示室A
 参 加 者：80名

ワークショップ「とんぼ玉をつくろう！」

講 師：いいだ みつこ(いいだガラス工房)
 日 時：7月20日(土)10:00～14:00(12:00～13:00 昼休憩)／13:30～17:00
 会 場：多目的ギャラリー
 参 加 者：合計20名



記念講演会

資生堂Beauty up メークショー

きものに合うメークアップを紹介した。

講師：光石 幸代(資生堂ビューティースペシャリスト)
 日時：8月3日(土) 11:00～/13:30～/15:00～
 会場：大ホールホワイエ
 参加者：合計83名

グラントワ tea ガーデン「オトメ茶」

日時：7月28日(日) 11:00～
 会場：美術館ロビー
 参加者：100名



ワークショップ

ギャラリートーク

講師：当館学芸員
 日時：7月13日(土)、28日(日)、8月11日(日)、25日(日)いずれも14:00～
 会場：展示室D・A

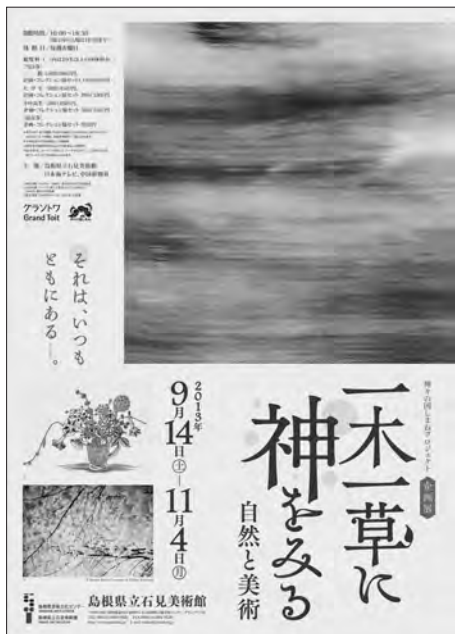
老若男女、キモノで無料!

和装(着物、浴衣)で来場の方を展覧会に無料で招待した。

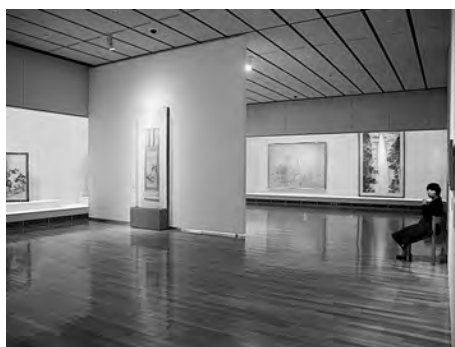
グラントワ会員限定特典「展覧会を2回みてプレゼントをもらおう!!!」

前期後期で大幅に展示が入れ替わるため、パスポート会員・共通会員で会期中に2回入場した方に、オリジナル「ビューティーグッズ」(あぶらとり紙)をプレゼントした。

企画展 一木一草に神をみる 自然と美術



ポスター



会場



会場



内覧会

展覧会名：企画展 一木一草に神をみる 自然と美術

会 期：平成25年9月14日(土)～11月4日(月・休)

休 館 日：毎週火曜日

観 覧 料：当日券 一般／1,000(800)円、企画・コレクション展セット1,150(920)円
 大学生／600(450)円、企画・コレクション展セット700(530)円
 小中高生／300(250)円、企画・コレクション展セット300(250)円

前売券[企画・コレクション展セット]

一般／900円、大学生／500円、小中高生／200円

* ()内は20名以上の団体料金。

*小中高生の学校利用は無料。

*障害者手帳をお持ちの方、およびその付き添いの方は入場無料。

主 催：島根県立石見美術館、日本海テレビ、中国新聞社

内 容

古事記編纂1300年を記念する「神々の国しまねプロジェクト」のひとつとして開催された展覧会。『古事記』において、自然は神そのものとして創出されながら、人のように情感豊かな存在としてえがかれる。また、天岩戸や八岐大蛇の物語は脅威ともなる自然を寓意的に示すものともいう。こうした描かれ方には一体でありながら畏れの対象であるという当時の人々の自然観がうかがえる。一方、現代の版画家である長谷川潔は、一木一草の中に神性を見出し、自然の描写を通して世界の心理に迫ろうと試みた。こうした長谷川の感覚を、『古事記』の時代の自然観よりつながるものと捉え、中近世から近現代までの美術作品80点により、改めて日本人固有の自然観をたどろうという試みであった。

新聞、雑誌掲載

『美術の窓』9月号 9月20日 廣田 理紗「風景と日本人 森羅万象に神を見る」

読売新聞 8月30日 展覧会紹介記事

山陰中央新報 9月14日 開幕記事

中国新聞 9月15日 ワークショップ取材記事 木片リアルな草木に

中国新聞 9月22日 ワークショップ取材記事 大木仰ぎ湧く畏敬の念

中国新聞 9月30日 展覧会紹介記事 学芸員、見どころ紹介

中国新聞 10月12日 作品紹介 廣田 理紗「子安観音菩薩坐像(立木仏)」

中国新聞 10月13日 作品紹介 廣田 理紗「四季耕作図屏風」

中国新聞 10月14日 作品紹介 廣田 理紗「風」

中国新聞 10月16日 作品紹介 廣田 理紗「コップに挿した野花(百日草と昼顔)」

中国新聞 10月17日 作品紹介 廣田 理紗「カナムグラ」

印刷物

展覧会ポスター：B2

展覧会チラシ：A4変形

子供のための鑑賞ガイド：B4二つ折り

(デザイン：すべて松陽印刷所)



公開制作



神さまをさがしに、山へいこう



身近な草をよく見よう、描いてみよう

関連事業

公開制作 「須田悦弘「草」をつくる」

展覧会出品作家の須田悦弘が、観覧者の目の前で彫刻作品「草」を公開制作した。

講師：山梨 絵美子(東京文化財研究所 近・現代視覚芸術研究室長)

日時：9月14日(土)10:00～18:00(途中に休憩あり)

会場：美術館ロビー

参加者：約70名

ワークショップ 「山野散策 神さまをさがしに、山へいこう」

神話や言い伝えの残る巨木を訪ね、当館が位置する益田市内の山野を散策し、樹木に宿る神性を体感してみようというイベント。公民館館長ら、地元の歴史と自然との関わりに詳しい人物に話を聞くなどした。

日時：9月21日(土)9:30集合 16:00解散(12:00～13:00休憩)

集合場所：講義室

対象：小学校4年生以上

参加者：24名

デッサン教室 「身近な草をよく見よう、描いてみよう」

当館の敷地内に生える雑草を採取して観察し、丁寧にデッサンした。

講師：左近充 直美(当館専門学芸員)

日時：10月12日(土)10:00～15:00

会場：講義室

対象：小学校4年生以上

参加者：10名

美術講座 「美術家たちがとらえた自然」

講師：廣田 理紗(当館主任学芸員)

日時：10月27日(日)14:00～15:30

会場：講義室

参加者：6名

ギャラリートーク

講師：当館学芸員

日時：9月29日(日)、10月6日(日)、11月2日(土)、3日(日・祝)、4日(月)
いずれも14:00～

会場：展示室D

グラントワteaガーデン「草木茶(そうもくちゃ)」

日時：9月21日(土)11:00～

会場：美術館ロビー

参加者：100名

オリジナル「シード・ペーパー」プレゼント

会期中毎日先着20名の来場者に、草の種が漉き込まれた「シード・ペーパー」をプレゼントした。

このほか会期中には、開館8周年を記念するイベント「きんさいデー」(入館無料日)を10月6日(日)に実施した。

企画展 生誕120年 宮芳平 森鷗外の小説『天寵』の画家



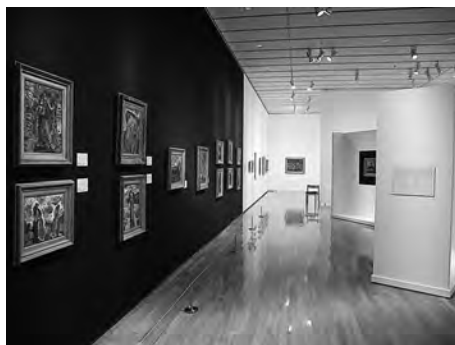
ポスター



会場



会場



会場

展覧会名：企画展 生誕120年 宮芳平 森鷗外の小説『天寵』の画家

会 期：平成25年12月21日(土)～平成26年2月24日(月)

休 館 日：毎週火曜日(ただし12月24日、2月11日は開館)、年末年始の12月28日(土)～1月1日(水)、2月12日(水)

観 覧 料：当日券 一般／1,000(800)円、企画・コレクション展セット1,150(920)円
 大学生／600(450)円、企画・コレクション展セット700(530)円
 小中高生／300(250)円、企画・コレクション展セット300(250)円
 前売券[企画・コレクション展セット]
 900円

* ()内は20名以上の団体料金。

* 小中高生の学校利用は無料。

* 障害者手帳保持者および介助者は入場無料。

主 催：島根県立石見美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会、日本海テレビ

協 賛：ライオン、清水建設、大日本印刷、損保ジャパン

協 力：日本通運

内 容

森鷗外の短編小説『天寵』の主人公のモデルとなった画家・宮芳平の回顧展。鷗外との出会いのきっかけとなった油彩画《椿》や、鷗外が所有し住居・観潮楼に飾っていた《落ちたる楽人》などの初期作品をはじめ、師事した洋画家中村彝の紹介で長野県諏訪の美術教師となり、生徒達を指導しながら描き続けた諏訪の風景や家族の肖像、さらに晩年の「聖地巡礼シリーズ」など、油彩画を中心に、素描、銅版画、ペン画といった多彩なジャンルで、詩的情緒にあふれた画業の全貌をたどった。

新聞、雑誌掲載

『さんいんキラリ』No.29 12月9日 展覧会紹介記事

島根日日新聞 12月21日 開幕記事「『天寵』の画家 作品並ぶ」

山陰中央新報 12月21日 開幕記事「風景や人物画250点展示」

読売新聞 12月21日 開幕記事「鷗外『天寵』のモデル 宮芳平生誕120年展」

読売新聞 12月22日 開幕記事「洋画家の宮芳平 多彩な技法245点」

中国新聞 1月5日 展覧会紹介記事「森鷗外の小説『天寵』のモデル 宮芳平の画業たどる」

読売新聞 1月12日 「声優・銀河万丈さん 宮芳平の詩文朗読」

読売新聞 1月14日 学芸員が作品解説の記事

朝日新聞 1月24日 展覧会紹介記事「洋画家・宮芳平まとめて鑑賞」

中国新聞 2月2日 朗読会記事「宮・鷗外の交流 しっとり朗読」

中国新聞 2月15日 展覧会紹介記事「宮芳平 恵みに満ちた画業」

印刷物

展覧会ポスター：B2

展覧会チラシ：A4変形

子供のための鑑賞ガイド

(デザイン：すべて野村デザイン制作室)



記念講演会

関連事業

記念講演会「天才ではない作家の生き方 宮芳平の魅力」

宮芳平の作品やエピソードなど、親しみやすい画家の魅力についてお話いただいた。聴講者には、宮が好きだった珈琲とチョコレートを賞味してもらい、和やかな雰囲気を楽しみながら聴講してもらった。

講師：堀切 正人(常葉大学教育学部准教授)

日時：1月26日(日)14:00～15:30

会場：講義室

参加者：38名



読み語り

銀河万丈(声優)による読み語り

声優の銀河万丈氏による読み語りを実施した。生涯に多くの詩文を残した宮芳平の世界観を、現在第一線で活躍中の声優の語りで体験してもらった。

日時：2月1日(土)15:00～16:30

会場：大ホールホワイエ

参加者：50名

美術講座「森鷗外の小説『天寵』と宮芳平」

森鷗外の小説『天寵』に登場する画学生という視点から、宮と鷗外との関係を中心に展示会のみどころをお話した。

講師：左近充 直美(当館専門学芸員)

日時：1月19日(日)14:00～15:30

会場：講義室

参加者：25名



美術講座

ギャラリートーク

講師：左近充 直美(当館専門学芸員)

日時：12月23日(月・祝)、1月5日(日)、13日(月・祝)、2月9日(日)、16日(日)
いずれも14:00～15:00

会場：展示室D

プレゼント企画

クリスマス企画として、会期中の12月24日(火)に、先着100名に展示会をイメージしたオリジナルスイーツをプレゼントした。また、バレンタイン企画として、会期中の2月1日(土)～14日(金)まで、パスポート会員を対象に関連グッズが当たる特別抽選会を行った。



ギャラリートーク

グラントワ tea ガーデン「福茶」

来館者にお正月にちなんだ飲み物をふるまった。

日時：1月2日(土)11:00～

会場：美術館ロビー

参加者：100名

特別展

展示室A 益田糸操り人形

会 期：平成25年8月31日(土)～10月13日(日)

内 容：島根県益田市に伝わる民俗芸能「糸操り人形」。昭和38年(1963)に島根県無形民俗文化財に指定されて50周年を迎えたのを機に貴重な人形や道具を一挙公開。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1		糸操り人形「三十三間堂棟木の由来 平太郎住家の段」平太郎	近代		益田市
2		糸操り人形「三十三間堂棟木の由来 平太郎住家の段」緑丸	近代		益田市
3		糸操り人形「三十三間堂棟木の由来 平太郎住家の段」車引	近代		益田市
4		糸操り人形「伊達娘恋の緋廉子 八百屋お七の段」お七	近代		益田市
5		糸操り人形「傾城阿波の鳴門 巡礼歌の段」おつる	近代		益田市
6		糸操り人形「傾城阿波の鳴門 巡礼歌の段」お弓	近代		益田市
7		糸操り人形「絵本太功記 十段目 尼ヶ崎の段」光秀	近代		益田市
8		糸操り人形「絵本太功記 十段目 尼ヶ崎の段」臯月	近代		益田市
9		糸操り人形「絵本太功記 十段目 尼ヶ崎の段」茶坊主	近代		益田市
10		糸操り人形「絵本太功記 十段目 尼ヶ崎の段」十次郎	近代		益田市
11		糸操り人形「絵本太功記 十段目 尼ヶ崎の段」初菊	近代		益田市
12		糸操り人形「増補朝顔日記 宿屋の段」みゆき	近代		益田市
13		糸操り人形「増補朝顔日記 宿屋の段」駒沢	近代		益田市
14		糸操り人形「増補朝顔日記 宿屋の段」宿の主人	近代		益田市
15		糸操り人形「増補朝顔日記 宿屋の段」女中	近代		益田市
16		糸操り人形 黒馬	近代		益田市
17		糸操り人形 白馬	近代		益田市
18		看板絵 一式	近代		益田市

新聞、雑誌掲載

『美術屋 百兵衛』8月号 7月13日 展覧会紹介記事

『さんいんキラリ』No.28 8月8日 展覧会紹介記事

毎日新聞 9月12日 展覧会紹介記事

中国新聞 10月4日 展覧会紹介記事

展示室A 原清 陶芸展

会 期：平成25年10月17日(木)～12月15日(日)

内 容：島根県出雲市出身の「人間国宝」原清氏から島根県に寄贈を受けた作品を展示した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	寸法	所蔵
1	原 清	葡萄文鉢	1960年	口径31.5 高さ9.0	島根県立美術館
2	原 清	白磁小壺	1960年	高さ10.0	島根県立美術館
3	原 清	白磁急須	1960年	高さ9.0	島根県立美術館
4	原 清	灰釉の皿	1961年	口径26.0 高さ5.0	島根県立美術館
5	原 清	灰釉の皿	1961年	口径25.0 高さ5.0	島根県立美術館
6	原 清	焼き締め組皿	1961年	(各)口径15.5～17.0	島根県立美術館
7	原 清	灰釉輪花皿	1962年	口径44.0 高さ8.0	島根県立美術館
8	原 清	灰釉渦巻き文大壺	1965年	口径24.0 高さ31.0	島根県立美術館
9	原 清	白釉茶碗	1965年	口径14.5 高さ6.5	島根県立美術館
10	原 清	洗い出し文花器	1968年	底径10.0 高さ30.0	島根県立美術館
11	原 清	洗い出し文花器	1968年	胴径10.0 高さ25.0	島根県立美術館
12	原 清	井戸茶碗	1968年	口径14.5 高さ9.0	島根県立美術館
13	原 清	鈞窯輪花大鉢	1969年	口径39.0 高さ17.0	島根県立美術館
14	原 清	鉛釉八角高杯鉢	1969年	口径37.5～41.0 高さ14.0	島根県立美術館
15	原 清	鈞窯魚文大皿	1973年	口径44.0 高さ7.3	島根県立美術館

No	作家名	作品名	制作年	寸法	所蔵
16	原 清	飴釉掻き落とし水指	1974年	胴径20.0 高さ19.0	島根県立美術館
17	原 清	刷毛目水指	1974年	胴径19.0 高さ18.0	島根県立美術館
18	原 清	飴釉水指	1974年	胴径18.0 高さ15.5	島根県立美術館
19	原 清	刷毛目茶碗	1974年	口径14.0 高さ7.5	島根県立美術館
20	原 清	十分の盃	1975年	口径7.0 高さ5.0	島根県立美術館
21	原 清	碧釉八角金彩大鉢	1979年	口径42.5～45.5 高さ7.5	島根県立美術館
22	原 清	碧釉鳥文陶筥	1979年	タテ8.5 ヨコ12.3 高さ8.5	島根県立美術館
23	原 清	碧釉金彩陶筥	1979年	タテ9.0 ヨコ12.5 高さ9.3	島根県立美術館
24	原 清	千点文茶碗	1979年	口径11.2 高さ8.0	島根県立美術館
25	原 清	千点文茶碗	1979年	口径20.0 高さ6.5	島根県立美術館
26	原 清	緑釉俎板皿	1980年	タテ20.0 ヨコ43.5	島根県立美術館
27	原 清	白縁天目鉢	1980年	口径21.5 高さ10.5	島根県立美術館
28	原 清	鈞窯の壺	1980年	口径17.0 胴径38.0 高さ43.5	島根県立美術館
29	原 清	粉引鉄絵一輪生	1980年	胴径9.0 高さ23.0	島根県立美術館
30	原 清	銀彩彩色陶筥	1980年	タテ8.5 ヨコ12.5 高さ10.5	島根県立美術館
31	原 清	鉄釉唐草文陶筥	1980年	タテ8.5 ヨコ14.5 高さ8.8	島根県立美術館
32	原 清	粉引手土瓶	1980年	高さ11.0	島根県立美術館
33	原 清	粉引黒斑文茶碗	1980年	口径12.0 高さ9.0 底径5.0	島根県立美術館
34	原 清	鉄釉馬文大壺	1982年	口径20.0 胴径38.0 高さ45.0	島根県立美術館
35	原 清	扇形白梅文陶筥	1982年	ヨコ16.5 高さ6.0	島根県立美術館
36	原 清	粉引振り出し	1982年	高さ10.0	島根県立美術館
37	原 清	ダミ絵文振り出し	1982年	高さ8.5	島根県立美術館
38	原 清	赤絵振り出し	1982年	高さ8.5	島根県立美術館
39	原 清	呉須絵振り出し	1982年	高さ9.0	島根県立美術館
40	原 清	粉引振り出し	1982年	高さ8.5	島根県立美術館
41	原 清	鈞窯振り出し	1982年	高さ6.5	島根県立美術館
42	原 清	井戸茶碗	1983年	口径15.0 高さ8.5	島根県立美術館
43	原 清	唐津手茶碗	1984年	口径13.5 高さ8.5	島根県立美術館
44	原 清	緑釉急須	1985年	高さ10.0	島根県立美術館
45	原 清	緑釉急須	1985年	高さ8.0	島根県立美術館
46	原 清	鈞窯急須	1985年	高さ10.0	島根県立美術館
47	原 清	緑釉葉皿	1985年	(各)タテ9.0 ヨコ27.0	島根県立美術館
48	原 清	青磁瓢型花入れ	1986年	胴径13.0 高さ25.5	島根県立美術館
49	原 清	青磁手付花入れ	1986年	胴径14.5 高さ26.5	島根県立美術館
50	原 清	青磁茶碗	1986年	口径14.3 高さ7.0	島根県立美術館
51	原 清	青磁馬上盃	1986年	口径5.5 高さ7.0	島根県立美術館
52	原 清	鉄釉馬文大壺	1987年	口径14.0 胴径36.0 高さ36.5	島根県立美術館
53	原 清	柿釉金彩壺	1989年	胴径24.0 高さ24.5	島根県立美術館
54	原 清	鉄釉褐斑文手付花瓶	1989年	胴径8.0 高さ25.5	島根県立美術館
55	原 清	鉄釉白堆線一輪生	1989年	高さ20.0	島根県立美術館
56	原 清	鉄釉双耳堆線壺	1989年	胴径21.5 高さ19.0	島根県立美術館
57	原 清	柿釉金彩小壺	1989年	高さ10.0	島根県立美術館
58	原 清	鉄釉白堆線小壺	1989年	高さ9.5	島根県立美術館
59	原 清	柿釉鳥形香合	1989年	ヨコ10.5 高さ5.0	島根県立美術館
60	原 清	鈞窯茶碗	1989年	口径13.0 高さ9.0	島根県立美術館
61	原 清	柿釉金彩馬上盃	1989年	口径6.5 高さ6.0	島根県立美術館
62	原 清	赤絵汲みだし茶碗	1990年	(各)高さ9.5	島根県立美術館
63	原 清	黄瀬戸茶碗	1990年	口径13.0 高さ8.0	島根県立美術館
64	原 清	黄瀬戸鉢	1991年	口径25.5 高さ6.5	島根県立美術館
65	原 清	鈞窯月白紅彩大皿	1993年	口径28.5 高さ7.2	島根県立美術館
66	原 清	灰釉の扁壺	1993年	胴径15.5～20.5 高さ25.5	島根県立美術館
67	原 清	翠磁縞文一輪生	1993年	高さ21.0	島根県立美術館
68	原 清	翠磁縞文水指	1993年	胴径21.0 高さ17.5	島根県立美術館
69	原 清	翠磁縞手香炉	1993年	高さ14.0	島根県立美術館
70	原 清	翠磁刻文香合	1993年	口径7.0 高さ3.5	島根県立美術館
71	原 清	灰釉茶碗	1993年	口径13.3 高さ7.5	島根県立美術館
72	原 清	翠磁刻文茶碗	1993年	口径15.3 高さ5.5	島根県立美術館
73	原 清	翠磁馬上盃	1993年	口径7.0 高さ6.0	島根県立美術館
74	原 清	鉄釉鳥文大鉢	1995年	口径45.5 高さ8.0	島根県立美術館
75	原 清	鉄釉粟文扁壺	1995年	胴径17.0～21.5 高さ29.5	島根県立美術館

No.	作家名	作品名	制作年	寸法	所蔵
76	原 清	柿釉黒斑文茶碗	1995年	口径13.0 高さ8.8	島根県立美術館
77	原 清	鈞窯馬上盃	1995年	口径7.8 高さ6.5	島根県立美術館
78	原 清	柿釉黒斑文大鉢	1996年	口径41.2 高さ9.8	島根県立美術館
79	原 清	鉄釉褐斑文大鉢	1996年	口径46.0 高さ15.0	島根県立美術館
80	原 清	黒釉彩色花器	1996年	口径22.0~45.5 高さ41.0	島根県立美術館
81	原 清	鉄釉葡萄文壺	1996年	口径12.5 胴径32.5 高さ36.5	島根県立美術館
82	原 清	黒釉方形彩色花器	1996年	胴径13.0 高さ28.0	島根県立美術館
83	原 清	黄釉縞手蓋物	1996年	胴径9.0 高さ11.0	島根県立美術館
84	原 清	鉄釉唐草鳥文大皿	1997年	口径50.0 高さ7.5	島根県立美術館
85	原 清	鈞窯輪花鉢	1998年	口径22.0 高さ10.5	島根県立美術館
86	原 清	淡翠釉子犬彫文大壺	1998年	口径12.0 胴径34.0 高さ37.0	島根県立美術館
87	原 清	淡翠釉浮文茶碗	1998年	口径12.8 高さ8.5	島根県立美術館
88	原 清	鉄斑茶碗	1998年	口径14.0 高さ7.7	島根県立美術館
89	原 清	白兔文酒盃	1998年	口径7.0 高さ4.0	島根県立美術館
90	原 清	粉引茶碗	1999年	口径12.5 高さ8.5	島根県立美術館
91	原 清	粉引梅花文茶碗	1999年	口径13.0 高さ7.5	島根県立美術館
92	原 清	粉引梅花文酒盃	1999年	口径6.0 高さ4.0	島根県立美術館
93	原 清	鈞窯香炉	2000年	高さ12.0	島根県立美術館
94	原 清	赤絵急須	2000年	高さ13.5	島根県立美術館
95	原 清	鈞窯香合	2000年	口径9.0 高さ5.0	島根県立美術館
96	原 清	赤絵酒盃	2000年	口径6.5 高さ5.0	島根県立美術館
97	原 清	灰釉酒器	2001年	高さ19.5	島根県立美術館
98	原 清	白釉酒器	2001年	高さ9.5	島根県立美術館
99	原 清	灰釉香合	2001年	口径5.2 高さ3.5	島根県立美術館
100	原 清	鈞窯瓶子型花瓶	2005年	胴径22.0 高さ30.0	島根県立美術館
101	原 清	鈞窯紅彩壺	2005年	胴径23.5 高さ24.0	島根県立美術館
102	原 清	鈞窯手付紅斑花瓶	2005年	胴径14.0 高さ21.5	島根県立美術館
103	原 清	油滴茶碗	2005年	口径13.5 高さ7.8	島根県立美術館
104	原 清	油滴茶碗	2005年	口径12.5 高さ8.5	島根県立美術館
105	原 清	木の葉茶碗	2006年	口径14.0 高さ7.5	島根県立美術館
106	原 清	鉄釉草花文大壺	2009年	口径18.0 胴径36.5 高さ38.5	島根県立美術館
107	原 清	鉄釉花鳥文香合	2009年	口径6.8 高さ5.0	島根県立美術館
108	原 清	鉄釉縞香合	2009年	口径7.0 高さ6.5	島根県立美術館
109	原 清	鉄釉花鳥文盒子	2010年	胴径21.5 高さ12.0	島根県立美術館
110	原 清	鉄釉酒器	2010年	高さ12.5	島根県立美術館
111	原 清	鈞窯酒盃	2010年	口径7.0 高さ5.0	島根県立美術館
112	原 清	鉄釉草花文酒盃	2011年	口径6.5 高さ5.0	島根県立美術館
113	原 清	鉄釉花鳥文文鎮	2011年	タテ5.0 ヨコ33.5	島根県立美術館
114	原 清	灰釉輪花大鉢	1990年	口径48.5 高さ10.0	島根県立美術館
115	原 清	翠釉鳥文陶笥	1995年	タテ・ヨコ20.5 高さ15.3	島根県立美術館
116	原 清	鈞窯鉢	1998年	口径38.0 高さ10.5	島根県立美術館

印刷物

展覧会チラシ：A4(デザイン：Aida Yoshiyuki Design)

関連事業

陶芸家・原清氏によるスペシャル・ギャラリートーク

日 時：10月27日(日)11:00～12:00

会 場：展示室A

新聞、雑誌掲載

毎日新聞 11月22日 展覧会情報

毎日新聞 11月28日 展覧会紹介情報

『Grande ひろしま』vol.3 12月1日 展覧会情報

山陰中央新報12月4日 展覧会紹介記事



チラシ

展示室B 島根のやきもの—近代の出雲・石見の陶芸—

会 期：平成25年12月26日(木)～平成26年2月16日(日)

内 容：明治期から昭和初期にかけての出雲・石見それぞれの地方の特色ある陶器を紹介した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	永原 英造	布志名焼 上絵金銀彩唐草文鉢	明治10～21年	陶土	島根県立美術館
2	船木 樽之助	布志名焼 上絵金彩珈琲器	明治14年頃	陶土	島根県立美術館
3	製陶舎	布志名焼 上絵金彩花鳥文紅茶器	明治20年代	陶土	個人蔵
4	製陶舎	布志名焼 上絵金彩花鳥文皿	明治20年代	陶土	個人蔵
5	製陶舎	布志名焼 釉下彩牡丹図葡萄酒注	明治25～35年頃	陶土	個人蔵
6	楽山窯	楽山焼 上絵金彩花鳥図花瓶	明治20年代	陶土	島根県立美術館
7	灘船木窯	布志名焼 上絵金彩花鳥文花瓶	明治20年代	陶土	島根県立美術館
8	灘船木窯	布志名焼 釉下彩牡丹雀図花瓶	明治30年代	陶土	個人蔵
9	灘船木窯	布志名焼 緑釉チョコレート器	明治30年代～大正時代	陶土	個人蔵
10	灘船木窯	布志名焼 辰砂釉水注	明治30年代～大正時代	陶土	個人蔵
11	袖師窯	布志名焼 緑釉銀彩龍文紅茶器	明治30年代～大正時代	陶土	島根県立美術館
12	舟木合名会社/丸三陶器商会?	布志名焼 銀彩煎茶器	明治30年代～	陶土	個人蔵
13	灘船木窯	布志名焼 釉下彩牡丹雀図火鉢	明治30年代	陶土	個人蔵
14	舟木合名会社	布志名焼 釉下彩皿	明治31～36年頃	陶土	個人蔵
15	舟木合名会社	布志名焼 釉下彩煎茶器	明治31～36年頃	陶土	個人蔵
16	舟木合名会社	布志名焼 釉下彩碗	明治31～36年頃	陶土	個人蔵
17	舟木合名会社	布志名焼 釉下彩風景図皿	明治31～36年頃	陶土	個人蔵
18	製陶舎	布志名焼 釉下彩皿	明治31～35年頃	陶土	個人蔵
19	舟木合名会社/丸三陶器商会?	布志名焼 釉下彩竹雀図花入	明治30年代～	陶土	松江市立出雲玉作資料館
20	灘船木窯	布志名焼 釉下彩鯉図花瓶	明治30年代～大正時代	陶土	個人蔵
21	灘船木窯	布志名焼 釉下彩栗啄木鳥図花瓶	明治30年代～大正時代	陶土	個人蔵
22		布志名焼 釉下彩鯉図花瓶	明治30年代～	陶土	個人蔵
23	喜阿弥窯	喜阿弥焼 飴釉壺		陶土	個人蔵、益田市立歴史民俗資料館
24	喜阿弥窯	喜阿弥焼 土瓶		陶土	個人蔵
25	喜阿弥窯	喜阿弥焼 飴釉壺		陶土	益田市立歴史民俗資料館
26	喜阿弥窯	喜阿弥焼 飴釉徳利		陶土	益田市立歴史民俗資料館
27	喜阿弥窯	喜阿弥焼 徳利		陶土	益田市立歴史民俗資料館
28	河井 寛次郎	笹碗	昭和10年頃	陶土	島根県立美術館
29	河井 寛次郎	草花文土瓶	昭和10年頃	陶土	島根県立美術館

新聞、雑誌掲載

『さんいんキラリ』No.29 12月9日 展覧会情報

山陰中央新報 12月26日 展覧会情報

山陰中央新報 1月16日 展覧会紹介記事

展示室C 森英恵 オートクチュールの精華

会 期：平成26年1月17日(金)～3月3日(月)

内 容：森英恵氏が衣装を担当したオペラ「夕鶴」が、いわみ芸術劇場で開催されるのにあわせ、当館所蔵の森英恵作品を特集展示した。平成24年度に森氏から当館に寄贈されたオートクチュールの作品のお披露目の機会ともなった。

出品リスト

No.	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	イブニングコート、ショートドレス	1964年 春夏	純金帯地(西陣織)のイブニングコート、ショートドレスのスカート。ショートドレスのトップスは絹サテンと帯地。アンダーウエア付。	島根県立石見美術館
2	ジャンプスーツ、カフタン	1966年	菊を同柄でプリントした綾絹と絹シフォン。絹サテンのベルト。	島根県立石見美術館
3	イブニングコート、ドレス	1968年	帯地風に仕立てた西陣織のイブニングコート。赤と白の絹サテンのロングドレス。赤い絹サテンのベルト付。	島根県立石見美術館
4	カフタン、ドレス「蝶のカフタン」	1976年 春夏	蝶をプリントした絹シフォンと綾絹。同柄の絹シフォンのストール付。	島根県立石見美術館
5	カフタン、ドレス「蝶のカフタン」	1976年 春夏	蝶をプリントした絹シフォンと綾絹。ネックにビーズ刺繍。	島根県立石見美術館
6	イブニング・ドレス「花の白いドレス」	1981年 春夏	白い絹クレープのワンピースドレス。絹サテンとビーズのアププリケ。	島根県立石見美術館
7	イブニング・ドレス「花の黒いドレス」	1981年 春夏	黒い絹クレープのワンピースドレス。絹サテンとビーズのアププリケ。	島根県立石見美術館
8	イブニング・ドレス「蝶の赤いドレス」	1990年 春夏	赤い絹クレープのワンピースドレス。	島根県立石見美術館
9	イブニング・ドレス「蝶を染めたベルベットのドレス」	1996 秋冬年	ピンク色絹ベルベットのワンピースドレス。	島根県立石見美術館
10	イブニング・ドレス「北斎の版画のように、山の風景を染めた絹のドレス」	1996年 春夏	墨絵風の柄をプリントした絹シフォン。絹サテンのワンピースドレス。	島根県立石見美術館
11	イブニング・ドレス「蒔絵を思わせる赤いサテンのイブニング・ドレス」	1994年 秋冬	刺繍とプリントで秋草をあしらった赤い絹サテンのロングドレス。	島根県立石見美術館
12	イブニング・ドレス「りんごの花のドレス」	1998年 春夏	りんごの花をプリントした絹シフォンのロングドレス。マーメイドライン。スパングルによる刺繍。	島根県立石見美術館
13	イブニング・ドレス「コーラル色の花を縫いとったレースのドレス」	1998年 秋冬	チュール地に珊瑚色の花の刺繍した、ワンショルダーのロングドレス。	島根県立石見美術館
14	イブニング・ドレス「プリーツをあしらったウールのスーツ」	2001年 春夏	白いウールのジャケット、背中にプリーツ飾り。飾りピン付き。白いウールのアコーディオンプリーツのスカート。	島根県立石見美術館
15	「浮世絵ジャケットとリボンで編んだスカート」	2001年 秋冬	絹シフォンに浮世絵をプリントし、人物柄をビーズ刺繍したジャケット。裾は切りっぱなし。緑、ピンク、茶のリボンを格子に編んだフレアスカート。	島根県立石見美術館
16	「黒い羽を縫いとったロイヤルブルーのスーツ」	2002年 秋冬	バラがプリントされた青色絹サテンのジャケットと膝丈のスカート。襟元、袖さき、背に黒い羽の縫い取り刺繍。	島根県立石見美術館
17	カクテル・ドレス「レースのドレスに軽いボレロ」	2004年 春夏	黒い絹サテンとリバーレースでできたショートドレス。胸元に小花のラメ飾り。腰にギャザー飾り。ビーズとスパングルを用いた刺繍。チュール地に格子状の黒いテープで螺旋状に刺繍したボレロ。	島根県立石見美術館
18	カクテル・ドレス「銀色のアンサンブル」	2004年 春夏	銀色バラ柄のレースでできたボレロ。ラメジャージでできたショートドレス。裾と胸元にはボレロと同じレース飾り。	島根県立石見美術館
19	イブニング・ドレス「墨絵にオレンジ色の花を添えたシフォンのドレス」	2004年 春夏	三種の絹シフォンを組み合わせたロングドレス。腰にモザイク状のベルト飾り。	島根県立石見美術館
20	イブニング・ドレス「蝶とタイガーと波をそめた白い絹のドレス」	2004年 春夏	蝶と虎と波をプリントした絹シフォンのロングドレス。裾と袖口に同布で刺繍、蝶と虎にはスパングル刺繍。	島根県立石見美術館

印刷物

展覧会チラシ：A4(デザイン：野村デザイン制作室)

関連イベント

トークショー 森英恵×澄川喜一

日 時：平成26年2月10日(月) 18:00～19:00

会 場：グラントワ 小ホール

新聞掲載

山陰中央新報 1月18日 展覧会紹介記事

中国新聞 1月27日 展覧会紹介記事

朝日新聞 2月5日 展覧会紹介記事

読売新聞 2月11日 トークショー紹介記事

山陰中央新報 2月11日 トークショー紹介記事

中国新聞 2月11日 トークショー紹介記事

毎日新聞 2月12日 トークショー紹介記事



チラシ

展示室A 雲谷派と墨絵の系譜

会 期：平成25年2月27日(水)～4月15日(月)

内 容：雲谷派を中心に室町時代から江戸時代に活躍した絵師の作品12件(17点)を展示。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	雲谷 等顔	押絵貼屏風	1600～18年頃	紙本墨画淡彩	島根県立石見美術館
2	雲谷派	耕作図屏風	桃山時代～江戸時代初期	紙本墨画	島根県立石見美術館
3	雲谷 等益	山水図屏風	1615～24年	紙本墨画淡彩	島根県立石見美術館
4	雲谷 等益	四季山水図屏風	1630年代	紙本墨画淡彩	島根県立石見美術館
5	雲谷 等的	観音山水図	江戸時代前期	絹本墨画淡彩	島根県立石見美術館
6	雲谷 等的	山水図	江戸時代前期	紙本墨画	島根県立石見美術館
7	斎藤 等室	山水図	江戸時代前期	紙本墨画	島根県立石見美術館
8	等碩	牧童図	室町時代後期	紙本墨画淡彩	島根県立石見美術館
9	曾我 蕭白	楼閣山水図	江戸時代中期	紙本墨画	島根県立石見美術館
10	狩野 伊川院 栄信	富士三保清見寺図	江戸時代後期	絹本墨画	島根県立石見美術館
11	山本 梅逸	山水図	1833年	紙本墨画	島根県立石見美術館
12	中林 竹洞	湖山清遠図	1834～37年	絹本墨画	島根県立石見美術館

展示室A 布地とデザイン

会 期：平成25年6月6日(木)～7月6日(土)

内 容：衣裳作品のデザインが、用いられる布地とどのように関わっているかに注目した衣裳展示。布地の素材や織りについて詳しく解説した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	マドレーヌ・ヴィオネ	デイ・ドレス	1920年代	黒の絹クレープのワンピース・ドレス。ボートネック、ラグランスリーブ、プリーツスカート。	島根県立石見美術館
2	アリックス・グレ	イブニング・ドレス	1958年	黒い絹ジャージーのワンピース・ドレス。細かくたたまれたプリーツ。	島根県立石見美術館
3	チャールズ・ジェームス	ディナー・ドレス「スパイラル」	1951年	ルビー・レッドの絹ファイユ。スカートにくるみ釦、ファスナー。	島根県立石見美術館
4	ガブリエル・シャネル	イブニング・ドレス	1927年頃	黒の絹シフォンのワンピース・ドレス。バイアスカット。黒の絹のスリッパ。	島根県立石見美術館
5	クリストバル・バレンシアガ	コート・ドレス	1958年	薄いグレーのモワレのコートドレス。袖には金色に着色した木製釦。アンダースカート付。	島根県立石見美術館
6	アンドレ・クレージュ	ディ・アンサンブル	1965～67年	ライムと緑色のチェック地の白いウール地のツーピース・ドレス。裏地はクリーム色の絹。	島根県立石見美術館
7	作者不詳	水着	1920年頃	青色と赤色のストライプのウールニット。	島根県立石見美術館
8	作者不詳	ブレイスーツ	1920年代初頭	綿にプリント。ジャケット、パンツ。	島根県立石見美術館
9	イヴ・サンローラン	ディナー・ドレス「夜の音楽」	1956年	ダーク・グレーのシルク・グログラン地。Vネックライン、七分丈のラグランスリーブ、トラペーズラインのスカート。	島根県立石見美術館
10	リパティ商会	コート	不詳	青色の絹ベルベット。ライニングは絹のシルバー・ラメ。フロントにくるみボタン、襟に絹製の紐、裾に長いタッスル飾り。	島根県立石見美術館

展示室A なごむ絵

会 期：平成25年12月18日(水)～平成26年2月3日(月)

内 容：愛らしい動物の絵や爽やかな風景など、心をなごませる掛軸や屏風を展示し、癒やしの空間を形成した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	富岡 鉄斎	江山招隠図	明治40年(1907)	絹本着色、軸	島根県立石見美術館
2	寺崎 広業	竹裡館観月	明治時代後期～大正時代	絹本着色、軸	島根県立石見美術館
3	竹内 栖鳳	藤花薔花群犬図屏風	明治31年(1898)	紙本着色、六曲一双	島根県立石見美術館
4	川村 曼舟	牧牛図	大正時代頃	絹本着色、六曲一隻	島根県立石見美術館
5	今尾 景年	柳塘群馬・桃林牧牛図	明治33年(1900)	絹本着色、六曲一双	島根県立石見美術館
6	西 晴雲	緑陰仙居・湖南漁舟図	昭和3年(1928)	紙本着色、六曲一双	島根県立石見美術館
7	山本 栞谷	年中行事図屏風	江戸時代末頃	紙本着色、六曲一双	島根県立石見美術館

雑誌掲載

月刊水墨画 2014年1月号 展覧会紹介

展示室A あなたはどう見る?～よく見て話そう、美術について

会 期：平成26年2月5日(水)～3月24日(月)

内 容：キャプションや解説をつけずに作品を展示することで、鑑賞者に作品そのものをじっくり見てもらおうという試み。会期中には作品をモチーフとした話芸と音楽のパフォーマンスライブ「名画をいろいろ話芸と音楽vol.6」、県内の教員による鑑賞教育の研究グループ「みるみるの会」のナビゲートで意見交換をしながら作品を鑑賞する「みるみると見てみる?」を開催した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	狩野 松栄	益田元祥像	桃山時代	絹本着色、軸	島根県立石見美術館
2	森村 泰昌	セルフポートレート(女優)バルドーとしての私・2	平成8年(1996)	イルフォクローム、アクリル加工	島根県立石見美術館
3	榎本 千花俊	池畔春興	昭和7年(1932)	絹本着色、額	島根県立石見美術館
4	榎本 千花俊	揚揚戯	昭和8年(1933)	絹本着色、額	島根県立石見美術館
5	ラウル・デュフィ	水上の祭	1920～1922年頃	油彩・キャンバス	島根県立石見美術館
6	藤田 嗣治	アントワープ港の眺め	1923年	油彩・キャンバス	島根県立石見美術館
7	香月 泰男	鯉と犬	昭和25年(1950)	油彩・キャンバス	島根県立石見美術館
8	永瀬 義郎	祭壇の処女	昭和50年(1975)	リトグラフ・紙	島根県立石見美術館
9	アーヴィン・ブリューメンフェルド	《エイジ・オブ・エレガンス》より広告写真のための習作	1984年	ダイ・トランスファープリント	島根県立石見美術館
10	東郷 青児	婦人像	昭和5～10年(1930～35)頃	油彩・キャンバス	島根県立石見美術館
11	澄川 喜一	そりのあるかたちB	平成24年(2012)	櫨	作家蔵
12	澄川 喜一	そりのあるかたち05	平成17年(2005)	神代櫨・櫨・檜	作家蔵
13	池田 輝方	絵師多賀朝湖流さる	大正8年(1919)	絹本着色、六曲一双	島根県立石見美術館
14	尊俊	竜虎図	室町時代後期	紙本墨画、双幅	島根県立石見美術館
15	平福 百穂	七面鳥・鴨	大正3年(1914)	紙本着色、軸双幅	島根県立石見美術館
16	山田 道安	芦雁図	室町時代末期～桃山時代初期	紙本墨画、双幅	島根県立石見美術館

関連事業

名画をいろいろ話芸と音楽 vol.6

日 時：平成26年3月9日(日)

会 場：展示室A ※詳細は「教育普及活動」(30ページ)に記載

みるみると見てみる?

日 時：平成26年2月23日(日)、3月2日(日)、16日(日)、23日(日) 各日14:00～

会 場：展示室A

新聞掲載

山陰中央新報 3月5日 展覧会紹介

山陰中央新報 3月12日 「名画をいろいろ話芸と音楽」紹介

展示室B 根付

会 期：平成25年2月13(水)～5月6日(月)

内 容：江津市に寄贈された七田眞氏(1929-2009)の根付コレクションを中心に江戸時代の根付や提物、約70点を展示。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	偽銘(富春62歳は後入の可能性)	時代根付(石見) 蜘蛛	19世紀	猪牙	江津市(七田眞コレクション)
2	文章女は後銘の可能性有	時代根付(石見) ねずみ二匹	18～19世紀	猪牙	江津市(七田眞コレクション)
3	巖水の銘有	時代根付(石見か) 猪牙に鹿二頭	19世紀	猪牙	江津市(七田眞コレクション)
4	清陽堂(長崎)	時代根付(石見関連) 竹山水図	19世紀	猪牙	江津市(七田眞コレクション)
5	文章女	時代根付(石見) 蜘蛛と忍ぶ草	18～19世紀	猪牙	江津市(七田眞コレクション)
6	文章女	時代根付(石見) 百足	18～19世紀	猪牙	江津市(七田眞コレクション)
7	富永	時代根付(石見) 蜘蛛	江戸時代後期	猪牙	島根県立石見美術館
8	不詳	時代根付(石見) 蜘蛛	江戸時代後期	猪牙	島根県立石見美術館
9	素龍	時代根付(石見) 蜘蛛二匹	19世紀	猪牙	江津市(七田眞コレクション)
10	青牛軒	時代根付(石見関連) 猪牙に蟹	文化13年(1816)	猪牙	江津市(七田眞コレクション)
11	回春堂 富明	時代根付(石見) 猪牙に蜘蛛	18世紀	猪牙	江津市(七田眞コレクション)
12	無銘	時代根付(石見) 忍ぶ草に蟹	19世紀	猪牙	江津市(七田眞コレクション)
13	廣花堂	時代根付(石見) 忍ぶ草に蜘蛛	19世紀	猪牙	江津市(七田眞コレクション)
14	青陽堂富春彫(浮彫銘)	時代根付(石見) 亀	18世紀	水牛の角	江津市(七田眞コレクション)
15	銘有	時代根付(石見) あわびに蟹	18～19世紀	木	江津市(七田眞コレクション)
16	富春	時代根付(石見) 亀	江戸時代後期	木刻	島根県立石見美術館
17	文章女	時代根付(石見) 黒柿に蜘蛛	18～19世紀	黒柿	江津市(七田眞コレクション)
18	貫満	時代根付(石見) 稲穂に鼠	19世紀	海松	江津市(七田眞コレクション)
19	貫満	時代根付(石見) 筍切株茄子鞘豆	19世紀	黒柿	江津市(七田眞コレクション)
20	龍水	時代根付(石見) 牛	江戸時代	木	島根県立石見美術館
21	吉(浮彫銘)	時代根付(石見) 蟹	18世紀	木	江津市(七田眞コレクション)
22	雲陽 直人	時代根付(石見) 黒蟬	18世紀	水牛の角	江津市(七田眞コレクション)
23	可専(石見関連)	時代根付(石見関連) 亀	18～19世紀	黒檀又は黒柿	江津市(七田眞コレクション)
24	富春	時代根付(石見) 鮑に蟹	1795年	象牙	島根県立石見美術館
25	富春	時代根付(石見) 蓮葉に蕪亀	1792年	鯨の歯	島根県立石見美術館
26	文章女の銘は後入れか	時代根付(石見関連か) 唐辛子	18世紀	鯨歯	江津市(七田眞コレクション)
27	貫満	時代根付(石見) 象牙に和歌	文政4年	象牙	江津市(七田眞コレクション)
28	正吉(米子)	時代根付(石見関連) 近江八景	文化5年(1808)	象牙	江津市(七田眞コレクション)
29	松白龍	時代根付(石見スタイル) 蓮葉に蛙	19世紀	木	江津市(七田眞コレクション)
30	正信	時代根付(石見) 葉に蛙	19世紀	木	江津市(七田眞コレクション)
31	牧牛軒(長崎)	時代根付(石見関連) 竹に蝸牛	19世紀	黄楊	江津市(七田眞コレクション)
32	一正	時代根付 あわびに蟹	19世紀初め	黒柿	江津市(七田眞コレクション)
33	無銘	時代根付 蟬に蜘蛛	幕末～明治	黒柿又は黒檀	江津市(七田眞コレクション)
34	無銘	時代根付 三茄子	19世紀初め	黒柿	江津市(七田眞コレクション)
35	無銘	時代根付 葉に茄子	19世紀前半	黒柿	江津市(七田眞コレクション)
36	無銘	時代根付 あわびに蟹	18世紀～19世紀初め	黒柿	江津市(七田眞コレクション)
37	若水	時代根付 蟹気楼	18世紀～19世紀初	黒檀又は黒柿	江津市(七田眞コレクション)
38	友親か	時代根付 蟬	18～19世紀	黒檀又は黒柿	江津市(七田眞コレクション)
39	一州	時代根付 田螺に蛙	18世紀末～19世紀初め	海松	江津市(七田眞コレクション)
40	無銘	時代根付 小野の小町図	18世紀～19世紀初め	象牙	江津市(七田眞コレクション)
41	無銘(京都)	時代根付 蛤にねずみ二匹	18世紀	象牙	江津市(七田眞コレクション)
42	光廣(尾道の作家)	時代根付 柿	19世紀	象牙	江津市(七田眞コレクション)
43	友親(江戸派)	時代根付 巴瓦に犬	19世紀	象牙	江津市(七田眞コレクション)

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
44	勝任	時代根付 松竹梅	19世紀	猪牙	江津市(七田真コレクション)
45	無銘	時代根付 葡萄に栗鼠	18世紀	鯨歯	江津市(七田真コレクション)
46	無銘	時代根付 唐辛子に鼠	18世紀~19世紀初め	セイウチの牙	江津市(七田真コレクション)
47	晴民(江戸)	時代根付 蓮葉に赤蛙	19世紀	セイウチの牙	江津市(七田真コレクション)
48	無銘	時代根付 蓮葉に蟹	18世紀	鯨歯	江津市(七田真コレクション)
49	無銘	時代根付 貝づくし	18世紀	鯨歯	江津市(七田真コレクション)
50	無銘	時代根付 蓮葉に親子蝸牛	19世紀	鹿角	江津市(七田真コレクション)
51	正美	現代根付 葉に蝸牛	現代	黄楊	江津市(七田真コレクション)
52	正信	時代根付 群猿	19世紀中頃	黄楊	江津市(七田真コレクション)
53	龍深	時代根付 竹林の七賢人	19世紀	不明	江津市(七田真コレクション)
54	無銘	時代根付 亀に狼	19世紀幕末	黄楊	江津市(七田真コレクション)
55	友重	時代根付 貝づくし	19世紀	木	江津市(七田真コレクション)
56	正直(伊勢)	時代根付 虎	19世紀中	黄楊	江津市(七田真コレクション)
57	綿山道人	時代根付 蛙	19世紀	黄楊	江津市(七田真コレクション)
58	友正	時代根付 狼と兎	19世紀	黄楊	江津市(七田真コレクション)
59	無銘	時代根付 鮭	19世紀	桜・梅	江津市(七田真コレクション)
60	無銘	時代根付 関羽	18世紀	黄楊	江津市(七田真コレクション)
61	無銘	時代根付 あわび	18世紀末	黒柿(鹿角象嵌)	江津市(七田真コレクション)
62	中村 松間齋	印籠 猛禽図	江戸時代末期	高蒔絵	島根県立石見美術館
63	無銘	時代根付 猿	18世紀	海松	江津市(七田真コレクション)
64	得月亭臥農	香入提物(石見) 落款彫	江戸時代	唐木	江津市(七田真コレクション)
65	巖水	トンコツ(煙草入) 雲	19世紀	竹	江津市(七田真コレクション)
66	無銘	煙管筒 むくげの花	19世紀	黄楊	江津市(七田真コレクション)

新聞掲載

山陰中央新報 4月6日 展覧会紹介記事

展示室B 眼力(めぢから)

会 期：平成25年5月8日(水)~6月24日(月)

内 容：印象的な目元をあらわす「眼力(めぢから)」という俗語をタイトルに掲げ、描かれた人物の視線や目の表情に注目した作品選定を行った。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	藤島 武二	西洋婦人像	明治41~42年 (1908~09)頃	油彩、キャンバス	島根県立石見美術館
2	森村 泰昌	セルフポートレート(女優) / デートリッヒとしての私・2	平成8年(1996)	イルフォクローム、アクリル加工	島根県立石見美術館
3	森村 泰昌	セルフポートレート(女優) / ピアノ・リーとしての私・2	平成8年(1996)	イルフォクローム、アクリル加工	島根県立石見美術館
4	森村 泰昌	セルフポートレート(女優) / リズとしての私・1	平成8年(1996)	イルフォクローム、アクリル加工	島根県立石見美術館
5	ウィリアム・クライン	楽屋のモデルたち、パリ	1965年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館
6	ウィリアム・クライン	オペラ劇場+顔のない人々、 パリ	1963年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館
7	アーヴィン・ブリュー メンフェルド	「エイジ・オブ・エレガンス」 より	1984年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館
8	小早川 清	旗亭涼宵	昭和8年(1933)	絹本着色	島根県立石見美術館
9	菊池 隆志	室内	昭和9年(1934)	絹本着色	島根県立石見美術館
10	ガブリエル・フォン・ マックス	煙を出す壺を抱く女性	19世紀末~20世紀 初頭	油彩、キャンバス	島根県立石見美術館

新聞掲載

山陰中央新報 5月15日 展覧会紹介

展示室B かたちを見る

会 期：平成25年6月26日(水)～8月3日(土)

内 容：美術でかたちを見るということは、見えてない部分を含め、もの全体の存在を意識することだと言える。本展では、特に「かたち」を意識して見ることをねらいとして、造形物の持つ美しさへの気づきと、様々な想像をめぐらせてみる事をヒントに、彫刻作品鑑賞の楽しさを紹介した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	澄川 喜一	木霊	平成19年(2007)	木(檜・樺)	個人蔵
2	中村 松間斎	猛禽図(鷹に猿)高時絵印籠一式(附属:根付・緒締・組紐)	江戸時代後期	高時絵	島根県立石見美術館
3	富春	石見根付 鮑に蟹	寛政7年(1795)	象牙	島根県立石見美術館
4	富春	石見根付 蓮葉に蓑亀	寛政4年(1792)	鯨の歯	島根県立石見美術館
5	富春	石見根付 亀	江戸時代後期	木・目に二重象眼	島根県立石見美術館
6	龍水	石見根付 牛	江戸時代	木	島根県立石見美術館
7	作者不詳	石見根付 蜘蛛	江戸時代後期	猪牙	島根県立石見美術館
8	富永	石見根付 蜘蛛	江戸時代後期	猪牙	島根県立石見美術館
9	巖水	石見根付 扇面草図	江戸時代	象牙	島根県立石見美術館
10	米原 雲海	仙丹	明治43年(1910)	木	島根県立石見美術館
11	内藤 伸	豊公	大正7年(1918)	木	島根県立石見美術館
12	内藤 伸	重陽菊酒	昭和5年(1930)	木・彩色	島根県立石見美術館
13	澄川 喜一	MASK	平成10年(1998)	木(桜・槐)	個人蔵
14	澄川 喜一	MASK	平成19年(2007)	木(チーク・檜)	個人蔵
15	澄川 喜一	そりのあるかたち05	平成17年(2005)	木(神代樺・樺・檜)	個人蔵
16	澄川 喜一	そりのあるかたち	昭和60年(1985)	木(樺)	個人蔵
17	澄川 喜一	瀧	平成17年(2005)	木(杉・樺)	個人蔵

展示室B キモノガールズコレクション

会 期：平成25年8月7日(水)～9月16日(月)

内 容：企画展「キモノ・ビューティー」の開催あわせ、大正時代から昭和時代初期にかけての着物姿の女性像を展示。あわせてジャポニズムの影響が濃い20世紀初頭のパリのファッション画と、その影響を受けた昭和初期の日本のファッション雑誌を展示し、「キモノ」のイメージが日仏双方で、当時のファッションにどのような影響を与えたかを紹介した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	鎬木 清方	花見幕	昭和初期	絹本着色、軸	島根県立石見美術館
2	伊藤 小坡	舟中納涼之図	大正～昭和初期	絹本着色、軸	島根県立石見美術館
3	柿内 青葉	池	昭和初期	絹本着色、軸	島根県立石見美術館
4	榎本 千花俊	春雪	昭和初期	絹本着色、軸	島根県立石見美術館
5	小早川 清	宵	昭和8年(1933)	絹本着色、額	島根県立石見美術館
6	北野 恒富	むすめ	大正14年(1925)	絹本着色、額	島根県立石見美術館
7	ポール・イリーブ	『ポール・ポワレのドレス』	1908年	ステンシル・紙	島根県立石見美術館
8	ジョルジュ・ルパープ	『ポール・ポワレの作品』	1911年	ステンシル・紙	島根県立石見美術館
9		『婦人グラフ』	大正13年～昭和3年	雑誌	島根県立石見美術館
10		『婦人画報』大正14年4月号	大正14年(1925)	雑誌	島根県立石見美術館

新聞掲載

山陰中央新報 8月20日 展覧会紹介

中国新聞 8月24日 展覧会紹介

展示室B 森鷗外の交友録

会 期：平成25年9月18日(水)～11月18日(月)

内 容：石見出身の文豪・森鷗外と交際のあった美術家たちの作品を展示し、それぞれと鷗外との交友について紹介した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	ガブリエル・フォン・マックス	チロル、カルテルンの故テレーゼ・メルル	1868年	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
2	ガブリエル・フォン・マックス	煙を出す壺を抱く女性	制作年不詳	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
3	原田 直次郎	男児図	1887～98年頃	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
4	中村 不折	裸体	明治36～38年頃(1903～05)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
5	黒田 清輝	裸体	明治22年(1889)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
6	黒田 清輝	ポプラの黄葉	明治24年(1891)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
7	岡田 三郎助	黒き帯	大正4年(1915)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
8	藤島 武二	西洋婦人像	明治41～42年頃(1908～09)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
9	小林 萬吾	スペイン・グラナダ・アルハンブラ	大正時代初期	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
10	大下 藤次郎	多摩川上流 (前期展示)	明治29年(1896)	水彩、紙	島根県立石見美術館
11	大下 藤次郎	秋の夕 (前期展示)	明治40年代	水彩、紙	島根県立石見美術館
12	大下 藤次郎	小石川 (後期展示)	明治29年(1896)	水彩、紙	島根県立石見美術館
13	大下 藤次郎	松 (後期展示)	明治41年(1908)	水彩、紙	島根県立石見美術館
14	森 鷗外	『水彩画の栞』題言	明治34年(1901)	墨、紙	島根県立石見美術館
15	大下 藤次郎	大下藤次郎著『水彩画の栞』	明治34年(1901)	書籍	島根県立石見美術館
16	大下 藤次郎	手記「ぬれきぬ」	明治23年	墨、紙	島根県立石見美術館
17	長原 孝太郎	風景	大正10年(1921)	油彩、板	島根県立石見美術館
18	宮 芳平	自画像	大正9年(1920)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
19	和田 英作	風景	大正3年(1914)	油彩、カンヴァス	島根県立石見美術館
20	原田 直次郎 挿画	『新著百種』第12号	明治24年(1891)	雑誌	島根県立石見美術館
21	中村 不折 装丁	森鷗外著『人の一生、飛行機』	明治44年(1911)	書籍	島根県立石見美術館
22	藤島 武二 装丁	森鷗外著『寂しき人々』	明治44年(1911)	書籍	島根県立石見美術館
23	藤島 武二 装丁	森鷗外著『蛙』	大正8年(1919)	書籍	島根県立石見美術館
24	長原 孝太郎 装丁	森鷗外著『玉匣両浦島』	明治35年(1902)	書籍	島根県立石見美術館
25	木下 壺太郎 装丁、 和田 英作 挿画	森鷗外著『ギョウツ』	大正5年(1916)	書籍	島根県立石見美術館

新聞掲載

中国新聞 11月8日 「コレクション再発見 22 大下藤次郎の水彩画」

展示室B アンドレ・マルティのファッションプレート

会 期：平成25年11月20日(水)～12月23日(月・祝)

内 容：パリで活躍したイラストレーター、アンドレ・マルティの版画作品を特集展示した。

出品リスト

No.	作家名	雑誌名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	アンドレ・マルティ	モード・エ・マニエール・ドージュル・デュイ	1. 復員	1919年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
2	アンドレ・マルティ	モード・エ・マニエール・ドージュル・デュイ	2. 朝の公園	1919年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
3	アンドレ・マルティ	モード・エ・マニエール・ドージュル・デュイ	3. 舞台稽古	1919年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
4	アンドレ・マルティ	モード・エ・マニエール・ドージュル・デュイ	4. ゴルフ	1919年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
5	アンドレ・マルティ	モード・エ・マニエール・ドージュル・デュイ	5. 映画	1919年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
6	アンドレ・マルティ	モード・エ・マニエール・ドージュル・デュイ	6. 野性的な踊り	1919年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
7	アンドレ・マルティ	モード・エ・マニエール・ドージュル・デュイ	7. 競争	1919年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館

No.	作家名	雑誌名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
8	アンドレ・マルティ	モード・エ・マニエール・ドージュル・デュイ	8. 輝くスカートにあるオアシス	1919年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
9	アンドレ・マルティ	モード・エ・マニエール・ドージュル・デュイ	9. メドラノ・サーカスの土曜日	1919年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
10	アンドレ・マルティ	モード・エ・マニエール・ドージュル・デュイ	10. リズム体操教室	1919年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
11	アンドレ・マルティ	モード・エ・マニエール・ドージュル・デュイ	11. 骨董店にて	1919年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
12	アンドレ・マルティ	モード・エ・マニエール・ドージュル・デュイ	12. 風の翼	1919年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
13	アンドレ・マルティ	ガゼット・デュ・ポント	バラを撫でる	1912年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
14	アンドレ・マルティ	ガゼット・デュ・ポント	からっぽの鳥かご	1912年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
15	アンドレ・マルティ	ガゼット・デュ・ポント	驚くほど色っぽい娘	1912年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
16	アンドレ・マルティ	ガゼット・デュ・ポント	ガラスの靴	1913年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
17	アンドレ・マルティ	ガゼット・デュ・ポント	庭での軽食	1913年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
18	アンドレ・マルティ	ガゼット・デュ・ポント	ちいさな陰を見つけた、ようやく！	1913年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
19	アンドレ・マルティ	ガゼット・デュ・ポント	私の心を暴かないで！	1913年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
20	アンドレ・マルティ	ガゼット・デュ・ポント	かわいい秘密	1913年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
21	アンドレ・マルティ	ガゼット・デュ・ポント	私たちちょっとここで休みましょう	1913年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
22	アンドレ・マルティ	ガゼット・デュ・ポント	トスカーナのタバ	1913年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
23	アンドレ・マルティ	ガゼット・デュ・ポント	鹿のいる池	1913年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
24	アンドレ・マルティ	ガゼット・デュ・ポント	ダイアン	1913年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
25	アンドレ・マルティ	ガゼット・デュ・ポント	夜の別れ	1913年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
26	アンドレ・マルティ	ガゼット・デュ・ポント	庭にさす陽光	1914年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
27	アンドレ・マルティ	ガゼット・デュ・ポント	乳姉妹	1914年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
28	アンドレ・マルティ	ガゼット・デュ・ポント	まぬけな二人	1914年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
29	アンドレ・マルティ	ガゼット・デュ・ポント	旅行への誘い	1914年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
30	アンドレ・マルティ	ガゼット・デュ・ポント	お慕いしております・・・	1914年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
31	アンドレ・マルティ	ガゼット・デュ・ポント	庭に咲いた最初の花	1914年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
32	アンドレ・マルティ	ガゼット・デュ・ポント	バラの香り	1920年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
33	アンドレ・マルティ	ガゼット・デュ・ポント	アンナン人のメイド	1920年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
34	アンドレ・マルティ	ガゼット・デュ・ポント	パリの不況	1920年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
35	アンドレ・マルティ	ガゼット・デュ・ポント	出来上がり！	1920年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
36	アンドレ・マルティ	ガゼット・デュ・ポント	春	1920年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
37	アンドレ・マルティ	ガゼット・デュ・ポント	私の鼻はすぐに赤くなる、あるいは、こんな不幸は早く直します	1920年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
38	アンドレ・マルティ	ガゼット・デュ・ポント	シンデレラ	1920年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
39	アンドレ・マルティ	ガゼット・デュ・ポント	あなたは絶対に準備できていないでしょう	1920年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
40	アンドレ・マルティ	ガゼット・デュ・ポント	甘い夜	1920年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
41	アンドレ・マルティ	ガゼット・デュ・ポント	田舎の楽しみ	1921年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
42	アンドレ・マルティ	ガゼット・デュ・ポント	オオカミが出た！	1921年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
43	アンドレ・マルティ	ガゼット・デュ・ポント	飛んで！	1921年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
44	アンドレ・マルティ	ガゼット・デュ・ポント	お城での晩餐会	1921年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
45	アンドレ・マルティ	ガゼット・デュ・ポント	彼は私を持っていると思いますか？	1921年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
46	アンドレ・マルティ	ガゼット・デュ・ポント	12月の公園	1921年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
47	アンドレ・マルティ	ガゼット・デュ・ポント	大きなそよ風	1921年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
48	アンドレ・マルティ	ガゼット・デュ・ポント	少し空気を	1921年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
49	アンドレ・マルティ	ガゼット・デュ・ポント	「あなたは6をどう思いますか？」または、我々は黙っていません	1921年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
50	アンドレ・マルティ	ガゼット・デュ・ポント	どれにしますか？	1921年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
51	アンドレ・マルティ	ガゼット・デュ・ポント	ヴェネツィアンガラス	1921年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
52	アンドレ・マルティ	ガゼット・デュ・ポント	オアシス、あるいは空気のアーチ	1921年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
53	アンドレ・マルティ	ガゼット・デュ・ポント	とても感情を込めて	1921年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館

No.	作家名	雑誌名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
54	アンドレ・マルティ	ガゼット・デュ・ポント	飼いならされた雌鹿	1922年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
55	アンドレ・マルティ	ガゼット・デュ・ポント	抱きしめたい人	1922年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
56	アンドレ・マルティ	ガゼット・デュ・ポント	悩める美しい人	1922年	オフセットプリント、ポショワール、紙	島根県立石見美術館
57	アンドレ・マルティ	ガゼット・デュ・ポント	タバコの灰	1922年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
58	アンドレ・マルティ	ガゼット・デュ・ポント	私よ。	1922年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
59	アンドレ・マルティ	ガゼット・デュ・ポント	麗しい人、あるいは容姿確認	1922年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
60	アンドレ・マルティ	ガゼット・デュ・ポント	ザクロを持つ子供	1922年	オフセットプリント、ポショワール、紙	島根県立石見美術館
61	アンドレ・マルティ	ガゼット・デュ・ポント	私にも抱かせて	1922年	オフセットプリント、ポショワール、紙	島根県立石見美術館
62	アンドレ・マルティ	ガゼット・デュ・ポント	ヒワ鳥の巣	1922年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
63	アンドレ・マルティ	ガゼット・デュ・ポント	ほら春が来たよ	1922年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
64	アンドレ・マルティ	ガゼット・デュ・ポント	誠実な崇拜者	1922年	オフセットプリント、ポショワール、紙	島根県立石見美術館
65	アンドレ・マルティ	ガゼット・デュ・ポント	心のこもった…	1922年	オフセットプリント、ポショワール、紙	島根県立石見美術館
66	アンドレ・マルティ	ガゼット・デュ・ポント	葉っぱの Rond	1923年	オフセットプリント、ポショワール、紙	島根県立石見美術館
67	アンドレ・マルティ	ガゼット・デュ・ポント	良い顔	1923年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
68	アンドレ・マルティ	ガゼット・デュ・ポント	待望の手紙	1923年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
69	アンドレ・マルティ	ガゼット・デュ・ポント	豊かな草原	1923年	オフセットプリント、ポショワール、紙	島根県立石見美術館
70	アンドレ・マルティ	ガゼット・デュ・ポント	田舎へ向けて開かれた扉	1923年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
71	アンドレ・マルティ	ガゼット・デュ・ポント	こんばんは、奥様	1923年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
72	アンドレ・マルティ	ガゼット・デュ・ポント	酢	1924年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
73	アンドレ・マルティ	ガゼット・デュ・ポント	悲しい冬が去り、春が来た	1924年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
74	アンドレ・マルティ	ガゼット・デュ・ポント	夕食後、公園にて	1924年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
75	アンドレ・マルティ	ガゼット・デュ・ポント	バラの香り	1924年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
76	アンドレ・マルティ	ガゼット・デュ・ポント	鳩	1924年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
77	アンドレ・マルティ	ガゼット・デュ・ポント	ふくらみ飾り	1924年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
78	アンドレ・マルティ	ガゼット・デュ・ポント	最終打ち合わせ、あるいは、批判するのは簡単だ	1924年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
79	アンドレ・マルティ	ガゼット・デュ・ポント	愛、喜びとオルガン	1924～25年	オフセットプリント、ポショワール、紙	島根県立石見美術館
80	アンドレ・マルティ	ガゼット・デュ・ポント	新しい指輪、または、隠れた嫉妬	1924～25年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
81	アンドレ・マルティ	ガゼット・デュ・ポント	堤防の上で	1924～25年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
82	アンドレ・マルティ	ガゼット・デュ・ポント	リビエラの夜	1924～25年	オフセットプリント、ポショワール、紙	島根県立石見美術館
83	アンドレ・マルティ	ガゼット・デュ・ポント	金色のマネキン人形	1924～25年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
84	アンドレ・マルティ	ガゼット・デュ・ポント	三美神と流行の短い髪	1924～25年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
85	アンドレ・マルティ	ガゼット・デュ・ポント	お告げをもたらす者	1924～25年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
86	アンドレ・マルティ	ガゼット・デュ・ポント	カッコウ！	1924～25年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館
87	アンドレ・マルティ	ガゼット・デュ・ポント	芝生の上で	1924～25年	オフセットプリント、ポショワール、紙	島根県立石見美術館
88	アンドレ・マルティ	ガゼット・デュ・ポント	新しい装飾の中で	1924～25年	ポショワール、紙	島根県立石見美術館

展示室C プリント柄の魅力

会 期：平成25年3月28日(木)～5月13日(月)

内 容：プリントは、布地に色や柄をほどこす転写技法をいう。本展ではプリント柄の布地を活かした衣裳作品を特集展示した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	マリアノ・フォル チュニイ	コート	1912年以降	深緑と錆赤のベルベットにピンクと金色でプリント。金でルネサンス風文様がプリントされた錆赤のベルベットでトリミング。錆赤のロングタイ。絹のライニング。	島根県立石見美術館
2	マックス・スニ シェク	ドレス、テキスタイル 「バイエル」	1928年頃	絹にプリント。ウエストに二つのポケット。黒の絹の縁。	島根県立石見美術館
3	クリスチャン・ ディオール	ディナー・ドレス「カ ラカス」	1953年	バラのプリント地の絹シフォン。裏地はピンクの絹オガンザ。パフ・スリーブ、後ろ身頃にくるみ釦。内側にはボーンの入ったチュール地とシフォンからなるコルセットが縫いつけられている。巻きスカート、シース型のアンダースカート付き。	島根県立石見美術館
4	クリスチャン・ ディオール	ボールガウン、ストー ル、靴	1954年	淡い青地に濃い水玉模様のプリント、絹シフォンのストラップレスドレス。襟元にボー飾り。背面にバスル風形状の飾り。共布のストールと靴。	島根県立石見美術館
5	エルザ・スカパ レリ	イブニング・ドレス	1938年	ショッキングピンク地にプリントを施した絹シフォンのワンピース・ドレス。ショッキングピンクのアンダードレス。	島根県立石見美術館
6	クリストバル・バ レンシアガ	カクテルドレス	1961年	クリーム色のシフォン。トラペーズラインのドレス。	島根県立石見美術館
7	作者不詳	ペーパー・ドレス 「スーパードレス」	1966年頃	「キャンベル・スーパードレス」のプリントを施したセルロースと綿の不織布。	島根県立石見美術館
8	ザンドラ・ローズ	カフタン風ワンピ ース・ドレス	1969年	絹シフォンに黒、黄、緑で円形、チェーンステッチ柄、波形をプリント。フード付き。	島根県立石見美術館
9	ビバ	パンツ・スーツ	1970年	「サンダーソン」社製テキスタイルのテーラードジャケット、ヒップ・ボーンフレアーパンツ。	島根県立石見美術館
10	ビバ	パンツ・スーツ	1970年頃	ト音記号をプリントしたウールと綿のニット。	島根県立石見美術館

新聞掲載

山陰中央新報 5月15日 展覧会紹介記事

展示室C 風景を愉しむ

会 期：平成25年5月15日(水)～7月1日(月)

内 容：季節の良い時期に、自然に目を向けた「描かれた風景」の世界観を展示室の中でも愉しんでもらおうという試み。洋画、日本画を織り交ぜたコレクションの優品を展示し、1点、1点、展示室内を散歩するように歩き、肩の力を抜いて、気軽に見て愉しんでいただくのをねらいとした。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	鹿子木 孟郎	舞子の浜	大正3年(1914)	油彩・カンヴァス	島根県立石見美術館
2	石井 柏亭	芙蓉湖	昭和25年(1950)	油彩・カンヴァス	島根県立石見美術館
3	和田 英作	風景	大正3年(1914)	油彩・カンヴァス	島根県立石見美術館
4	鹿子木 孟郎	加茂ノ森	大正12年(1923)	油彩・カンヴァス	島根県立石見美術館
5	満谷 国四郎	雑木林	大正11年(1922)	油彩・カンヴァス	島根県立石見美術館
6	満谷 国四郎	風景	大正時代中期(1917～1922)頃	油彩・カンヴァス	島根県立石見美術館
7	藤田 嗣治	アントワーブ港の眺め	大正12年(1923)	油彩・カンヴァス	島根県立石見美術館
8	香月 泰男	ヴァンドーム広場	昭和48年(1973)	油彩・カンヴァス	島根県立石見美術館
9	吉田 博	風景	大正時代前期(1912～1920)頃	油彩・カンヴァス	島根県立石見美術館
10	長原 孝太郎	風景	大正10年(1921)	油彩・板	島根県立石見美術館
11	川村 清雄	緑蔭牧牛図	大正～昭和初期(1912～1935)頃	油彩・絹本	島根県立石見美術館
12	横山 大観	水温む	昭和29年(1954)	紙本墨画	島根県立石見美術館
13	田中 頼璋	白雲紅樹	昭和9年(1934)	絹本着色	島根県立石見美術館
14	中川 八郎	初秋の夕	大正8年(1919)	油彩・カンヴァス	島根県立石見美術館
15	大下 藤次郎	野の道	明治25～30年(1892～1897)頃	油彩・カンヴァス	島根県立石見美術館

展示室C ファッションを写す

会 期：平成25年7月3日(水)～8月10日(土)

内 容：ファッションの流行に大きな役割を果たした20世紀のファッション写真を紹介した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	ルトランジェ	題不詳	1900年頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館
2	ルトランジェ	題不詳	1900年頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館
3	ルトランジェ	題不詳	1900年頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館
4	ルトランジェ	題不詳	1900年頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館
5	ルトランジェ	題不詳	1900年頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館
6	アドルフ・ド・メイヤー	ミスタンゲット	1920年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館
7	アドルフ・ド・メイヤー	コンデ・ナスト夫人	1925年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館
8	エドワード・スタイケン	ナティカ・ナスト	1923年頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館
9	エドワード・スタイケン	F. A. ワイマン夫人	1931年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館
10	エドワード・スタイケン	無題		ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館
11	セシル・ビートン	エドワード朝様式の室内にいるメアリー・テイラー、『ヴォーグ』より	1935年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館
12	セシル・ビートン	題不詳(1947 Nov.10)	1947年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館
13	セシル・ビートン	題不詳(1947 Nov.28)	1947年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館
14	セシル・ビートン	題不詳		ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館
15	ジョージ・ホイニンゲン＝ヒューネ	ヴィオネ	1939年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館
16	ジョージ・ホイニンゲン＝ヒューネ	イリナ・バラノヴァとニコ・テイラード	1940年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館
17	ジョージ・ホイニンゲン＝ヒューネ	ドラマティック・イブニング・ケープ	1938年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館
18	ホルスト・P. ホルスト	白い袖、パリ	1936年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館
19	マーティン・ムンカッチ	ルシールブロコウ『ハーパーズ・バザー』1933年12月号	1933年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館
20	マーティン・ムンカッチ	『ハーパーズ・バザー』1936年6月号	1936年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館
21	マーティン・ムンカッチ	ニューヨーク万国博覧会『ハーパーズ・バザー』1938年9月	1938年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館
22	メルヴィン・ソコルスキー	デルポーに捧ぐ	1963年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館
23	メルヴィン・ソコルスキー	木立のなかで	1963年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館
24	サラ・ムーン	『ヴォーグ』より	1973年	ダイ・トランスファー・プリント	島根県立石見美術館
25	ウィリアム・クライン	煙+ベール	1958年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館
26	リチャード・アヴェドン	ドヴィマと象	1955年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館
27	ピーター・リンドバーグ	ジゼル、ドーヴィルにて、フランス『ヴォーグ』より	1990年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館
28	ピーター・リンドバーグ	ジゼル、ドーヴィルにて、フランス『ヴォーグ』より	1990年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館
29	ピーター・リンドバーグ	ジゼル、ドーヴィルにて、フランス『ヴォーグ』より	1990年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	島根県立石見美術館

新聞掲載

山陰中央新報 7月23日 展覧会紹介記事

展示室C 刺繍の魔法

会 期：平成25年8月14日(水)～9月30日(月)

内 容：刺繍(しゅう)とは、布地あるいはその他の素材に針とより糸で装飾を施す技術、もしくは手芸のこと。糸に加えて、金属片や真珠、ビーズ、羽柄、スパングルなどが用いられる場合もある。本展では、当館が所蔵するヨーロッパの服飾資料を紹介した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	ジャンヌ・ランヴァン	イブニング・ドレス	1928年	黒い絹チュール、スパングルを刺繍	島根県立石見美術館
2	ポール・ポワレ	「イスファハン」イブニング・コート	1908年	緑色の絹サテンに金糸を刺繍、裏地には茶色の絹サテン	島根県立石見美術館
3	ポール・ポワレ	「ブリトンヌ」デイ・ドレス	1921年	紺色のウール、青緑色のベルベット地、上着袖に刺繍	島根県立石見美術館
4	ポール・ポワレ	ガーデン・パーティ・ドレス	1911年	アイボリー色のオーガンジー、ボディスとスカート裾に花卉の形をアップリケ、裏地裾に黒色絹ベルベット	島根県立石見美術館
5	イヴ・サンローラン	カクテル・ドレス	1967～68年	チュールにビーズ、スパングル、羽を刺繍	島根県立石見美術館
6	クリストバル・バレンシアガ	ケープ	1946年	黒の絹ファイユにホースヘア(馬の毛)スパングル、人造宝石を刺繍	島根県立石見美術館
7	エルザ・スカパレリ	イブニング・ドレス	1939年	クリーム色の絹サテンにビーズと金糸を刺繍	島根県立石見美術館
8	クリスチャン・ディオール	ボールガウン	1954年	アイボリーの絹ファイユにリボン、ビーズを刺繍	島根県立石見美術館
9	リバティ商会	パース	1910年頃	異国風のモチーフを刺繍、緑色の絹をライニング、内側に鏡と小銭入れが縫い付けられている	島根県立石見美術館
10	タゴベルト・ベッヒェ	テーブルセンター	1919～20年	絹チュールにアップリケ	島根県立石見美術館

展示室C 雲谷等顔とその一派

会 期：平成25年10月2日(水)～11月10日(日)

内 容：戦国時代末期から江戸時代初期にかけて活動し、毛利氏の御用画師として活躍した雲谷等顔とその流派「雲谷派」。その作品4件をケースに入れずに展示。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	雲谷派	耕作図屏風	桃山時代～江戸時代初期	紙本墨画	島根県立石見美術館
2	雲谷 等顔	押絵貼屏風	1600～18年頃	紙本墨画淡彩	島根県立石見美術館
3	雲谷 等益	山水図屏風	1630年代	紙本墨画淡彩	島根県立石見美術館
4	雲谷 等益	四季山水図屏風	1615～24年	紙本墨画淡彩	島根県立石見美術館

展示室C 草間彌生

会 期：平成25年11月13日(水)～平成26年1月13日(月・祝)

内 容：日本を代表する現代美術作家・草間彌生の作品を特集した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	草間 彌生	The Heat	1952年	グアッシュ・パステル、紙	島根県立石見美術館
2	草間 彌生	HORIZONTAL-B	1953年	グアッシュ・パステル、紙	島根県立石見美術館
3	草間 彌生	No.235.Q.2	1953年	グアッシュ・パステル、紙	島根県立石見美術館
4	草間 彌生	18 J	1954年	グアッシュ・パステル、紙	島根県立石見美術館
5	草間 彌生	18 D	1956年	グアッシュ・パステル、紙	島根県立石見美術館
6	草間 彌生	18 Q	1956年	グアッシュ・パステル、紙	島根県立石見美術館
7	草間 彌生	18 M	1957年	グアッシュ・パステル、紙	島根県立石見美術館
8	草間 彌生	18 L	1957年	グアッシュ・パステル、紙	島根県立石見美術館
9	草間 彌生	18 C	1958年	グアッシュ・パステル、紙	島根県立石見美術館
10	草間 彌生	ドレス(草間自身の店のための)3点	1968年/ 1998年再制作	綿、彩色あるいはプリント	島根県立石見美術館

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
11	草間 彌生	帽子	1975年	フォトコラージュ、水彩、パステル、紙	島根県立石見美術館
12	草間 彌生	ドレス	1976年	ドレス、詰め物をした縫製布、ハンガー、彩色	島根県立石見美術館
13	草間 彌生	シルバーシューズ 「銀色の希死」より	1976年	靴、詰め物をした縫製布、彩色	島根県立石見美術館
14	草間 彌生	ジェネシス	1993～1994年	詰め物をした縫製布、木、彩色	島根県立石見美術館
15	草間 彌生	南瓜	1998年	F.R.P(強化プラスチック)、塩ビ系塗装	島根県立石見美術館

新聞掲載

朝日新聞 11月16日 展覧会紹介記事

毎日新聞 12月5日 展覧会紹介記事

山陰中央新報 1月16日 展覧会紹介記事

展示室C テキスタイル・デザイン

会 期：平成26年3月5日(水)～4月21日(月)

内 容：フランス、ロシア、オーストリアで20世紀初めにデザインされた布地のデザイン画と、実際に制作された布地を展示した。

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵
1	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン「モザイク・デザイン」36	1923年頃	レリーフプリント、紙	島根県立石見美術館
2	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン「黒と白の地にちりばめられたばら」32		レリーフプリント、紙	島根県立石見美術館
3	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン「青地にばらの花束」19		レリーフプリント、紙	島根県立石見美術館
4	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン「四角の中のとうもろこし、マーガレット、ケシの花」52		レリーフプリント、紙	島根県立石見美術館
5	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン「紫のチューリップと青い花」68		レリーフプリント、紙	島根県立石見美術館
6	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン「ジグザグと藁(円)模様」17		レリーフプリント、紙	島根県立石見美術館
7	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン「ボントン」30	1920年	レリーフプリント、紙	島根県立石見美術館
8	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン「バラと花々」67		レリーフプリント、紙	島根県立石見美術館
9	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン「黒リューリップと白地に金」10		レリーフプリント、紙	島根県立石見美術館
10	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン「虎と象」2	1914年頃	レリーフプリント、紙	島根県立石見美術館
11	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン「図案化された花」16		レリーフプリント、紙	島根県立石見美術館
12	ラウル・デュフィ	ピアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン「モンゴルの馬」26		レリーフプリント、紙	島根県立石見美術館
13		ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル・デザイン6-36	1931年	紙	島根県立石見美術館
14		ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル・デザイン6-25	1931年	紙	島根県立石見美術館
15		ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル・デザイン6-32		紙	島根県立石見美術館
16		ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル・デザイン4-5	1930年	紙	島根県立石見美術館
17		ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル・デザイン6-33	1930年	紙	島根県立石見美術館
18	ジナイダ・ベレビッチ	ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル・デザイン6-26		紙	島根県立石見美術館
19	ナゼレビッチ	ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル・デザイン6-14		紙	島根県立石見美術館
20	ソニア・ドロネー	『絵画・オブジェ・同時的テキスタイル・モード』4 1924年4枚生地のためのデザイン	1925年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
21	ソニア・ドロネー	『絵画・オブジェ・同時的テキスタイル・モード』10 1924年テキスタイル・デザイン	1925年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
22	ソニア・ドロネー	『絵画・オブジェ・同時的テキスタイル・モード』19 1924年テキスタイル・デザイン	1925年	ステンシル、紙	島根県立石見美術館
23	フェリス (=ウエノ)・リックス	テキスタイル「クレムリン」	1929年	プリント、絹	島根県立石見美術館
24	ダゴベルト・ベッヒエ	テキスタイル「ヴァンダーバウム」	1911～16年	プリント、絹	島根県立石見美術館

第35回 島根県独立書人団益田支部書展

会 期：平成25年6月20日(木)～6月24日(月)
会 場：展示室D
主 催：島根県独立書人団益田支部

第32回 益田市美術展

会 期：平成25年11月14日(木)～11月17日(日)
会 場：展示室D
主 催：益田市美術展実行委員会

第46回 島根県総合美術展(県展)移動展

会 期：平成25年12月5日(木)～12月8日(日)
会 場：展示室D
主 催：島根県、島根県文化団体連合会、美術関係諸団体

全島根小中学校図画作品展 益田展

会 期：平成26年3月7日(金)～3月10日(月)
会 場：展示室D
主 催：島根県造形教育研究会、島根県立石見美術館

教育普及活動



「名画をいろいろ話芸と音楽 vol.5」ポスター



「名画をいろいろ話芸と音楽 in 松江」公演



「歴史絵巻! 戦国時代から 益田氏の華麗なる 花の物語」DVDジャケット

【活弁とミュージアム活性化事業】

当館では平成21年度より「名画をいろいろ話芸と音楽」と題し、収蔵作品に楽曲や説明を付け、音楽や説明を聴きながら作品を鑑賞するイベントを継続的に開催してきた。平成23年度から25年度にかけては益田市内の博物館施設とともに実行委員会を組織し、文化庁の補助事業として（平成25年度の事業名称は「地域と協働した美術館・歴史博物館創造活動支援事業」）、「活弁」による地域の文化財およびミュージアムの魅力を発信する事業を実施した。

平成25年度は、無声映画のフィルム「吉岡長太郎コレクション」を所蔵する飯南町教育委員会も加わり、無声映画の上映会もあわせて行った。10月に活弁と生演奏による無声映画とオリジナルアニメ「歴史オプ益田氏」（平成24年度制作、25年度にDVDソフト化）の上演、3月に活弁と生演奏によるギャラリートークを実施し、あわせて学校等への無声映画アウトリーチ公演も行った。

実行委員会、出演者、及び実施事業は以下の通り。

活弁とミュージアム活性化事業実行委員会

島根県立石見美術館、益田市立歴史民族資料館、益田市立雪舟の郷記念館、飯南町教育委員会

出演アーティスト

坂本頼光（活弁）、鈴木広志（サクソ、フルート、リコーダー、他）、大口俊輔（ピアノ）、小林武文（パーカッション）、古本大志（チューバ）

活弁と生演奏による無声映画とオリジナルアニメ「歴史オプ益田氏」の上映
「名画をいろいろ話芸と音楽 in 飯南」

無声映画フィルム「吉岡長太郎コレクション」を所蔵する飯南町で、フィルムを活用した上映会を開催。第1部には地元の弁士が登場して戦前の町の風景を紹介した。

日時：平成25年10月14日 14時開演

会場：飯南町赤名農村環境改善センター

来場者：60名

内容：第1部 吉岡長太郎実写フィルム～ふるさとの風景上映会

第2部 活弁と生演奏で楽しむ、なつかしの無声映画

「チャップリンの冒険」（米国、1917年、監督・脚本・主演＝チャールズ・チャップリン）

「無理矢理ロッキー破り」（米国、1927年、監督＝ジョセフ・ヘナベリー、主演＝モンティ・バンクス）*飯南町・吉岡長太郎フィルムコレクション

「宮の海」（日本、詳細不明）（日本、詳細不明）*飯南町・吉岡長太郎フィルムコレクション

「歴史オプ益田氏」（日本、2014年、監督・脚本・作画＝坂本頼光）

「空のおぢさん・太平洋一番乗り」（日本、詳細不明）*飯南町・吉岡長太郎フィルムコレクション

「名画をいろいろ話芸と音楽 in 松江」

企画展「出雲阿国」開催にあわせ、島根県立美術館ロビーで出品作品に語りと音楽をつけるパフォーマンスと、無声映画の活弁と生演奏つき上映を行った。

日時：平成25年10月16日 18時半開演

会場：島根県立美術館ロビー

来場者：92名

内容：「血煙高田馬場」（日本、1928年、監督・脚本＝伊藤大輔、主演＝大河内傳次郎）

《舞踊図屏風》（作品画像をスクリーンに投影し、坂本頼光の説明と作品のために作曲された楽曲の演奏を行った）

《四条河原遊楽図》（作品画像をスクリーンに投影し、坂本頼光の説明と作品のために作曲された楽曲の演奏を行った）

「宮の海」

「歴史オプ益田氏」



「名画をいろいろ話芸と音楽 vol.6」チラシ



「名画をいろいろ話芸と音楽 vol.6」公演

「名画をいろいろ話芸と音楽 vol.5」

日時：2013年10月19日(土)15時開演
 会場：島根県芸術文化センター「グラントワ」大ホール
 来場者：348名
 内容：「チャップリンの冒険」
 「ジャックと豆の木」(米国、1902年、監督＝エドウィン・S・ポーター、ジョージ・S・フレミング、主演＝トーマス・ホワイト)
 「無理矢理ロッキー破り」
 《武蔵野図屏風》(作品画像をスクリーンに投影し、坂本頼光の説明と作品のために作曲された楽曲の演奏を行った)
 「宮の海」
 「ヒストリーオブ益田氏」

「名画をいろいろ話芸と音楽 vol.6」

日時：2014年3月9日(日)昼の部：15時開演、夜の部：18時開演
 会場：島根県芸術文化センター「グラントワ」大ホール
 来場者：昼の部50名、夜の部50名
 内容：コレクション展「あなたはこう見る?よく見て話そう美術について」に出品されている館藏品、寄託品を、弁士の説明と書き下ろしの楽曲と共に鑑賞するライブイベント。
 紹介作品＝平福百穂《七面鳥・鴨》、澄川喜一《そりのあるかたち'06》、澄川喜一《そりのあるかたちB》、香月泰男《鯉と犬》、藤田嗣治《アントワープ港の眺め》、ラウル・デュフィ《水上の祭》、榎本千花俊《揚揚戯》、狩野松栄《益田元祥像》

無声映画のアウトリーチ事業

益田市立鎌手小学校公演

市内の小学校で無声映画の出張公演を行い、あわせて子どもたちとアーティストと一緒に絵画鑑賞をし、絵についての意見を出し合う「対話による鑑賞」を実施した。ここで出された子どもたちの意見は、3月の公演の台本制作や作曲に反映させた。

日時：10月18日
 参加者：1～4年生、教職員 60名
 内容：「ランプの魔人」(米国、詳細不明)、「空のおぢさん・太平洋一番乗り」、「無理矢理ロッキー破り」

デイサービスセンター万葉苑(益田市)公演

日時：3月10日 デイサービスセンター万葉苑(益田市)
 参加者：70名
 内容：「血煙高田馬場」、「無理矢理ロッキー破り」、「大学は出たけれど」

津和野町立津和野小学校公演

徳川夢声が幼少期を過ごした津和野町の小学校で無声映画の出張公演を実施した。

日時：3月11日
 参加者：1～6年生、教職員 120名
 内容：「血煙高田馬場」、「ランプの魔人」、「お猿の艦隊」、「無理矢理ロッキー破り」、「空のおぢさん・太平洋一番乗り」

新聞掲載

読売新聞 10月4日 「ヒストリーオブ益田氏」DVD完成と公演告知
 毎日新聞 10月7日 「ヒストリーオブ益田氏」DVD完成と公演告知
 朝日新聞 10月10日 「ヒストリーオブ益田氏」DVD完成と公演告知
 山陰中央新報 10月14日 「ヒストリーオブ益田氏」DVD完成と公演告知
 中国新聞 3月10日 ギャラリートーク公演取材記事
 山陰中央新報 3月12日 ギャラリートーク公演取材記事
 山陰中央新報 3月13日 津和野町での坂本頼光氏取材記事

【館外での講座・講演など】

講演「明治期の水彩画―大下藤次郎を中心に」

日 時：平成25年5月19日(日) 14:00～15:30

講 師：川西 由里

会 場：平塚市美術館ミュージアムホール

*平塚市美術館で開催の企画展「水彩画～みずゑの魅力―明治から現代まで」の関連イベントのひとつとして

講座「仏像をつくること～石見地域の作例とともに～」

日 時：平成25年6月22日(土) 10:00～12:00

講 師：椋木 賢治

会 場：大森町並み交流センター

講座「森鷗外と美術」

日 時：平成25年9月17日(火) 13:30～15:30

講 師：川西 由里

会 場：吉田公民館(益田市)

講座「学芸員による、展覧会の作り方 3. 神々の国しまね 古事記1300年『和歌と美術―歌のたのしみ、絵のよろこび―』展」

日 時：平成25年9月22日(日) 10:00～

講 師：川西 由里

会 場：京都工芸繊維大学

*京都工芸繊維大学のアートマネージャー養成講座の一環として

講座「森鷗外ゆかりの美術家たち」

日 時：平成25年10月11日(金) 13:00～15:00

講 師：川西 由里

参 加 者：シマネスクくにびき学園西部校2年生(17名)

会 場：いわみへる

講座「日本の仏像」

日 時：平成26年1月17日(金) 13:00～15:00

講 師：椋木 賢治

参 加 者：シマネスクくにびき学園西部校2年生(17名)

会 場：いわみへる

講座「日本の仏像」

日 時：平成26年1月28日(火) 13:00～15:00

講 師：椋木 賢治

参 加 者：シマネスクくにびき学園西部校1年生(10名)

会 場：いわみへる

講演「安来が生んだ彫刻家 米原雲海の人と作品」

日 時：平成26年3月16日(日)14:00～15:30

講 師：左近充 直美

会 場：和鋼博物館 映像ホール

*新安来市発足10周年記念事業の企画展

「米原雲海彫刻展」(会場：和鋼博物館ほか)のイベントとして

ボランティア



ワークショップ「ハマグリに歌絵をかこう」



ワークショップ「とんぼ玉をつくろう」

当館では開館以前から、市民がボランティアとして積極的に事業に参加してきた。現在のボランティア全体のボランティア会の組織は、劇場、イベント企画、美術館、発送、クリーンアップ、生け花、情報の7つの部門からなっている。そのうち美術館ボランティアには「ギャラリートークグループ」と「ワークショップグループ」があり、それぞれ7名のボランティアが登録、活動している。

【ギャラリートークボランティア】

コレクション展の会場で、会期中の土曜日、日曜日、祝日の午前(10:00～12:00)と午後(13:00～15:00)に実施している。当番制ではなく、各自が活動できる日に来館して行っている。ボランティアは展示室で待機して来場者に声をかけ、希望者に対してトークを行う。各展覧会のトーク実施前には、担当学芸員によるギャラリートーク講習を行っている。

活動記録

平成25年12月18日～平成26年2月3日

コレクション展「なごむ絵」

平成26年2月5日～3月24日

コレクション展「あなたは どう見る? ～よく見て話そう、美術について」

【ワークショップボランティア】

美術館で開催するワークショップや講演会をはじめとする教育普及事業では、ボランティアスタッフがアシスタントとして事業に関わっている。

活動記録

7月20日 企画展「和歌と美術」ワークショップ「ハマグリに歌絵をかこう」

ワークショップの補助を行った。

7月20日 企画展「キモノ・ビューティー」ワークショップ「とんぼ玉をつくろう」

ワークショップの補助を行った。

1. いわみ美術回廊

平成14年4月1日 いわみ美術回廊がスタート

参加館：津和野町立安野光雅美術館、三隅町立石正美術館、浜田市世界こども美術館、葛飾北斎美術館、杜塾美術館、益田市立雪舟の郷記念館、今井美術館（以上7館）

活動内容：①情報コーナーの各館設置②ポスター製作③チラシ製作④加盟館各館の諸催し物の情報をPR誌等へ掲載⑤サービスカードの発行と加盟館全館観覧終了者に記念品（7館グッズ詰め合わせ）贈呈⑥情報交換会の開催

平成17年10月 島根県立石見美術館が加盟し、8館体制となる。

2. 萩・益田・津和野美術回廊

平成17年度スタート

参加館：山口県立萩美術館・浦上記念館、益田市立雪舟の郷記念館、津和野町立安野光雅美術館、森鷗外記念館、島根県立石見美術館（以上5館）

活動内容：半券等の提示による相互割引制度

3. 「雪舟さん」および「雪舟小僧さん」

年間パスポート「雪舟さん」 2,000円

○加入施設（4施設）

医光寺雪舟庭園、萬福寺雪舟庭園、益田市立雪舟の郷記念館、益田市立歴史民俗資料館

○発行の日から1年間、上記4施設に何回でも入館・入園可能

購入者に同行する4名までは、団体料金扱いで入館・入園可能

○下記施設には割引料金で入館

・島根県立石見美術館（コレクション展・企画展）、浜田市立石正美術館、浜田市世界こども美術館（館主催の展示のみ）

益田散策チケット「雪舟小僧さん」 1,300円

○加入施設（5施設）

島根県立石見美術館（コレクション展のみ）、医光寺雪舟庭園、萬福寺雪舟庭園、益田市立雪舟の郷記念館、益田市立歴史民俗資料館

○発売（使用開始）の日から3日間、お一人様

1施設1回に限り有効。

4. 割引制度

下記に掲げる乗車券、観覧券等を提示した場合、割引制度が利用可能。

① 石見交通株式会社、中国JRバスが運行する東京からの高速バス往復乗車券

② 石見交通株式会社、阪神電気鉄道が運行する大阪からの高速バス往復乗車券

③ 石見交通株式会社、広島電鉄が運行する広島からの高速バス往復乗車券

④ 大田市以東島根県東部の各JR駅からJR益田駅までの往復乗車券

⑤ 萩・石見空港発着の航空券

⑥ 島根県立石見美術館を除くいわみ美術回廊加盟館の観覧券（半券）

⑦ 山口県立美術館、山口県立萩美術館・浦上記念館の観覧券（半券）

⑧ 島根県立いわみ芸術劇場で開催される催し物（当日のみ有効）の有料入場券（半券）

⑨ 提携館が発行する年間パスポート（期限内）

・足立美術館・医光寺・今井美術館・大原美術館・尾道市立美術館・サントリー美術館・津和野町立安野光雅美術館・島根県立古代出雲歴史博物館・島根県立美術館・浜田市世界こども美術館・浜田市立石正美術館・広島県立美術館・広島市現代美術館・ひろしま美術館・益田市立雪舟の郷記念館・益田市立歴史民俗資料館・萬福寺・杜塾美術館・山口県立萩美術館・浦上記念館・山口県立美術館

⑩ 提携カード

・しまねカード（島根県広島事務所）・しまね子育て応援パスポート（島根県少子化対策推進室）・ちゅーピーくらぶ（株式会社中国新聞社）・ドゥブレ（財団法人広島勤労者職業福祉センター）・とっとり子育て応援パスポート（鳥取県子育て支援総室）・やわらぎカード（株式会社オーエムシーカード）・ゆめカード（株式会社ゆめカード）・JAカード（三菱UFJニコス株式会社）・JAF（社団法人日本自動車連盟）・SDカード（自動車安全運転センター）

所蔵作品一覧

日本画

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
池田 蕉園	小松引	大正時代前期	絹本着色 掛幅装	139.4×51.2
池田 輝方	絵師多賀朝湖流さる	1919年	絹本着色 六曲屏風一双	右193.7×394.4 左193.9×396.0
伊藤 小坡	舟中納涼之図	昭和時代前期	絹本着色 掛幅装	143.8×50.8
今尾 景年	花鳥図	明治時代～大正時代	絹本着色 六曲屏風一双	各156.0×349.5
今尾 景年	柳塘群馬・桃林牧牛図	1900年	絹本着色 六曲屏風一双	各154.9×355.4
雲谷 等益	四季山水図	1615～1624年	紙本墨画淡彩 八曲屏風一双	各85.1×354.0
雲谷 等益	山水図	1630年代	紙本墨画淡彩 六曲屏風一双	各156.5×359.4
雲谷 等顔	山水人物花鳥図	1600～1618年頃	紙本墨画淡彩 六曲押絵貼屏風一双	各紙121.8×53.3
雲谷 等的	山水図	江戸時代前期	紙本墨画 掛幅装	30.9×57.9
雲谷 等的	観音山水図	江戸時代前期	絹本墨画淡彩 掛幅装三幅対	各103.3×34.5
雲谷派	耕作図	桃山時代～江戸時代初期	紙本墨画 六曲屏風一隻	152.2×346.2
榎本 千花俊	揚揚戯	1933年	絹本着色 額装	221.2×173.6
榎本 千花俊	池畔春興	1932年	絹本着色 額装	261.0×207.3
榎本 千花俊	口紅を描く	1935年	絹本着色 掛幅装	139×57
榎本 千花俊	春雪	昭和時代前期	絹本着色 掛幅装	131×42
岡野 洞山	竹林七賢・商山四皓図	1848年	紙本墨画淡彩 六曲屏風一双	各159.4×363.0
海北 友松	祖師図(達磨・巖頭)	桃山時代	紙本墨画 掛幅装双幅	各106.5×50.6
柿内 青葉	池	1933年	絹本着色 掛幅装	128×42
狩野 伊川院 栄信	富士三保清見寺図	江戸時代後期	絹本墨画 掛幅装	34.2×64.7
狩野 松栄	益田元祥像	1582～1592年頃	絹本着色 掛幅装	108.4×51.7
鏡木 清方	花見幕	昭和時代初期	絹本着色 掛幅装	141.2×50.6
川村 曼舟	牧牛図	大正時代	絹本着色 六曲屏風一隻	152.0×356.0
菊池 華秋	雪晴	1938年	絹本着色 額装	189.8×202.2
菊池 隆志	室内	1934年	紙本着色 額装	146.4×164.4
菊池 隆志	初夏遊園	1928年	絹本着色 額装	206.0×112.8
北野 以悦	春	1931年	絹本着色 額装	191.0×142.0
北野 恒富	むすめ	1925年	紙本着色 額装	190.5×89.0
北野 恒富	狂女	大正時代～昭和時代初期	絹本着色 掛幅装	130.0×50.0
啓孫	騎驢人物図	室町時代後期	紙本墨画 掛幅装	91.0×31.0
近衛 信尹	渡唐天神図	桃山時代	紙本墨画 掛幅装	95.0×39.2
小早川 清	旗亭涼宵	1933年	絹本着色 額装	197.0×113.0
小早川 清	宵	1936年	絹本着色 額装	216.8×111.7
小堀 鞆音	舞楽図	明治時代末期～昭和時代初期	紙本金地着色 六曲屏風一双	各162.3×358.2
斎藤 等室	山水図	江戸時代前期	紙本墨画 掛幅装	31.0×50.6
島崎 柳塙	汐風	明治時代後期	絹本着色 掛幅装	109.0×48.6
周恵	達磨図	室町時代後期	紙本墨画 掛幅装	51.7×28.0
曾我 蕭白	楼閣山水図	江戸時代中期	紙本墨画 掛幅装	134.8×52.2
曾我 宗丈	面壁達磨図	室町時代後期	紙本墨画 掛幅装	51.0×33.0
曾我 二直菴	鷲鷹図	江戸時代前期	紙本墨画 掛幅装双幅	各118.0×51.8
曾田 友栢	達磨図	桃山時代～江戸時代初期	紙本墨画 掛幅装	27.1×23.6
尊俊	竜虎図	室町時代後期	紙本墨画 掛幅装双幅	各86.9×43.0
竹内 栖鳳	藤花薺花群犬図	1889年	紙本着色 六曲屏風一双	各155.0×360.0
田中 頼璋	白雲紅樹	1934年	絹本着色 額装	226.0×174.5
谷 文晁	滝図	1828年	絹本着色 掛幅装双幅	各96.7×35.4
寺崎 広業	竹裡館観月	明治時代後期～大正時代初期	絹本着色 掛幅装	139.6×70.8
等碩	牧童図	室町時代後期	紙本墨画淡彩 掛幅装	26.3×33.7
富岡 鉄斎	江山招隠図	1907年	絹本着色 掛幅装	111.0×42.6
中林 竹洞	湖山清遠図	1834～1837年	絹本墨画 掛幅装	144.2×53.5
中林 竹洞	秋卉鴛鴦図	1831年	絹本着色 掛幅装	128.7×42.4
中林 竹溪	秋草群雀図	江戸時代後期	絹本着色 掛幅装	112.8×52.6
西 晴雲	湖南漁舟・緑陰仙居図	1928年	紙本着色 六曲屏風一双	各154.4×381.0
西 晴雲	四季花木図	1920～1925年頃	紙本着色 掛幅装四幅対	各167.8×47.3
橋本 明治	莊園	1934年	絹本着色 額装	233.6×142.2
橋本 明治	蓮を聴く	1936年	絹本着色 額装	156.8×221.8
長谷川派	武蔵野図	桃山時代～江戸時代初期	紙本金地着色 六曲屏風一双	各165.8×367.2
平福 百穂	七面鳥・鴨	1914年	紙本着色 掛幅装双幅	各124.8×59.1
広田 多津	ふたり	1938年	紙本着色 額装	204.6×135.3
不二木 阿古	爽朝	1941年	絹本着色 掛幅装	129×41
松本 楓湖	和装西洋婦人像	明治時代前期	絹本着色 額装	102.0×45.2

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
松本 楓湖	後醍醐帝観桜樹図	明治時代末期～大正時代	絹本着色 掛幅装	125×71
松本 楓湖	八岐大蛇図	1909年	絹本着色 掛幅装	150×70
円山 応挙	柿本人麿像	1765年頃	紙本墨画 掛幅装	93.8×28.0
武藤 嘉門	ショーウインドウ	1937年	紙本着色 額装	242.7×546.0
山田 喜作	真夏の港	1932年	絹本着色 額装	212.3×197.8
山田 喜作	湘南初夏	1931年	絹本着色 額装	245×174.5
山田 道安	芦雁図	室町時代末期～桃山時代初期	紙本墨画 掛幅装	各86.6×40.4
山本 栞谷	年中行事図	江戸時代末期	紙本着色 六曲押絵貼屏風一双	各139.0×304.2
山本 栞谷	瀧見観音図	江戸時代末期	紙本墨画淡彩 掛幅装	106.0×29.6
山本 栞谷	月下横臥図	1860年	絹本淡彩 掛幅装	159.0×50.7
山本 梅逸	山水図	1833年	紙本墨画 掛幅装	127.6×57.0
横山 大観	水温む	1954年	紙本墨画 額装	70.0×92.2
不詳	舞踊図	江戸時代初期	紙本金地着色 二曲屏風一隻	149.6×170.0
不詳	人麿図	江戸時代前期～中期	紙本金地着色 六曲屏風一隻	145.0×355.3
不詳	遊女柳橋扇面流図	江戸時代前期	紙本着色 六曲屏風一隻	108.6×343.0

油彩画

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
石井 柏亭	芙蓉湖	1950年	油彩、カンヴァス	72.5×91.0
岩本 拓郎	無題	1978年	アクリル、シナベニヤ、角材	145.0×382.0
岩本 拓郎	無題	1979年	アクリル、シナベニヤ、角材	182.0×358.0
大下 藤次郎	野の道	1894～97年頃	油彩、カンヴァス	23.5×17.5
岡田 三郎助	黒き帯	1915年	油彩、カンヴァス	62.0×45.3
香月 泰男	ヴァンドーム広場	1973年	油彩、カンヴァス	91.0×48.0
香月 泰男	鯉と犬	1950年	油彩、カンヴァス	60.1×40.7
鹿子木 孟郎	加茂ノ森	1923年	油彩、カンヴァス	100.0×100.0
鹿子木 孟郎	舞子の浜	1914年	油彩、カンヴァス	76.0×40.0
川村 清雄	緑蔭牧牛図	大正時代～昭和時代初期	油彩、絹本	23.0×74.0
岸田 劉生	静物	1920年	油彩、カンヴァス	39.6×52.0
黒田 清輝	ポプラの黄葉	1891年	油彩、カンヴァス	65.4×80.8
黒田 清輝	裸体	1889年	油彩、カンヴァス	80.0×43.8
児島 善三郎	椅子による	1925～28年頃	油彩、カンヴァス	130.3×97.0
小堀 四郎	ブルターニュの男	1930年	油彩、紙	41.0×32.8
椿 貞雄	冬瓜南瓜図	1947年	油彩、カンヴァス	37.7×90.9
東郷 青児	婦人像	1930～35年頃	油彩、カンヴァス	65.0×53.0
堂本 尚郎	宇宙I	1978年	アクリル、カンヴァス	200.0×600.0
中尾 彰	川村(冬景)	1923年	油彩、カンヴァス、額装	72.9×91.0
中尾 彰	山麓	1955年	油彩、カンヴァス、額装	73.0×116.5
中川 八郎	初秋の夕	1919年	油彩、カンヴァス	94.5×121.6
長原 孝太郎	風景	1921年	油彩、板	32.7×24.0
中村 不折	裸体	1903～05年頃	油彩、カンヴァス	99.8×79.7
中村 不折	裸婦	1900～20年頃	油彩、カンヴァス	80.0×60.7
原田 直次郎	男児肖像	1887～98年頃	油彩、カンヴァス	30.3×21.9
藤島 武二	西洋婦人像	1908～09年頃	油彩、カンヴァス	58.3×39.1
藤田 嗣治	アントワープ港の眺め	1923年	油彩、カンヴァス	170.0×224.0
藤田 嗣治	婦人像	1939年	油彩、カンヴァス	57.6×71.2
満谷 国四郎	風景	1913～25年頃	油彩、カンヴァス	53.0×45.5
満谷 国四郎	雑木林	1922年	油彩、カンヴァス	45.5×53.3
宮 芳平	風景	1912～25年頃	油彩、カンヴァス	32.0×41.0
宮 芳平	自画像	1920年	油彩、カンヴァス	53.3×45.7
安井 曾太郎	水浴図	1912～25年頃	油彩、カンヴァス	91.0×72.0
山崎 修二	二人の少女	1931年	油彩、カンヴァス	130×96.5
山崎 修二	少女像	1931年	油彩、カンヴァス	100.0×81.0
山崎 修二	初冬	1936年	油彩、カンヴァス	130.0×161.0
山崎 修二	夏	1936年	油彩、カンヴァス	73.0×91.0
山崎 修二	残雪のある庭	1938年	油彩、カンヴァス	111.0×144.0
山崎 修二	髪	1939年	油彩、カンヴァス	131.0×97.0
山崎 修二	風景(仮題)	1941年	油彩、カンヴァス	73.0×91.0
山崎 修二	窓辺の静物	1950年	油彩、カンヴァス	91.0×116.5
山崎 修二	山懐の早春	1953年	油彩、カンヴァス	91.0×73.0
山崎 修二	緑の静物	1955年	油彩、カンヴァス	130.0×80.0
山崎 修二	港通りの家	1998年	油彩、カンヴァス	53.0×66.0
山中 徳次	木部海岸(大谷)	1936年頃	油彩、板	24.5×33.0

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
山本 鼎	筍	1938年	油彩、カンヴァス	41.2×53.3
吉田 博	風景	1911～20年頃	油彩、カンヴァス	60.6×50.0
和田 英作	風景	1914年	油彩、カンヴァス	52.2×71.6
和田 英作	海神	1918年	油彩、カンヴァス	53.0×41.0
ガブリエル・フォン・マックス	聖女テレゼ・メルルクス	1868年	油彩、カンヴァス	67.8×55.8
ガブリエル・フォン・マックス	煙を出す壺を抱く女性	19世紀末～20世紀初期	油彩、カンヴァス	85.4×65.2
ラウル・デュフィ	水上の祭	1920～22年頃	油彩、カンヴァス	
ラファエル・コラン	若い女性の肖像	1889年	油彩、カンヴァス	65.0×54.0

版画

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
石井 柏亭	木場	1914年	木版、紙	24.0×18.0
織田 一磨	石見有福温泉	1925年	木版、紙	39.0×27.0
岸田 劉生	岸田劉生個展ポスター	1919年	木版、紙	70.0×25.5
永瀬 義郎	折り	1956年	木版、紙(紺紙金刷)	51.0×38.0
永瀬 義郎	画家	1963年	木版、紙	61.0×43.5
永瀬 義郎	祭壇の処女	1975年	リトグラフ、紙	80.3×65.0
宮 芳平	自画像	1934年	エッチング、紙	9.0×6.0
宮 芳平	黒百合	1934年	エッチング、紙	12.2×9.0
宮 芳平	門	1934年	エッチング、紙	9.1×2.0
宮 芳平	八ヶ嶽	1934年	エッチング、紙	8.7×18.2
宮 芳平	ブラジルへ行った人の家	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	御神木	1934年	エッチング、紙	9.0×11.8
宮 芳平	水	1935年頃	エッチング、紙	9.0×11.8
宮 芳平	雨 その1	1935年頃	エッチング、紙	9.0×9.4
宮 芳平	雨 その2	1935年頃	エッチング、紙	9.0×10.8
宮 芳平	コスモス	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	雲	1933年	エッチング、紙	10.0×12.0
宮 芳平	田舎(三日月)	1935年頃	エッチング、紙	6.0×9.0
宮 芳平	茄子	1935年頃	エッチング、紙	6.0×9.0
宮 芳平	おぼろの太陽	1935年頃	エッチング、紙	18.0×9.0
宮 芳平	松	1935年	エッチング、紙	9.0×6.0
宮 芳平	昭子像	1935年	エッチング、紙	9.0×6.0
宮 芳平	自画像(眼を病める)	1935年	エッチング、紙	11.8×9.0
宮 芳平	旧校舎(雪)	1935年	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	室内	1935年	エッチング、紙	6.0×9.0
宮 芳平	月(望月)	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	コーヒーわかし	1935年	エッチング、紙	12.0×9.0
宮 芳平	山(年賀状)	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	ポプラと湖	1935年頃	エッチング、紙	6.0×9.0
宮 芳平	枯野	1935年頃	エッチング、紙	6.0×6.3
宮 芳平	水辺	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	山湖	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	郊外	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	叢	1935年頃	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	山(冬の裏山)	1935年頃	エッチング、紙	10.0×8.0
宮 芳平	もろこしとトマト	1935年	エッチング、紙	9.0×12.0
宮 芳平	山と月	1935年頃	エッチング、紙	12.0×9.0
宮 芳平	庭の花(すみれ)	1935年頃	エッチング、紙	9.0×6.0
宮 芳平	庭の花(桜草)	1935年頃	エッチング、紙	9.0×6.0
宮 芳平	庭の花(くりん草)	1935年頃	エッチング、紙	6.2×6.0
宮 芳平	茄子の木	1935年頃	エッチング、紙	9.0×6.0
宮 芳平	裏山	1935年頃	エッチング、紙	12.0×18.0
宮 芳平	湖と乙女	1935年頃	エッチング、紙	9.0×9.0
宮 芳平	湖と乙女(月)	1935年頃	エッチング、紙	9.0×9.0
宮 芳平	実のなる木	1935年	エッチング、紙	8.8×12.0
ウイーン工房(フレーグル、リックス他)	「女性の生活」(20点組)	1916年	木版・一部水彩加筆、紙	39.5×29.5
ジャンーエミール・ラブレール	マリー・ローランサンの肖像	1914年	木版、紙	25.0×22.0
ジャンーエミール・ラブレール	ピュット・ショーモン公園風景	1921年	エッチング、紙	20.0×23.0

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ (cm)
ジョルジュ・ルパージュ	『ポール・ボワレの作品』	1911年	ファッションプレート12枚 エキストラプレート3枚	
ソニア・ドロネー	『絵画・オブジェ・同時的 テキスタイル・モード』	1925年	ファッションプレート20枚	57.0×38.5
ダゴベルト・ベッヒエ	着衣の少女	不詳	彩色、版画	30.0×22.5
ポール・イリーヴ	『ポール・ボワレのドレス』	1908年	ファッションプレート10枚	
ラウル・デュフィ	狩猟	1910年頃	木版、紙	21.0×64.0
ラウル・デュフィ	ダンス	1910年頃	木版、紙	31.2×31.3
ロッテ・カルム	「モード・ウィーン 1914 /15」(12点組のうち)	1914~15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
アニィ・シュレーダー	「モード・ウィーン 1914 /15」(12点組のうち)	1914~15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
アニィ・シュレーダー	「モード・ウィーン 1914 /15」(12点組のうち)	1914~15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
イレーネ・シャシュル	「モード・ウィーン 1914 /15」(12点組のうち)	1914~15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
イレーネ・シャシュル	「モード・ウィーン 1914 /15」(12点組のうち)	1914~15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
ガビ・メーシュル	「モード・ウィーン 1914 /15」(12点組のうち)	1914~15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
ゲルトルト・ヴァイン ベルガー	「モード・ウィーン 1914 /15」(12点組のうち)	1914~15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
ダゴベルト・ベッヒエ	「モード・ウィーン 1914 /15」(12点組のうち)	1914~15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
ヒルダ・イエッサー	「モード・ウィーン 1914 /15」(12点組のうち)	1914~15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
ヒルダ・イエッサー	「モード・ウィーン 1914 /15」(12点組のうち)	1914~15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
フリッツィ・レーヴ	「モード・ウィーン 1914 /15」(12点組のうち)	1914~15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
マックス・スニシェク	「モード・ウィーン 1914 /15」(12点組のうち)	1914~15年	木版・一部水彩加筆、紙	29.5×21.0
	『ガゼット・デュ・ボン・トン』	1912~25年	冊子69冊、ファッションプレート 721枚	
	『モード・エ・マニエル・ド ジュールドワイ』	1912~22年	冊子7冊、ファッションプレート84 枚	
	『ジュルナル・ダム・エ・デ モード』	1912~14年	冊子80冊、ファッションプレート 188枚	

水彩画

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ (cm)
五百城 文哉	富士図	1893~1906年頃	水彩、紙	62.0×94.0
大下 藤次郎	下駄屋の店先	1892年	水彩、紙	18.8×23.8
大下 藤次郎	貸家の裏口	1892年	水彩、紙	27.0×15.4
大下 藤次郎	風景習作1	1892年	水彩、紙	14.5×20.0
大下 藤次郎	人物習作1	1892年	水彩、紙	21.8×14.0
大下 藤次郎	呉服屋	1892年	水彩、紙	18.4×25.8
大下 藤次郎	風景習作2	1892年	水彩、紙	23.4×32.4
大下 藤次郎	門と人物1	1892年	水彩、紙	28.2×21.6
大下 藤次郎	西総田舎の景	1893年	水彩、紙	29.6×38.0
大下 藤次郎	風景習作3	1893年	水彩、紙	22.0×14.3
大下 藤次郎	風景習作4	1893年	水彩、紙	16.6×24.4
大下 藤次郎	風景習作5	1893年	水彩、紙	14.0×21.0
大下 藤次郎	門と人物2	1893年	水彩、紙	22.6×14.9
大下 藤次郎	門と人物3・小石川	1893年	水彩、紙	22.6×15.1
大下 藤次郎	橋のある風景	1893年	水彩、紙	13.7×20.9
大下 藤次郎	つり	1895年	水彩、紙	15.5×24.2
大下 藤次郎	京都近郊	1895年	水彩、紙	11.3×17.8
大下 藤次郎	川口	1895年	水彩、紙	12.3×17.4
大下 藤次郎	風景習作6・ 28年10月13日	1895年	水彩、紙	23.8×15.2
大下 藤次郎	風景習作7・ 28年10月17日	1895年	水彩、紙	15.2×22.2
大下 藤次郎	風景習作8・ 28年10月20日	1895年	水彩、紙	13.8×23.6
大下 藤次郎	穴森神社	1895年	水彩、紙	14.2×18.7
大下 藤次郎	武州七国峠	1895年	水彩、紙	13.9×24.1
大下 藤次郎	相州塩川瀑	1895年	水彩、紙	24.4×15.5

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
大下 藤次郎	八王子河原	1895年	水彩、紙	13.3×18.6
大下 藤次郎	荒川	1895年	水彩、紙	13.2×23.7
大下 藤次郎	富山	1895年	水彩、紙	14.9×24.2
大下 藤次郎	塔のある風景(三重の塔)	1896年	水彩、紙	32.5×21.4
大下 藤次郎	日暮里	1896年	水彩、紙	18.3×29.8
大下 藤次郎	修善寺	1896年	水彩、紙	20.4×32.8
大下 藤次郎	多摩川上流	1896年	水彩、紙	21.0×32.4
大下 藤次郎	小石川	1896年	水彩、紙	21.7×30.0
大下 藤次郎	館山	1896年	水彩、紙	21.2×32.6
大下 藤次郎	小丹波	1896年	水彩、紙	31.5×21.1
大下 藤次郎	五重塔	1896年	水彩、紙	31.7×20.8
大下 藤次郎	天真院	1896年	水彩、紙	25.4×17.8
大下 藤次郎	三門	1896年	水彩、紙	19.2×27.1
大下 藤次郎	賀茂	1896年	水彩、紙	32.3×20.3
大下 藤次郎	桜	1896年	水彩、紙	21.7×13.9
大下 藤次郎	境内	1896年	水彩、紙	15.3×21.6
大下 藤次郎	修善寺	1896年	水彩、紙	20.8×32.2
大下 藤次郎	白丸	1896~1897年頃	水彩、紙	20.6×32.2
大下 藤次郎	裸婦	1897年	水彩、紙	44.0×34.6
大下 藤次郎	裸婦	1897年	水彩、紙	43.9×29.3
大下 藤次郎	裸婦	1897年	水彩、紙	29.4×22.4
大下 藤次郎	富士を望む	1897年	水彩、紙	19.2×32.4
大下 藤次郎	日光	1897年	水彩、紙	25.6×39.2
大下 藤次郎	巢鴨の牛小屋	1897年	水彩、紙	20.6×32.6
大下 藤次郎	越ヶ谷	1897年	水彩、紙	19.8×32.0
大下 藤次郎	綾瀬	1897年	水彩、紙	18.2×31.4
大下 藤次郎	興津	1897年	水彩、紙	15.7×32.6
大下 藤次郎	相模(AKIYA SAGAMI)	1897年	水彩、紙	21.4×33.0
大下 藤次郎	ニューヘヴン	1897年	水彩、紙	30.6×20.4
大下 藤次郎	興津	1897年	水彩、紙	15.4×32.5
大下 藤次郎	巢鴨	1897年	水彩、紙	18.2×30.0
大下 藤次郎	風景習作9	1897年	水彩、紙	20.4×31.0
大下 藤次郎	粟田	1897年	水彩、紙	15.7×31.4
大下 藤次郎	武蔵	1897年	水彩、紙	31.2×21.7
大下 藤次郎	浜辺の船	1898年	水彩、紙	19.2×33.0
大下 藤次郎	坂本	1898年	水彩、紙	24.9×38.1
大下 藤次郎	宮の下	1898年	水彩、紙	25.4×39.4
大下 藤次郎	シドニー南端	1898年	水彩、紙	22.2×34.5
大下 藤次郎	シドニー、 ニューサウス・ウェールズ	1898年	水彩、紙	23.3×34.4
大下 藤次郎	シドニー	1898年	水彩、紙	22.6×33.2
大下 藤次郎	メルボルン港	1898年	水彩、紙	23.0×33.5
大下 藤次郎	モートン岬、 クイーンズランド	1898年	水彩、紙	23.2×34.5
大下 藤次郎	サンドゲート、 クイーンズランド	1898年	水彩、紙	23.0×34.8
大下 藤次郎	ロイヤルパーク、 メルボルン	1898年	水彩、紙	20.7×31.4
大下 藤次郎	プリズバーン河	1898年	水彩、紙	23.0×34.8
大下 藤次郎	プリズバーン河	1898年	水彩、紙	22.5×34.5
大下 藤次郎	金剛甲板にて	1898年	水彩、紙	40.2×26.9
大下 藤次郎	シドニー湾	1898年	水彩、紙	22.4×34.4
大下 藤次郎	赤道直下にて	1898年	水彩、紙	21.9×34.4
大下 藤次郎	アトリエの画家	1898年	水彩、紙	33.4×22.3
大下 藤次郎	信州の夏	1899年	水彩、紙	50.0×71.5
大下 藤次郎	つつじ	1899年	水彩、紙	32.5×47.4
大下 藤次郎	峠の木	1899年	水彩、紙	30.8×20.6
大下 藤次郎	雲の観察・明治32年 9月13日・正午・南	1899年	水彩、紙	15.8×26.0
大下 藤次郎	雲の観察・9月下旬・ 西方午後5時	1899年	水彩、紙	17.3×25.7
大下 藤次郎	雲の観察(明治33年 11月21日朝 東)	1900年	水彩、紙	18.0×27.4
大下 藤次郎	雲の観察(明治33年 12月5日 西南方)	1900年	水彩、紙	18.2×27.2
大下 藤次郎	城跡	1903年	水彩、紙	27.7×38.8

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ (cm)
大下 藤次郎	仁王門(山門)	1903～1911年頃	水彩、紙	22.1×33.6
大下 藤次郎	ポピー	1903～1911年頃	水彩、紙	31.2×45.8
大下 藤次郎	野の花	1903～1911年頃	水彩、紙	22.0×33.3
大下 藤次郎	せせらぎ	1903～1911年頃	水彩、紙	25.8×36.5
大下 藤次郎	暮景	1903～1911年頃	水彩、紙	18.0×34.3
大下 藤次郎	河原	1903～1911年頃	水彩、紙	22.2×32.8
大下 藤次郎	桜	1903～1911年頃	水彩、紙	19.0×29.5
大下 藤次郎	夕日	1903～1911年頃	水彩、紙	13.1×19.3
大下 藤次郎	湖上の雲	1903～1911年頃	水彩、紙	22.8×34.2
大下 藤次郎	入江	1903～1911年頃	水彩、紙	23.0×34.0
大下 藤次郎	山の眺め	1903～1911年頃	水彩、紙	33.6×23.1
大下 藤次郎	浜辺の松	1903～1911年頃	水彩、紙	36.4×25.2
大下 藤次郎	青梅	1904年	水彩、紙	33.4×22.4
大下 藤次郎	青梅	1904年	水彩、紙	33.9×22.2
大下 藤次郎	河原	1904年	水彩、紙	52.0×74.5
大下 藤次郎	寄居	1904年	水彩、紙	22.4×34.1
大下 藤次郎	秋の雲	1904年	水彩、紙	32.9×49.7
大下 藤次郎	林間	1904年	水彩、紙	22.3×33.8
大下 藤次郎	木立	1904年	水彩、紙	34.0×22.4
大下 藤次郎	村の寺	1904年	水彩、紙	29.8×19.9
大下 藤次郎	天ヶ瀬	1904年	水彩、紙	17.6×26.5
大下 藤次郎	早春	1904年	水彩、紙	22.9×33.7
大下 藤次郎	風景	1904年	水彩、紙	22.0×34.0
大下 藤次郎	秋谷の漁村	1905年	水彩、紙	48.8×69.7
大下 藤次郎	浪	1905年	水彩、紙	22.3×33.2
大下 藤次郎	磐梯山噴火口	1906年	水彩、紙	22.9×34.1
大下 藤次郎	風景	1906年	水彩、紙	10.3×20.8
大下 藤次郎	船のある風景	1906年	水彩、紙	10.4×20.8
大下 藤次郎	水辺風景5	1906年	水彩、紙	22.8×33.9
大下 藤次郎	多摩川	1906年頃	水彩、紙	22.6×32.7
大下 藤次郎	磐梯山噴火口	1907年	水彩、紙	34.2×51.9
大下 藤次郎	多摩川畔	1907年	水彩、紙	48.8×69.7
大下 藤次郎	波	1907年	水彩、紙	26.1×46.4
大下 藤次郎	甲州駒ヶ岳	1907年	水彩、紙	22.1×33.0
大下 藤次郎	猪苗代	1907年	水彩、紙	66.7×48.2
大下 藤次郎	穂高山の残雪	1907年	水彩、紙	22.2×33.2
大下 藤次郎	檜原湖の秋	1907年	水彩、紙	61.2×97.2
大下 藤次郎	猪苗代	1907年頃	水彩、紙	23.5×33.9
大下 藤次郎	飯坂	1907年頃	水彩、紙	30.8×45.6
大下 藤次郎	湖水を望む	1907年頃	水彩、紙	22.9×34.8
大下 藤次郎	徳本小屋のほとり	1907年頃	水彩、紙	21.9×33.2
大下 藤次郎	興津	1907年頃	水彩、紙	22.5×33.2
大下 藤次郎	浮き雲	1907～1911年頃	水彩、紙	31.3×45.6
大下 藤次郎	生け花	1907～1911年頃	水彩、紙	33.7×22.8
大下 藤次郎	秋海棠	1907～1911年頃	水彩、紙	34.8×22.4
大下 藤次郎	森	1907～1911年頃	水彩、紙	25.7×36.5
大下 藤次郎	山あいの道	1907～1911年頃	水彩、紙	25.6×36.5
大下 藤次郎	高原	1907～1911年頃	水彩、紙	27.6×39.8
大下 藤次郎	秋の夕	1907～1911年頃	水彩、紙	30.8×45.6
大下 藤次郎	山上の眺め	1908年	水彩、紙	22.3×32.6
大下 藤次郎	残雪	1908年	水彩、紙	22.3×33.2
大下 藤次郎	水芭蕉	1908年	水彩、紙	33.2×22.5
大下 藤次郎	松	1908年	水彩、紙	31.2×46.2
大下 藤次郎	波の音	1908年	水彩、紙	22.0×33.1
大下 藤次郎	富士を望む	1909年	水彩、紙	30.5×45.4
大下 藤次郎	静物 林檎	1909年	水彩、紙	33.6×50.3
大下 藤次郎	庭の一隅(コスモス)	1909年	水彩、紙	26.4×37.0
大下 藤次郎	西山峠	1909年	水彩、紙	32.9×22.2
大下 藤次郎	浜辺の家	1910年	水彩、紙	25.7×36.6
大下 藤次郎	小豆島	1910年	水彩、紙	25.4×36.5
大下 藤次郎	初夏	1910年頃	水彩、紙	25.9×36.6
大下 藤次郎	宍道湖の黄昏	1911年	水彩、紙	25.6×36.8
大下 藤次郎	美寿賀城跡	1911年	水彩、紙	25.8×36.5
大下 藤次郎	秩父琴平山	不詳	水彩、紙	17.5×11.4
大下 藤次郎	宿場	不詳	水彩、紙	21.9×33.1

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ (cm)
大下 藤次郎	船のある風景	不詳	水彩、紙	22.6×33.0
大下 藤次郎	波	不詳	水彩、紙	22.2×32.9
大下 藤次郎	富士山	不詳	水彩、紙	27.9×35.5
大下 藤次郎	帆船	不詳	水彩、紙	34.3×22.9
大下 藤次郎	入江	不詳	水彩、紙	11.0×17.9
大下 藤次郎	風景	不詳	水彩、紙	13.4×18.5
大下 藤次郎	舟のある風景	不詳	水彩、紙	13.8×20.2
大下 藤次郎	池	不詳	水彩、紙	15.0×23.2
大下 藤次郎	川	不詳	水彩、紙	22.8×34.4
大下 藤次郎	紫陽花	不詳	水彩、紙	32.2×22.2
大下 藤次郎	海	不詳	水彩、紙	23.0×33.7
大下 藤次郎	樹林	不詳	水彩、紙	20.7×31.1
大下 藤次郎	風景	不詳	水彩、紙	14.2×20.4
大下 藤次郎	木立	不詳	水彩、紙	22.0×33.0
大下 藤次郎	朝	不詳	水彩、紙	23.0×33.9
大下 藤次郎	緑陰	不詳	水彩、紙	25.4×36.9
大下 藤次郎	波	不詳	水彩、紙	16.2×24.4
大下 藤次郎	風景	不詳	水彩、紙	15.3×38.4
大下 藤次郎	風景習作10	不詳	水彩、紙	15.4×23.4
大下 藤次郎	風景習作11	不詳	水彩、紙	14.8×22.1
大下 藤次郎	菊花	不詳	水彩、紙	34.0×23.0
大下 藤次郎	水辺風景1	不詳	水彩、紙	22.4×32.8
大下 藤次郎	水辺風景2	不詳	水彩、紙	22.0×33.2
大下 藤次郎	水辺風景3	不詳	水彩、紙	22.3×33.0
大下 藤次郎	雪の山1	不詳	水彩、紙	25.4×36.6
大下 藤次郎	水辺風景4	不詳	水彩、紙	21.9×32.2
大下 藤次郎	庭園	不詳	水彩、紙	22.1×33.0
大下 藤次郎	水辺風景6	不詳	水彩、紙	33.2×22.1
大下 藤次郎	坂道の家並み	不詳	水彩、紙	37.0×25.4
大下 藤次郎	釣鐘	不詳	水彩、紙	26.2×17.7
大下 藤次郎	崖	不詳	水彩、紙	33.0×22.3
大下 藤次郎	水辺の小屋	不詳	水彩、紙	33.7×23.4
大下 藤次郎	雪の山2	不詳	水彩、紙	22.2×33.0
大下 藤次郎	水辺の山	不詳	水彩、紙	30.7×46.2
大下 藤次郎	雪の山3	不詳	水彩、紙	25.8×36.5
大下 藤次郎	水辺の木立	不詳	水彩、紙	30.6×46.4
大下 藤次郎	雪の山4	不詳	水彩、紙	31.4×46.2
大下 藤次郎	富士山	不詳	水彩、紙	25.4×36.6
大下 藤次郎	樹木	不詳	水彩、紙	32.7×22.6
大下 藤次郎	樹木習作	不詳	水彩、紙	33.5×22.1
大下 藤次郎	船着き場	不詳	水彩、紙	23.6×15.8
大下 藤次郎	寺の境内	不詳	水彩、紙	14.0×17.6
大下 藤次郎	秋の川辺	不詳	水彩、紙	15.2×23.4
大下 藤次郎	海洋	不詳	水彩、紙	29.8×50.4
大下 藤次郎	溪流	不詳	水彩、紙	22.4×32.9
大下 藤次郎	金色夜叉絵葉書下絵 5点	不詳	水彩、紙	22.3×33.2
大橋 正堯	農家	1896年	水彩、紙	9.1×14.4
草間 彌生	(18C)	1958年	グアッシュ・パステル、紙	67.5×53.7
草間 彌生	(18D)	1956年	グアッシュ・パステル、紙	58.4×43.3
草間 彌生	(18J)	1954年	グアッシュ・パステル、紙	61.0×45.7
草間 彌生	(18L)	1957年	グアッシュ・パステル、紙	67.5×53.6
草間 彌生	(18M)	1957年	グアッシュ・パステル、紙	67.8×53.8
草間 彌生	(18Q)	1956年	グアッシュ・パステル、紙	61.0×45.7
草間 彌生	FLOWER Q.S.A	1954年	グアッシュ・パステル、紙	32.5×33.4
草間 彌生	HORIZONTAL-B	1953年	グアッシュ・パステル、紙	28.0×28.0
草間 彌生	No.235.Q.2	1953年	グアッシュ・パステル、紙	32.5×30.7
草間 彌生	The Heat	1952年	グアッシュ・パステル、紙	29.8×24.8
草間 彌生	帽子	1975年	フォトコラージュ・水彩・パステル、紙	39.5×54.5
後藤 工志	風景	1912～1929年頃	水彩、紙	15.7×21.7
三宅 克己	農村風景	1896年	水彩、紙	28.5×48.5
三宅 克己	伊豆風景	1926～1945年	水彩、紙	49.0×65.8
マリア・リカルツ	無題(青いドレスに青い帽子、赤い星印の上に立つ女性)	1916年	水彩、紙	26.4×25.6
マリア・リカルツ	無題(扇を持つピンクのドレスを着た女性)	1916年	水彩、紙	26.4×25.6

素描

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ (cm)
大下 藤次郎	馬	1892年	鉛筆、紙	17.6×14.0
大下 藤次郎	高田千歳町	1892年	鉛筆、紙	28.5×38.3
大下 藤次郎	十二社裏	1893年	鉛筆、紙	24.8×18.7
大下 藤次郎	越前堀	1893年	鉛筆、紙	19.4×25.4
大下 藤次郎	四ッ谷 谷町	1893年	鉛筆、紙	29.2×37.8
大下 藤次郎	小石川白山御殿側	1893年	鉛筆、紙	29.4×38.1
大下 藤次郎	護国寺内	1893年	鉛筆・水彩、紙	25.0×18.9
大下 藤次郎	椿	1894年	鉛筆、紙	19.5×16.9
大下 藤次郎	京都途上所見	1895年	鉛筆、紙	11.2×17.6
大下 藤次郎	国内風景スケッチ 98年10月20日	1895年	鉛筆・水彩、紙	11.3×17.6
大下 藤次郎	京の□居	1896年	鉛筆・水彩、紙	11.2×16.6
大下 藤次郎	民家の庭先	1897年	鉛筆・水彩、紙	11.3×17.6
大下 藤次郎	軍艦金剛にて①(3枚組)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.3×16.6、9.6×16.8、9.6×17.0
大下 藤次郎	軍艦金剛にて②(3枚組)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.2×17.3、9.3×15.2、9.4×17.1
大下 藤次郎	軍艦金剛にて③(3枚組)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.4×16.8、9.4×17.2、9.5×16.8
大下 藤次郎	金剛スケッチ(甲板)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.5×16.6
大下 藤次郎	金剛スケッチ(雨浴)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.5×16.9
大下 藤次郎	金剛スケッチ(芝居のお稽古安達ヶ原)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.5×17.0
大下 藤次郎	金剛スケッチ(芝居のお稽古太閤記)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.5×16.8
大下 藤次郎	金剛スケッチ(掃除)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.5×14.8
大下 藤次郎	金剛スケッチ(お茶番)	1898年	鉛筆・水彩、紙	9.5×16.8
大下 藤次郎	人物スケッチ(シドニー)	1898年	鉛筆・水彩、紙	
大下 藤次郎	碓永川	1898年	鉛筆・水彩、紙	11.2×17.8
大下 藤次郎	フィジー人物スケッチ	1898年	鉛筆、紙	
大下 藤次郎	渋谷	不詳	鉛筆、紙	19.7×23.8
大下 藤次郎	南品川	不詳	鉛筆、紙	29.3×38.0
大下 藤次郎	麻布二之橋	不詳	鉛筆、紙	28.7×38.4
大下 藤次郎	牛込	不詳	鉛筆、紙	29.0×38.1
大下 藤次郎	富士山スケッチ	不詳	鉛筆、紙	24.0×35.8
大下 藤次郎	二十八番観音	不詳	鉛筆・水彩、紙	17.8×11.2
大下 藤次郎	風景スケッチ 鳥居	不詳	鉛筆・水彩、紙	19.8×15.6
大下 藤次郎	室内	不詳	鉛筆・水彩、紙	8.6×13.7
大下 藤次郎	kitami	不詳	鉛筆、紙	14.0×8.6
大下 藤次郎	鎌倉	不詳	鉛筆、紙	
大下 藤次郎	二日市	不詳	鉛筆、紙	
大下 藤次郎	人物スケッチ 26点	1892~1897年頃	鉛筆・水彩、紙	
岸田 劉生	内藤夫人の像	1919年	木炭・パステル、紙	37.8×30.5
須田 国太郎	大濱	1950年頃	鉛筆、紙	28.5×42.0
須田 国太郎	源平布引瀧の図	不詳	鉛筆、紙	25.5×34.5
須田 国太郎	南座 羽左の実盛	不詳	鉛筆、紙	27.0×36.0
須田 国太郎	将棋の図1	不詳	鉛筆、紙	27.0×36.0
須田 国太郎	将棋の図2	不詳	鉛筆、紙	24.5×35.5
宮 芳平	樹木	1896年	コンテ、紙	18.5×28.4
宮 芳平	村里	1933年	コンテ、紙	18.5×28.2
宮 芳平	はぜのある風景	1928年	鉛筆、紙	25.2×19.0
宮 芳平	冬の木	1932年	鉛筆、紙	25.2×18.4

写真

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ (cm)
森村 泰昌	「美に至る病 女優になった私」(48点組)	1996年	イルフォクローム、アクリル加工	各120.0×95.0
アーウィン・ブリューメンフェルド	「エイジ・オブ・エレガンス」(10点組)	1984年	ダイ・トランスファー・プリント	各50.8×40.1
ウィリアム・クライン	オペラ劇場+顔のない人々、パリ	1963年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	40.0×50.0
ウィリアム・クライン	煙+ヴェール	1958年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	60.0×50.0
ウィリアム・クライン	楽屋のモデルたち、パリ	1965年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	50.0×40.0
エドワード・スタイケン	ナティカ・ナスト	不詳	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.4×20.3
エドワード・スタイケン	F. A. ワイマン夫人	1931年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.0×20.0
エドワード・スタイケン	無題	不詳	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.4×20.3
サラ・ムーン	『ヴォーグ』より	1973年	ダイ・トランスファー・プリント	19.7×30.0

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
ジョージ・ホイニンゲン=ヒューネ	ロレッタ・ヤング	不詳	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.3×20.3
ジョージ・ホイニンゲン=ヒューネ	イリナ・バラノヴァとニニ・テイラード	1940年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	26.1×32.8
ジョージ・ホイニンゲン=ヒューネ	ドラマティック・イブニング・ケープ	1938年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	22.0×28.4
セシル・ビートン	エドワード朝様式の室内にいるメアリー・テイラー、『ヴォーグ』より	1935年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.4×20.2
セシル・ビートン	題不詳(1947 Nov.28)	1947年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.4×20.6
セシル・ビートン	題不詳(1947 Nov.10)	1947年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.4×20.6
セシル・ビートン	題不詳	不詳	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.4×20.6
セシル・ビートン	題不詳	不詳	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.8×20.6
セシル・ビートン	題不詳	不詳	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.8×20.7
ダイアン・アーバス	サウス・カロライナ	1968年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	39.5×38.2
ダイアン・アーバス	舞踏場ダンス ジュニア州チャンピオン、 ニューヨーク州ヨンカーズ	1962年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	37.2×37.2
ダイアン・アーバス	楽屋の風刺劇喜劇女優 アトランティック シティ、ニュージャージー	1963年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	37.6×37.5
ダイアン・アーバス	無題14	1970～71年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	37.3×37.7
ダイアン・アーバス	無題18	1970～71年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	36.8×37.4
ダイアン・アーバス	バラのドレスを着た仮面舞踏会の婦人	1967年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	36.9×37.2
ダイアン・アーバス	五番街のパレードの男、ニューヨーク	1969年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	36.8×36.8
ダイアン・アーバス	恐怖の家、コニー・アイランド、ニューヨーク	1962年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	36.4×37.3
バロン・ド・メイヤー	ミスタンゲット	1920年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	24.1×18.4
バロン・ド・メイヤー	コンデ・ナスト夫人	1925年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	24.1×18.7
ピーター・リンドバーグ	ジゼル、ドーヴィルにて、フランス『ヴォーグ』より	1990年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	30.6×20.5
ピーター・リンドバーグ	ジゼル、ドーヴィルにて、フランス『ヴォーグ』より	1990年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	20.4×30.6
ピーター・リンドバーグ	ジゼル、ドーヴィルにて、フランス『ヴォーグ』より	1990年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	30.5×20.4
ベルナルド・フォコン	到着 〈夏休み〉より	1978年	フレッソン・プリント	60.0×60.0
ベルナルド・フォコン	悪魔のミントシロップ 〈夏休み〉より	1980年	フレッソン・プリント	60.0×60.0
ベルナルド・フォコン	島の祭り 〈時の不確かな進化〉より	1983年	フレッソン・プリント	60.0×60.0
ベルナルド・フォコン	アントワヌ 〈偶像と生贄〉より	1991年	フレッソン・プリント	60.0×60.0
ベルナルド・フォコン	小さな木 〈偶像と生贄〉より	1991年	フレッソン・プリント	60.0×60.0
ベルナルド・フォコン	ミュケナイの門 〈偶像と生贄〉より	1991年	フレッソン・プリント	60.0×60.0
ベルナルド・フォコン	ディミトリ 〈偶像と生贄〉より	1991年	フレッソン・プリント	60.0×60.0
ホルスト P. ホルスト	白い袖、パリ	1936年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	27.9×35.6
マーティン・ムンカッチ	ニューヨーク万国博覧会 『ハーパース・ バザー』1938年9月号	1938年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	
マーティン・ムンカッチ	ルシール・プロコウ 『ハーパース・バ ザー』1933年12月号	1933年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	35.6×27.9
マーティン・ムンカッチ	『ハーパース・バザー』1936年6月号	1936年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	27.9×35.6
メルヴィン・ソコルスキー	デルボーに捧ぐ	1963年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	50.8×40.6
メルヴィン・ソコルスキー	木立のなかで	1963年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	50.8×40.6
リチャード・アヴェドン	ドヴィマと象	1955年	ゼラチン・シルヴァー・プリント	58.5×47.3
ルトランジェ	題不詳	1900年頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	27.0×17.9
ルトランジェ	題不詳	1900年頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	16.2×12.5
ルトランジェ	題不詳	1900年頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	18.4×12.6
ルトランジェ	題不詳	1900年頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	27.1×18.0
ルトランジェ	題不詳	1900年頃	ゼラチン・シルヴァー・プリント	19.2×12.9

工芸

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
阿部 裕幸	根付 明暗	2005年	猪牙	長8.9 幅2.0
巖水	石見根付 扇面草図	江戸時代	象牙	長9.9
宍戸 濤雲	根付 柿本人麩	2005年	猪牙	長6.0 幅2.1
高木 喜峰	根付 迷い道	2005年	猪牙	長6.0 幅1.8
田中 俊晞	石見根付 おろち	2007年	猪牙	長1.0 幅4.5
富永	石見根付 蜘蛛	江戸時代後期	猪牙	8.5×2.4×1.2
富春	石見根付 蓮葉に蓑亀	1792年	鯨の歯	4.1×2.5
富春	石見根付 亀	江戸時代後期	木刻	長6.1
富春	石見根付 鮑に蟹	1795年	象牙	高1.5 幅4.8 奥行3.0
永原 雲永	色絵桐紋秋草図蓋茶碗	江戸時代末期	陶器	高7.9 口径11.0 高台径4.2
永原 英造	色絵金銀彩唐草文鉢	19世紀後半	陶器	高10.0 口径19.5 底径10.3
中村 松間齋	猛禽図高蒔絵印籠	江戸時代末期	高蒔絵	高7.2 幅6.7 奥行2.8
前田 中	根付 番	2005年	猪牙	長5.1 幅1.8

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
龍水	石見根付 牛	江戸時代	木	長5.6
和地 一風	根付 月下の祈り	2005年	猪牙・ベッ甲・海松	長9.9 幅1.8
不詳	石見根付 蜘蛛	江戸時代後期	猪牙	長8.3
ダゴベルト・ベッヒエ	蓋付きの物入れ	1912年デザイン	陶製、釉薬	高15.0
ダゴベルト・ベッヒエ	ペンダント	1919年頃	象牙	長4.6
ダゴベルト・ベッヒエ	ブローチ	1916年	銀、象牙	3.4×3.4
ダゴベルト・ベッヒエ	蓋付きの箱	1920～21年	鍛金・銀	高5.0 径4.2

彫刻

作家名	作品名	制作年	技法、材質	サイズ(cm)
草間 彌生	ドレス	1976年	ドレス、詰め物をした縫製布、ハンガー、彩色	102.0×52.0×20.0
草間 彌生	「銀色の希死」より シルバーシューズ	1976年	靴、詰め物をした縫製布、彩色	23.0×8.6×19.0
草間 彌生	ジェネシス 創世記	1993～94年	詰め物をした縫製布、木、彩色	299.7×480.1×30.0
草間 彌生	南瓜	1998年	F.R.P(強化プラスチック)、 塩ビ系塗装	200.0×250.0×250.0
米原 雲海	仙丹	1910年	木	高34.0

服飾

作家名	作品名	制作年	材質
森 英恵	イブニング・コート、ショートドレス	1964年	純金帯地(西陣織)のコート。ドレスは、帯地と絹サテン。
森 英恵	ジャンプスーツ、カフタン	1966年	菊を同柄でプリントした綾絹と絹シフォンのジャンプ・スーツとカフタン。絹サテンのベルト。
森 英恵	イブニング・コート、ドレス	1968年	帯地風に仕立てた西陣織のイブニング・コート。赤と白の絹サテンのロングドレス。赤い絹サテンのベルト付。
森 英恵	ディ・ドレス	1970年代前半	シルク・シフォンとシルク・サテンに幾何学的な図案をプリント。ワンピース・ドレス。
森 英恵	カフタン、ドレス	1976年	蝶をプリントした絹シフォンと綾絹。同柄の絹シフォンのストール。
森 英恵	イブニング・ドレス	1976年	蝶をプリントした絹シフォンと綾絹。ネックにビーズ刺繍。
森 英恵	イブニング・ドレス「花の白いドレス」	1981年	白い絹クレープのワンピース・ドレス、絹サテンとビーズのアププリケ。
森 英恵	イブニング・ドレス	1981年	黒い絹クレープのワンピース・ドレス、絹サテンとビーズのアププリケ。
森 英恵	イブニング・ドレス「赤い蝶のドレス」	1990年	赤い絹クレープのワンピース・ドレス。
森 英恵	イブニング・ドレス「蒔絵を思わせる赤いサテンのイブニング・ドレス」	1994年秋冬	刺繍とプリントで秋草をあしらった赤い絹サテンのロングドレス。
森 英恵	イブニング・ドレス「蝶を染めたベルベットのドレス」	1996年	ピンク色の絹のワンピース・ドレス。
森 英恵	イブニング・ドレス「北斎の版画のように、山の風景を染めた絹のドレス」	1996年	墨絵風の柄をプリントした絹シフォン、絹サテンのワンピース・ドレス。
森 英恵	イブニング・ドレス「ベージュにりんごの花のドレス」	1998年春夏	ベージュ地にりんごの花をプリントした絹シフォンのロングドレス。マーメイドライン、ノースリーブ。スパンクルによる刺繍。
森 英恵	イブニング・ドレス「コーラル色の花を縫いこいたレースのドレス」	1998年秋冬	チュール地に珊瑚色の花の刺繍を施した、ワンショルダーのロングドレス。
森 英恵	イブニング・ドレス「プリーツをあしらったウールのスーツ」	2001年春夏	白いウールのジャケット、背中にプリーツ飾り。飾りピン付き。白いウールのアコーディオンプリーツのスカート。
森 英恵	「浮世絵ジャケットとリボンで編んだスカート」	2001年秋冬	銀糸を織り込んだ地に浮世絵柄を刺繍したジャケット、裾にフリル。緑、ピンク、茶のリボンを格子に編んだフレアスカート。
森 英恵	「黒い羽を縫いこいたロイヤルブルーのスーツ」	2002年秋冬	花柄の地模様のある青色の綾絹でできたジャケットと膝丈のスカート。襟元、袖さき、背に黒い羽の縫い取り刺繍。
森 英恵	カクテル・ドレス「レースのドレスに軽いボレロ」	2004年春夏	黒い絹レースでできたノースリーブのショートドレス。胸元に小花の刺繍、腰にギャザー飾り。チュール地に格子状の黒いテープで螺旋状に刺繍したボレロ。
森 英恵	カクテル・ドレス「銀色のアンサンブル」	2004年春夏	裾と胸元に銀色のバラをあしらった黒い絹チュール地のショートドレス。同柄のバラモチーフを全面に刺繍した黒い絹チュールのボレロ。
森 英恵	イブニング・ドレス「墨絵にオレンジ色の花を添えたシフォンのドレス」	2004年春夏	墨絵とオレンジ色のバラをプリントした絹シフォンのロングドレス。腰にモザイク状のベルト飾り。
森 英恵	イブニング・ドレス「蝶とタイガーと波をそめた白い絹のドレス」	2004年春夏	蝶と虎と波をプリントした絹シフォンのロングドレス。裾と袖口に同布で刺繍、蝶と虎にはスパンコール刺繍、背にボタン飾り。
アリックス・グレ	イブニング・ドレス	1958年	黒い絹ジャージーのワンピース・ドレス。細かくたたまれたプリーツ。
アンドレ・クレージュ	ブーツ	1960年代後半	白い革、VELCROのファスナー付き。
アンドレ・クレージュ	ジャンプスーツ	1970年	青と白のウール。マンダリン・カラー。茶革のトリミング、折り返しのあるカフス。
アンドレ・クレージュ	イブニング・ドレス	1970年頃	白いウール地のワンピース・ドレス。裏地は白い絹。

作家名	作品名	制作年	材質
アンドレ・クレージュ	ディ・アンサンブル	1965～1967年	ライムと緑色のチェック地の白いウール地のツーピース・ドレス。裏地はクリーム色の絹。
アンドレ・クレージュ	スーツ、ブーツ、小物(カメラ)	1960年代後半～1970年	フェイクのエナメル(ビニール製)。丈の短いジャケット、ボディス中央とカフスに白いボタン、白いエナメルのロゴ・マーク、ヒップボーンのミニスカート。銀色の革製のブーツ。アクセサリーとして日本製カメラ(ミノルタ製)。
イヴ・サンローラン	カクテル・ドレス、ケープ	1967～1968年	カクテル・ドレスとケープのアンサンブル。ボティスは黄色の絹オーガンザ、ピンク、黄色のパイエット飾り等で刺繍。スカート、ケープには黄色のオストリッチ・フェザー。
イヴ・サンローラン	ディナー・ドレス「夜の音楽」	1956年	ダーク・グレーのシルク・グログラン地。Vネックライン、七分丈のラグラン・スリーヴ、トラペーズラインのスカート、4重に重ねたベチコートには、ホース・ヘアー・バンド。
イヴ・サンローラン	イブニング・スーツ	1967年頃	黒のサテンによりトリミングされた黒いウールのイブニング・スーツ。
ヴィヴィアン・ウエストウッド	ショール付イブニング・ドレス「サロン」	1992年	透けた黒のストレッチ素材。共布のショール付き。
ヴィヴィアン・ウエストウッド	イブニング・ドレス「18世紀スタイル」	1992年	金色の革。ボーンの入ったボティス。皮のスカート。スカーフは白の絹ゴーズ、太陽のモチーフを金色でプリント。プラットフォーム・シューズは、金色の皮、ヒールには赤のエナメル。
ヴィヴィアン・ウエストウッド	ジャケット、パンツ、シャツ「リバティコレクション」	1994年	グレー、白、赤のタータンのウール。ロング丈のジャケット、ベスト、折り返しのついたパンツ。チェックの綿のシャツ。
ヴィヴィアン・ウエストウッド	ドレス、靴	1990年	黒色絹ベルベットのストレッチ素材のコレット、パッドの入ったバスル付きガーター風のボトム、17cmヒールのプラットフォーム・シューズ。
エルザ・スキヤパレリ	イブニング・ドレス	1938年	ショッキングピンク地にプリントを施した絹シフォンのワンピース・ドレス。ショッキングピンクのアンダードレス。
エルザ・スキヤパレリ	水着	1930年代後半	綿とレーヨンの混紡。幾何学模様。ホルターネックブラ。
エルザ・スキヤパレリ	イブニング・ドレス	1939年	クリーム色のサテン・シルク。衿はフェイク(衿の形をしたアップリケ・ワーク)。肩にプラスチック・ジップ。
エルメス	水着	1940～1950年代	幾何学的な魚の模様のスパンデックス。ボーン入り。
ガブリエル・シャネル	イブニング・ドレス	1927年頃	黒の絹シフォンのワンピース・ドレス。バイアスカット。黒の絹のスリッパ。
ガブリエル・シャネル	イブニング・ドレス	1920年代後半	黒い絹クレープ・デ・シンにシャンティイレース地を重ねたワンピース・ドレス。サテン地のリボン。
クリスチャン・ディオール	ボールガウン	1954年	アイボリーの絹ファイユのストラップレス・ドレス。植物のモチーフをビーズ刺繍。
クリスチャン・ディオール	ボールガウン、ストール、靴	1954年	淡い青地に濃い水玉模様のプリント、絹シフォンのストラップレス・ドレス。襟元にポー飾り。背面にバスル風形状の飾り。共布のストールと靴。
クリスチャン・ディオール	ディ・ドレス	1949年	黒のウール。厚みのある開襟カラー。ジャケットに飾りポケット。巻きスカート。
クリスチャン・ディオール	ディナー・ドレス「カラカス」	1953年	バラのプリント地の絹シフォンのツーピース・ドレス。裏地はピンクの絹オーガンザ。内側にはボーンの入ったチュール地とシフォンのコレット。巻きスカート、シース型のアンダースカート付。
クリスチャン・ディオール	コート	1955年頃	グレーの絹ファイユ地。大きな襟と七分丈のラグラン・スリーヴ。後ろは大きくVの字に開きボウ飾り有り。両脇にポケット。背中中央にボックスブリーツ。裏地はグレーの絹。
クリスチャン・ディオール	カクテル・ドレス	1956年	茶の絹タフタ。ウエストにベルト。
クリスチャン・ディオール ／イヴ・サンローラン	ディナー・ドレス	1958年	銀の絹サテン、裏地は絹ゴーズ。七分丈のラグラン・スリーヴ。幅広の帯風のベルト。ボティスの内側にはチュール地のボーン入りコレットとガーター。スカートにはチュール地の3段のベチコート。
クリスチャン・ディオール ／マルク・ボアン	ディナー・ドレス	1961年	ピーコック・ブルーの絹。裏地は青の絹オーガンザ。七分丈スリーヴ。左右が不均等なボレロ風ジャケット。
クリストバル・バレンシアガ	カクテル・ドレス	1950～1951年	濃い青の絹タフタのカクテル・ドレスとジャケット。ドレスはホルター・ネック、前面にボタン、バルーンスカート。ジャケットは肩幅の狭いシルエット。ベルト付き。ビーズ付き濃紺の靴。
クリストバル・バレンシアガ	カクテル・ドレス	1961年	クリーム色のシフォン。トラペーズラインのドレス。
クリストバル・バレンシアガ	ケープ	1946年	黒の絹ファイユ地にホース・ヘアー、銀のスパングル、人造宝石の刺繍。
クリストバル・バレンシアガ	ドレス	1949年	黒のウールに緑の絹タフタのワンピース・ドレス。
クリストバル・バレンシアガ	コート・ドレス	1958年	淡いグレーのモワレのコート・ドレス。マンダリンカラー。袖には金色に着色した木製釦。アンダースカート付。
クリストバル・バレンシアガ	カクテル・ドレス	1957年	黒のシャンティイ・レースの「ベビードールドレス」。黒の絹のスリッパ・ドレス。
クリストバル・バレンシアガ	カクテル・ドレス	1957年	黒いバラのモチーフのある白いレース地のワンピース・ドレス「ベビードール・ドレス」。絹シフォンのアンダードレス付。
クレア・マッカーディル	水着	1945年頃	黒色と白色のストライプのジャージー。
ザンドラ・ローズ	フード付きカフタン	1969年	黒、黄、緑で円状の模様がスクリーンプリントされたフード付きカフタン。
ジェームス・ガラノス	パンツ・スーツ	1970年	アイボリーのケミカル・レース。ジャケット、ベスト、ファスナー付きフレア・ボトムのパンツ。
シャルル＝フレデリック・ウォルト	ボールガウン	1897年	アイボリーの絹サテン、ジゴ袖のツーピース・ドレス。金糸で刺繍の施されたベージュのラメ、ボティスとスカートに稲妻と雲のデザイン。雲のデザインの薄い青色のトレーン。
ジャン＝フィリップ・ウォルト	ウェディング・ドレス	1916年	さまざまな種類のブリュッセル・レースを組み合わせたドレス。
ジャンヌ・ランバン	イブニング・ドレス	1928年	黒の絹チュールのワンピース・ドレス。ボティスとスカート上部に金銀のスパングルなどによる刺繍。

作家名	作品名	制作年	材質
ジャンヌ・ランバン	ドレス	1936年	黒の絹クレープのワンピース・ドレス。袖に白いフェルト地のアップリケ・ワーク。バイアスカット。
ジルベルト・エイドリ アン	デイ・ドレス	1940年代	赤茶と緑の玉虫色のウール。肩パッド付きのジャケット。スリットのあるタイト・スカート。
スザンヌ・タルボット	イブニング・コート	1925年頃	黒い絹の繭型コート。椰子の葉と花々を刺繍したテキスタイル。黒の毛皮のトリミング。裏地は黒のベルベット。
ステーンブラザーズ	レセプション・ドレス	1900～1905年頃	黒いネット・レース、アイボリーの絹サテン、絹シフォン、絹タフタを重ねている。S字ライン。
ダゴベルト・ベッヒエ	カフタン	1919年頃	絹に色を濃淡にぼかした縞模様プリント「レインボー」。
ダゴベルト・ベッヒエ	ネック・バンド	1919年頃	ビーズ。
ダゴベルト・ベッヒエ	テーブルセンター	1919～1920年	絹。チュールにアップリケ。
チャールズ・ジェームス	ディナー・ドレス「スパイラルドレス」	1951年	ルビー・レッドの絹ファイユ。スカートにくるみ釦、ファスナー。
ニナ・リッチ	イブニング・ドレス	1948年	紺と白の絹。開襟カラー。両肩下にポケットのある短いマント風ジャケット。前面にくるみ釦。クリノリン型のスカート。チュール・ネットの下着付き。
ハーバート・レヴィン	靴「カブキ・シューズ」	1964年	青色ベルベット。木製ソールは金色にペイント。
バーバラ・フラニッ キー／ピバ	パンツ・スーツ	1970年	「サンダーソン」社製テキスタイルのテーラード・ジャケット、ヒップ・ボーンフレアーパンツ。
バーバラ・フラニッ キー／ピバ	パンツ・スーツ	1970年頃	ト音記号をプリントしたウールと綿のニットでできた、テーラードジャケット、ヒップボーンフレアーパンツ。
パコ・ラバンヌ	イブニング・ドレス	1966年	銀色のアルミニウム板を真鍮の金具でつなぎ合わせたミニドレス。
ピエール・バルマン	イブニング・ドレス	1955年頃	黒の絹ベルベットと絹ファイユ地。後ろ身頃にファスナー、その上にくるみ釦飾り付き。チュール地とホースヘアを6段に重ねたオリジナルのペチコート付き。
ピバ	スーツ	1970年	「サンダーソン」社製テキスタイルのテーラード・ジャケット、ヒップボーンフレアー・パンツ。
ベス・レヴィン	サンダル「ネイキッド・シューズ」	1960年代	革製サンダル。プラスチック製のシダのモチーフのデコレーション。
ポール・ポワレ	イブニング・ドレス	1913年	黄色の絹ゴーズとプリーツのあるグリーン地のシフォン地。銀ブレードの縁飾り、バンド部分にベイズリー模様を銀糸やスパンゲルで刺繍。裏地はライム・グリーン地の絹シフォン。
ポール・ポワレ	ドレス	1920年代後半	シュミーズ風赤紫色の絹クレープ・デ・シンのワンピース・ドレスに、藤色と紫色のプリーツのあるオーバードレス。前身頃とウエストに、オリエンタル風モチーフを刺繍。
ポール・ポワレ	「ガーデン・パーティ・ドレス」	1911年	アイボリー色のオーガンジー。ボディとスカート裾に花弁の形をアップリケ、中央のバラはステンシルによるペイント。裏地の裾に黒色の絹ベルベット。
ポール・ポワレ	ドライブ用コート	1910年頃	アイボリー色のシャンタン絹地。Aライン、ラグランスリーブ、丸襟、骨のボタン。
ポール・ポワレ	ディ・ドレス	1925年	絹グログラン地に海辺のシーンをプリント。Vネックの襟元、ロウ・ウエスト。
ポール・ポワレ	ディ・ドレス「ブリトンヌ」	1921年	紺色のウール、青緑色のベルベット地、中国風の刺繍が施された長い袖、ボディの中央にフックファスナー、ウエスト前部にゴム。
ポール・ポワレ	カフタン・コート「イスファハン」	1908年	緑色の絹サテン、裏地には茶色の絹サテン、中東風の模様をゴールドギルド糸刺繍。袖の縁取りに使われた紐にはタッセル飾り付き。
マックス・スニェク	ドレス、テキスタイル「バイエル」	1928年頃	絹にプリント。ウエストに二つのポケット。黒の絹の縁。
マックス・スニェク	ドレス、テキスタイル「エロス」	1926年頃	絹にプリント。襟元にヒダ飾りのついたスクエアのネックライン。伸縮性のある袖口。2つのポケット。
マックス・スニェク	ドレス、テキスタイル「ゼレニカ」	1929年	絹にプリント。濃い青の絹で縁取られたウエストまで届くV字の襟。袖も青の絹で縁取り。
マドレーヌ・ヴィオネ	ディ・ドレス	1920年頃	黒の絹クレープのワンピース・ドレス。ボートネック、ラグラン・スリーブ、プリーツスカート。
マドレーヌ・ヴィオネ	ディ・ドレス	1934年頃	赤緋色のクレープ。ワンピース・ドレス。バイアス・カット。
マドレーヌ・ヴィオネ	イブニング・ドレス、スリッパ、ストール	1938年	黒いチュール地に金色のぶどうのモチーフのワンピース・ドレス。サーキュラー・スカート。ホルター・ネック。黒い絹サテンのアンダー・ドレス付。黒いチュールのストール。
マドレーヌ・ヴィオネ	イブニング・ドレス	1938年	ドレスとアンダードレスの2ピース。ピンクのシルク・シフォン地のオーバー・ドレス、シフォンと絹地のアンダー・ドレス。
マリア・モナチ・ガ レンガ	ティーガウン	1910年代	赤茶色の絹ベルベット地、直線断ちのドレス、ロング・スリーブス、肩にヴェネツィアンビーズ。ドレスに鳥と植物模様、袖に幾何学模様が金でステンシルワーク。
マリア・リカルツ	バッグ	1919年	ビーズ・ワーク。
マリアノ・フォル チュニ	コート	1912年以降	深緑と錆赤のベルベットにピンクと金色でプリント。金でルネサンス風文様がプリントされた錆赤のベルベットでトリミング。錆赤のロングタイ。絹のライニング。
マリアノ・フォル チュニ	チュニック「タバード」	1910年代	透けた黒の絹ゴーズ。金色のステンシル・ワーク。脇、裾にトンボ玉付き。
マリアノ・フォル チュニ	プリーツ・ドレス「デルフォス」	1910年代	白の絹サテンのワンピース・ドレス。不規則な細かいプリーツ。アーム・ホール、脇にトンボ玉付き。ベージュと赤銅色の飾りヒモ付き。
マリアノ・フォル チュニ	プリーツ・ドレス「デルフォス」	1910年代	赤の絹サテンのワンピース・ドレス。不規則な細かいプリーツ。アーム・ホール、脇にトンボ玉付き。
メンブーシェ	イブニング・ドレス	1940年	黒の絹クレープ。背中に深いVカット。ラグラン・スリーブ。
リバティ商会	コート		青色の絹ベルベット。ライニングは絹のシルバー・ラメ。フロントにくるみボタン、襟に絹製の紐、裾に長いタッセル飾り。

作家名	作品名	制作年	材質
リバティ商会	ティーガウン	1908年	ブルーグレーのクレープ。茶がかったグレーの絹シフォンでトリミング。襟に中国風刺繍。
リバティ商会	バッグ	1910年代	異国風のモチーフのニードルワーク、緑色の絹地のライニング。
ルディ・ガーンライヒ	ミニ・ドレス、ピキニス、ブーツ	1967年	ピンクのウール・ニット。ビニールのインサージョン。ブーツにも同様のビニールのインサージョン。
ルディ・ガーンライヒ	ミニ・ドレス、ピキニス、ブーツ	1967年	ライム・グリーン系のウール・ニット。ビニールのインサージョン。ブーツにも同様のビニールのインサージョン。
ルディ・ガーンライヒ	パンツ・スーツ	1960年代後半	ライム・グリーンとブルーのジグザグパターンのウール。ボタン付きベルト。
ルディ・ガーンライヒ	水着「モノキニ」	1964年	ヘリングボーンパターンのウール、綿、ラバーの混紡。
レドファン	コート	1920年代	金糸を織り込んだ黒い絹。シダ植物と花の模様が交差するパターン。襟元と袖に毛皮。袖はカフタン風。裏地はベージュの絹ベルベット。
作者不詳	ペーパー・ドレス「スーパードレス」	1966年頃	「キャンベル・スーパ・カン」のプリントを施したセルロースと綿の不織布。
作者不詳	ビーチ・ウェア	1910～1920年代	白色の絹ボンジー。袖無しのボディス、パンツ。
作者不詳	アフタヌーン・ドレス	1900年頃	ホワイト・コットン・オーガンジー、全体に水玉の織りがある薄手の綿と花柄刺繍、大きくふくらんだ袖、トレーンを引くスカート。
作者不詳	女性用乗馬服	1888年頃	ダーク・グリーン系のウール。ジャケット、パンツ、サイド・サドル・スカート。
作者不詳	女性用乗馬服	1890年頃	グレーのツイード。ジャケット、パンツ、サイド・サドル・スカート。
作者不詳	女性用サイクリング・ウェア	1910年代	茶色のウール。ジャケット、パンツ。
作者不詳	女性用乗馬服	1920年代	茶色のウール。ジャケット、パンツ。
作者不詳	女性用乗馬服	1930年代後半	青色のウール。ジャケット、ジョッパーズのパンツ。
作者不詳	女性用サイクリング・ウェア	1900年頃	紺色のウール。ジャケット、ブルーマー、カラー。ルースなブラウス風のボディス、セーラー・カラー、カフス付の長い袖、隠れた釦ファスナー。
作者不詳	水浴着	1905～1910年頃	濃紺のウール。上着、ブルーマー、スカート。
作者不詳	水着	1920年頃	青色と赤色のストライプのウールニット。右肩に釦ファスナー。
作者不詳	プレイスーツ	1920年代初頭	綿にプリント。ジャケット、パンツ。
作者不詳	水着	1920年代	青、黒、白のストライプのウールのニット。
作者不詳	テニス・ウェア	1926年頃	白色綿。Vネック、ノースリーブ、肩2本ダーツ。
作者不詳	スキー・スーツ	1940年代	ウールとナイロンの混紡のジャンプスーツ。
作者不詳	ネックレス	1920年頃	ピンク、緑、銀色のストライプと小花模様のビーズ・ワーク。両端にタッスルの飾り。
作者不詳	イブニング用シューズ	1920年頃	花のモチーフを銀糸をつかいプロケード織り。
作者不詳	海水浴用シューズ	1920年頃	セージ・グリーン系のゴム製。銀色にペイントされた羽根模様。
作者不詳	ブレスレット	1930年頃	銀。
作者不詳	アフタヌーン・ドレス	1900年頃	ホワイト・コットン・オーガンジー、全体に水玉の織りがある薄手の綿と花柄刺繍、大きくふくらんだ袖、トレーンを引くスカート。

テキスタイル

作家名	作品名	制作年	技法、素材	サイズ(cm)
ラウル・デュフィ	ビアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル 46点	1912～1928年		
マリア・モナチ・ガレンガ	テキスタイル	1913年頃	ステンシル、絹ベルベット	290.0×307.0
マリア・モナチ・ガレンガ	テキスタイル	1920年頃	ステンシル、絹ベルベット	356.0×356.0
	ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル 14点	1922～1930年代		
ダゴベルト・ベッヒェ	「ヴンダーバウム」	1911～16年	プリント、絹	90.0×70.0
フェリス・リックス＝ウエノ	「クレムリン」	1929年	プリント、絹	74.0×94.0

テキスタイル・デザイン

作家名	作品名	制作年	技法、素材
ラウル・デュフィ	ビアンキーニ・フェリエ社のためのテキスタイル・デザイン 68点	1912～1928年	水彩、紙
	ロシア・アヴァンギャルド期のテキスタイル・デザイン 74点	1922～1930年代	水彩、紙

ファッション雑誌、書籍

書名	出版年	サイズ(cm)	備考
『20世紀現代産業装飾芸術百科事典』	1925年	各28.3×23.2	全12冊
『フェミナ』	1904～34年	各35.0×28.2	88冊、欠号あり
『レ・モード』	1901～13年	各35.5×27.0	1～156号合本
『アール・グー・ポーテ』	1922～33年	各31.4×24.0	40冊、欠号あり
『婦人グラフ』	1924～28年	各32.8×24.4	25冊、欠号あり

寄 贈

	分類	作家名	作品名	制作年	技法・材質・形状	サイズ(cm)
1	日本画	田中 頼璋	林和靖愛鶴図	昭和10年頃(1935)	絹本著色、軸	129.4×41.6
2	油彩画	寺戸 恒晴	持石海岸	昭和52年(1977)	油彩、紙	26.8×37.8
3	版画	小林 敬生	蘇生の刻一早春	昭和63年(1988)	紙、木口木版	35.7×25.3
4	版画	笹島 喜平	不動明王No.90	不詳	紙、木版	47.0×34.8
5	版画	鬚嘔	鳳凰 I	昭和58年(1983)	紙、シルクスクリーン	31.0×30.0
6	版画	有元 利夫	1983年展覧会ポスター	昭和58年(1983)	紙、銅版	48.7×35.2
7	版画	平塚 運一	裸婦百態「芝生」	平成7年(1995)	紙、木版	22.0×18.0
8	版画	畦地 梅太郎	火の山	昭和48年(1973)	紙、木版	29.5×22.1
9	版画	畦地 梅太郎	ささやき	昭和53年(1978)	紙、木版	25.0×26.0
10	版画	畦地 梅太郎	園谷の残雪	昭和42年(1967)	紙、木版	46.6×37.3
11	版画	畦地 梅太郎	鳥と山男	昭和58年(1983)	紙、木版	36.8×46.8
12	資料	加賀羅 聡	三浦浩著「津和野物語」挿絵	昭和61年(1986)	水彩、紙	21.8×17.4
13	資料	殿敷 侃	釘(仮題)	不詳	紙、銅版	26.9×31.3
14	資料	古沢 岩美	裸婦(仮題)	不詳	紙、銅版	22.8×18.0

所蔵作品貸出実績

展覧会名、会場、会期	作家名、作品名
「水彩画 みづゑの魅力ー明治から現代までー」 平塚市美術館 平成25年4月20日～6月16日	大下藤次郎《綾瀬》 大下藤次郎《相州秋谷》 大下藤次郎《村の寺》 大下藤次郎《青梅》 大下藤次郎《早春》 大下藤次郎《秋谷の漁村》 大下藤次郎《風景》 大下藤次郎《秋の雲》 大下藤次郎《シドニー湾》 大下藤次郎《メルボルン港》 大下藤次郎《金剛甲板にて》 大下藤次郎《赤道直下にて》 大下藤次郎《多摩川畔》 大下藤次郎《檜原湖の秋》 大下藤次郎《猪苗代》 大下藤次郎《猪苗代》 大下藤次郎《水辺の山》 大下藤次郎《夕日》 大下藤次郎《暮景》 大下藤次郎《波》 大下藤次郎《夏》 大下藤次郎《西山峠》 大下藤次郎《穂高山の残雪》 大下藤次郎《残雪》 大下藤次郎《徳本小屋のほとり》 大下藤次郎《飯坂》 大下藤次郎《磐梯山噴火口》 絵葉書アルバム3冊 森鷗外『水彩画の葉』題言 みづゑ1号～10号(4号を除く) 大下藤次郎著『水彩画の葉』
いづも財団記念事業「高円宮コレクションと石見根付」 大社文化プレイスうらら館「ごえんホール」 平成25年5月19日～5月29日	富永《石見根付 蜘蛛》 富春《石見根付 蓮葉に蓑亀》 富春《石見根付 亀》 富春《石見根付 鮑に蟹》 龍水《石見根付 牛》 不詳《石見根付 蜘蛛》
「出雲阿国展ー初期歌舞伎図から寛文美人図まで」 島根県立美術館 平成25年9月27日～11月4日	不詳《舞踊図屏風》 岩佐派《遊楽美人図》 不詳《遊女柳橋扇面流図屏風》
「東郷青児展ー叙情美の探求ー」 鹿児島市立美術館 平成25年10月3日～11月4日	東郷青児《婦人像》

入館者数一覧・パスポート会員数一覧

1. 入場者数

	グラントワ入場者数	美術館			美術館合計	ホール			ホール合計
		企画展	コレクション展	その他		大ホール	小ホール	その他	
4月	20,010	1,004	1,495	0	2,499	4,329	759	2,498	7,586
5月	20,472	3,138	2,957	71	6,166	1,845	1,430	4,229	7,504
6月	29,612	915	1,765	761	3,441	6,106	3,532	2,248	11,886
7月	33,248	2,743	3,147	160	6,050	6,989	2,375	2,685	12,049
8月	41,672	5,274	5,108	90	10,472	6,794	1,978	3,985	12,757
9月	33,726	1,869	2,176	100	4,145	6,431	2,133	3,067	11,631
10月	35,716	6,640	6,532	0	13,172	8,249	1,151	13,495	22,895
11月	37,438	1,099	2,055	1,788	4,942	7,181	1,694	13,085	21,960
12月	26,758	606	1,408	720	2,734	6,767	2,897	3,072	12,736
1月	24,056	1,914	1,961	80	3,955	5,410	1,333	1,578	8,321
2月	24,859	2,517	2,942	190	5,649	4,476	1,840	3,336	9,652
3月	21,972	0	1,077	943	2,020	1,461	2,999	4,373	8,833
合計	349,539	27,719	32,623	4,903	65,245	66,038	24,121	57,651	147,810

2. 観覧者数

	企画展							
	前売券	当日券				ミュージアム パスポート	招待券	小計
		個人	割引券	団体・割引	無料券			
4月	24	170	24	38	103	437	208	1,004
5月	95	574	86	204	384	1,234	561	3,138
6月	29	118	17	61	90	270	330	915
7月	91	861	55	221	167	813	535	2,743
8月	183	1,865	140	457	369	1,308	952	5,274
9月	12	177	7	74	481	848	270	1,869
10月	80	402	22	161	4,440	1,174	361	6,640
11月	7	124	3	38	106	261	560	1,099
12月	1	32	1	12	49	363	148	606
1月	45	222	25	87	149	1,083	303	1,914
2月	75	196	12	107	215	1,219	693	2,517
3月	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	642	4,741	392	1,460	6,553	9,010	4,921	27,719

	コレクション展							
	前売券	当日券				ミュージアム パスポート	招待券	小計
		別納券	個人	団体・割引	無料券			
4月	24	2	283	77	126	765	218	1,495
5月	95	7	515	161	384	1,234	561	2,957
6月	29	0	434	102	142	708	350	1,765
7月	91	0	1,050	236	221	994	555	3,147
8月	183	0	1,702	513	375	1,379	956	5,108
9月	12	0	197	97	516	1,045	309	2,176
10月	80	0	312	145	4,440	1,172	383	6,532
11月	7	0	364	88	200	779	617	2,055
12月	1	5	172	84	119	801	226	1,408
1月	45	1	261	119	149	1,083	303	1,961
2月	75	2	264	76	223	1,292	1,010	2,942
3月	0	0	329	36	136	530	46	1,077
合計	642	17	5,883	1,734	7,031	11,782	5,534	32,623

3. 企画展観覧者数

名称	会期	日数	観覧者数
和歌と美術 歌のたのしみ、絵のよろこび	平成25年4月20日～6月3日	40	5,057
Kimono Beauty キモノ・ビューティー	平成25年7月13日～8月26日	40	8,017
一木一草に神をみる 自然と美術	平成25年9月14日～11月4日	45	9,608
宮芳平 森鷗外の小説「天寵」の画家	平成25年12月21日～平成26年2月24日	54	5,037
合計			27,719

4. パスポート会員数一覧

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1,914	1,813	1,842	1,855	1,884	1,875	1,856	1,822	1,794	1,719	1,722	1,681

収支概要

■収支概要

(1) 支出予算 単位：千円

センター運営費	22,335
指定管理委託費	312,541
展覧会事業費	63,212
企画展示費	27,207
常設展示費	1,625
特別コレクション展示費	3,216
神々の国プロジェクト企画展示費	31,164
教育普及費	816
教育普及(誘客促進)費	379
教育普及(美術品活用)費	1,418
調査研究費	1,500
情報提供事業費	1,038
美術品保存修復事業費	330
センター利用促進事業費	1,000
合 計	404,569

※2月補正額

(2) 収入実績 単位：千円

企画展	6,218
常設展	1,315
パスポート	4,077
目的外使用料	2,921
合 計	14,531

※図録販売収入など雑入は含まず

島根県芸術文化センター条例

平成16年10月12日
島根県条例第51号島根県芸術文化センター条例をここに公布する。
島根県芸術文化センター条例

(趣旨)

第1条 この条例は、島根県芸術文化センターの設置及び管理について必要な事項を定めるものとする。

(設置)

第2条 多様で質の高い美術、音楽、演劇その他の芸術文化の鑑賞及び創造の機会を提供し、もって芸術文化の振興及び県民生活の向上を図るため、島根県芸術文化センター（以下「センター」という。）を益田市に設置する。

2 センターは、次に掲げる施設をもって構成する。

- (1) 島根県立石見美術館（以下「美術館」という。）
- (2) 島根県立いわみ芸術劇場（以下「芸術劇場」という。）

(業務)

第3条 センターは、次に掲げる業務を行う。

- (1) 美術品及び美術に関する資料（以下「美術品等」という。）の収集、保管及び展示に関すること。
- (2) 美術に関する教育及び普及並びに調査研究に関すること。
- (3) センターの施設及び設備（以下「施設等」という。）で別表第1に掲げるもの（以下「有料施設等」という。）を一般の利用に供すること。
- (4) 音楽、演劇その他の鑑賞を目的とした事業に関すること。
- (5) 芸術文化に関する情報の収集及び提供に関すること。
- (6) 前各号に掲げるもののほか、センターの目的を達成するために必要な業務に関すること。

(職員)

第4条 センターに、センター長その他の職員を置く。

(指定管理者による管理)

第5条 センターの管理は、法人その他の団体であって、知事及び教育委員会（以下「知事等」という。）が指定するもの（以下「指定管理者」という。）にこれを行わせるものとする。

(指定管理者が行う業務)

第6条 指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。

- (1) 有料施設等の利用の許可に関する業務
- (2) 美術館の観覧料の徴収に関する業務
- (3) 施設等の維持管理に関する業務
- (4) センターを利用した第3条第4号及び第5号の業務
- (5) 前各号に掲げるもののほか、センターの運営に関する事務のうち、知事等が必要と認める業務

(指定管理者の指定の申請等)

第7条 知事等は、指定管理者を指定しようとするときは、特別の事情があると認める場合を除き、公募するものとする。

2 第5条の規定による指定を受けようとするものは、申請書に事業計画書その他規則及び教育委員会規則（以下「規則等」という。）で定める書類を添付して、知事等が定める期日までに知事等に提出しなければならない。

(指定管理者の指定)

第8条 知事等は、次の各号に掲げる基準をいずれも満たすもののうち、センターの管理を行わせるのに最も適した団体を候補者として選定し、議会の議決を経て指定管理者を指定するものとする。

- (1) 事業計画書の内容が、住民の平等な利用が図られるものであること及びサービスの向上が図られるものであること。
- (2) 事業計画書の内容が、複合施設としてのセンターの効用を最大限に発揮させるものであること。
- (3) 事業計画書の内容が、施設等の適切な維持管理を図ることができるものであること及び管理に係る経費の縮減が図られるものであること。
- (4) 当該団体が、事業計画書に沿った管理を安定して行う財政的基礎及び人的能力を有するものであること。

(事業報告書の作成及び提出)

第9条 指定管理者は、規則等で定める日までに、センターの管理の業務に関し、規則等で定める内容を記載した事業報告書を作成し、知事等に提出しなければならない。

(業務報告の聴取等)

第10条 知事又は教育委員会は、センターの管理の適正を期するため、指定管理者に対し、その管理の業務又は経理の状況に関し定期に又は必要に応じて臨時に報告を求め、実地に調査し、又は必要な指示をすることができる。

(指定の取消し等)

第11条 指定管理者が前条の指示に従わないとき、その他指定管理者の責めに帰すべき事由により当該指定管理者による管理を継続することができないと認めるときは、知事等は、その指定を取り消し、若しくは期間を定めて管理の業務の全部の停止を命じ、又は知事若しくは教育委員会は期間を定めて管理の業務の一部の停止を命じることができる。

2 前項の規定により指定管理者の指定が取り消され新たな指定管理者がセンターの管理を行うまでの期間又は指定管理者が管理の業務の全部若しくは一部の停止を命ぜられた期間におけるセンターの管理は、必要に応じて知事又は教育委員会が行うものとする。この場合において、次条から第18条まで、第23条及び第24条の規定中指定管理者の権限とされているものについては、知事又は教育委員会の権限とする。

3 第1項の規定により指定を取り消し、又は期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命じた場合において指定管理者に損害が生じて、知事等はその賠償の責めを負わない。

(開館時間等)

第12条 センターの開館時間は、午前9時から午後10時までとする。

2 センターの利用時間は、次の各号に掲げる施設の区分に応じ、当該各号に定めるところによる。

- (1) 美術館 午前9時から午後5時30分まで
- (2) 芸術劇場 午前9時から午後10時まで

3 前2項の規定にかかわらず、指定管理者は、必要があると認めるときは、知事又は教育委員会の承認を受けて、開館時間又は利用時間を変更することができる。

(休館日)

第13条 センターの休館日は、次のとおりとする。ただし、指定管理者は、必要があると認めるときは、知事又は教育委員会の承認を受けて、これを変更することができる。

- (1) 毎月第2火曜日及び第4火曜日(美術館にあっては、毎週火曜日)
- (2) 12月30日から翌年の1月3日まで

2 前項第1号の規定にかかわらず、同号に規定する日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日当たるときは、その翌日以降の最初の休日でない日を休館日とする。

(平17条例39・一部改正)

(利用の許可等)

第14条 有料施設等を利用しようとする者は、指定管理者の許可を受けなければならない。許可に係る事項を変更しようとするときも、同様とする。

2 指定管理者は、有料施設等の利用の目的、方法等が次の各号のいずれかに該当するときは、前項の許可をしないものとする。

- (1) 公の秩序又は善良の風俗に反するおそれがあると認められるとき。
- (2) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号)第2条第2号に規定する暴力団の財産上の利益になるおそれがあると認められるとき。
- (3) 長期間にわたる継続利用により他の利用を妨げるおそれがあると認められるとき。
- (4) センターの施設又は設備を損壊するおそれがあると認められるとき。
- (5) 前各号に掲げるもののほか、センターの管理に支障があると認められるとき又は規則で定める事由に該当すると認められるとき。

3 指定管理者は、センターの管理上必要があると認めるときは、第1項の許可に条件を付することができる。

(許可の取消し等)

第15条 指定管理者は、前条第1項の許可を受けた者(以下「利用者」という。)が、次の各号のいずれかに該当するとき、又は天災地変その他センターの管理上特に必要があるときは、許可を取り消し、同条第3項の規定により許可に付した条件を変更し、又は利用の中止を命ずることができる。

- (1) この条例又はこの条例に基づく規則等の規定に違反したとき。
- (2) 前条第3項の規定により許可に付した条件に違反したとき。
- (3) 偽りその他不正の手段により許可を受けたとき。

(利用料金)

第16条 利用者は、有料施設等の利用に係る料金(以下「利用料金」という。)を指定管理者に支払わなければならない。

2 利用料金は、指定管理者が認めた場合を除き、第14条第1項の許可をするときに徴収する。

3 利用料金は、指定管理者にその収入として収受させる。

4 利用料金は、別表第1に掲げる基準額に0.8を乗じて得た額から当該基準額に1.2を乗じて得た額までの範囲内の額で、指定管理者が知事の承認を受けて定める額とする。

(利用料金の減免)

第17条 指定管理者は、公益上特に必要があると認めるときは、利用料金を減免することができる。

(利用料金の不還付)

第18条 既に納入された利用料金は、還付しない。ただし、次の各号のいずれかに該当するときは、指定管理者は、利用料金の全部又は一部を還付することができる。

- (1) 利用者が、その責めに帰することができない理由により有料施設等を利用することができなくなったとき。
- (2) 指定管理者が、センターの管理上特に必要があるため第15条の規定により利用の許可を取り消したとき。
- (3) 利用者が、利用開始の前で指定管理者が定める日までに利用の中止を申し出たとき。

(利用権の譲渡等の禁止)

第19条 利用者は、有料施設等の利用の権利を他人に譲渡し、又は転貸してはならない。

(観覧料)

第20条 美術館に展示する美術品等を観覧しようとする者(次に掲げる者を除く。)は、別表第2又は別表第3に定める観覧料を納付しなければならない。

- (1) 未就学児
- (2) 常設展(常設展示室における展示をいう。以下同じ。)を観覧しようとする小学校の児童並びに中学校及び高等学校の生徒並びにこれらに準ずる者

(観覧料の減免)

第21条 教育委員会は、公益上特に必要があると認めるときは、観覧料を減免することができる。

(観覧料の不還付)

第22条 既に納付された観覧料は、還付しない。ただし、教育委員会が特に必要と認めるときは、この限りでない。

(指定管理者の指示)

第23条 指定管理者は、センターの管理上必要があると認めるときは、センターを利用する者に対し、当該利用する者が遵守すべき事項に関し必要な指示をすることができる。

(入館の制限)

第24条 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当する者に対しては、センターへの入館を拒否し、又はセンターからの退去を命ずることができる。

- (1) センターの施設若しくは設備又は美術館に展示する美術品若しくは美術に関する資料を損壊するおそれがある者
- (2) 他人に危害を加え、又は迷惑になる行為をする者
- (3) 前2号に掲げる者のほか、センターの管理上支障があると認められる者

(損害賠償)

第25条 指定管理者又はセンターを利用する者は、故意又は過失により、センターの施設若しくは設備又は美術館に展示する美術品若しくは美術に関する資料を損壊し、又は滅失したときは、これによって生じた損害を賠償しなければならない。

(秘密保持義務)

第26条 指定管理者若しくは指定管理者であったもの又は第6条の業務に従事している者若しくは従事していた者は、その業務に関して知り得た管理上の秘密をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に利用してはならない。

(原状回復義務)

第27条 指定管理者は、その指定の期間が満了したとき、又は第11条第1項の規定により指定を取り消され、若しくは期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命ぜられたときは、その管理をしなくなった施設等を速やかに原状に回復しなければならない。ただし、知事又は教育委員会の承認を受けたときは、この限りでない。

2 利用者は、有料施設等の利用が終わったとき、又は第15条の規定により許可を取り消され、若しくは利用の中止を命ぜられたときは、その利用した有料施設等を原状に復し、又は搬入した物件を撤去しなければならない。

(センター協議会)

第28条 センターにセンター協議会（以下「協議会」という。）を置く。

- 2 協議会は、センターの運営に関しセンター長の諮問に応ずるとともに、センター長に対して意見を述べる機関とする。
- 3 協議会の委員（以下「委員」という。）の定数は、15人以内とする。
- 4 委員の任期は、2年とする。ただし、欠員が生じた場合の補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委任)

第29条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則等で定める。

(罰則)

第30条 知事は、詐欺その他不正の行為により、観覧料の徴収を免れた者については、その徴収を免れた金額の5倍に相当する金額（当該5倍に相当する金額が5万円を超えないときは、5万円とする。）以下の過料を科することができる。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成17年4月1日から施行する。ただし、次項及び附則第3項の規定は、公布の日から施行する。

(準備行為)

2 第8条に規定する指定及びこれに関し必要なその他の行為は、この条例の施行前においても第7条の規定の例により行うことができる。

3 センターの供用開始の日以後の利用に係る有料施設等の利用の許可に関し必要な準備行為は、この条例の施行の日（以下「施行日」という。）前においても行うことができる。

(供用開始)

4 センターは、知事が別に定める日から供用を開始する。

(知事が別に定める日＝平成17年10月8日)

(経過措置)

5 施行日から前項に規定する供用を開始する日までの間は、第12条、第13条及び第28条の規定は、適用しない。

附 則（平成17年条例第39号）

この条例は、平成18年4月1日から施行する。ただし、第2条の規定は、公布の日から施行する。

別表第1（第3条関係）

1 施設の基準額

(1) 大ホール等

区分			基準額					
			午前9時から 正午まで	午後1時から 午後5時まで	午後6時から 午後10時まで	午前9時から 午後5時まで	午後1時から 午後10時まで	午前9時から 午後10時まで
大ホール	1階席 及び 2階席	平日	円 30,640	円 40,860	円 51,070	円 61,290	円 81,720	円 102,150
		土、日曜日 及び休日	36,760	49,030	61,280	73,540	98,060	122,580
	1階席	平日	20,430	27,240	34,050	40,860	54,480	68,100
		土、日曜日 及び休日	24,510	32,680	40,860	49,030	65,370	81,720
小ホール	平日	8,170	10,890	13,620	16,340	21,790	27,240	
	土、日曜日 及び休日	9,800	13,060	16,340	19,600	26,140	32,680	
スタジオ1			4,620	6,160	7,700	9,240	12,320	15,410
スタジオ2			950	1,270	1,590	1,900	2,540	3,180
大ホール大楽屋1			2,070	2,760	3,460	4,150	5,530	6,920
大ホール大楽屋2			2,070	2,760	3,460	4,150	5,530	6,920
大ホール中楽屋1			830	1,110	1,390	1,660	2,220	2,780
大ホール中楽屋2			830	1,110	1,390	1,660	2,220	2,780
大ホール中楽屋3			830	1,110	1,390	1,660	2,220	2,780
大ホール中楽屋4			830	1,110	1,390	1,660	2,220	2,780
大ホール小楽屋1			580	780	970	1,170	1,560	1,950
大ホール小楽屋2			580	780	970	1,170	1,560	1,950
小ホール中楽屋1			760	1,010	1,270	1,520	2,030	2,540
小ホール中楽屋2			760	1,010	1,270	1,520	2,030	2,540
小ホール小楽屋1			580	780	970	1,170	1,560	1,950
小ホール小楽屋2			580	780	970	1,170	1,560	1,950
多目的ギャラリー			3,830	5,110	6,390	7,670	10,220	12,780

備考

- 1 入場料その他これに類する料金（以下「入場料」という。）を徴収して大ホール又は小ホールを利用する場合の基準額は、この表に定める基準額に、次に掲げる入場料の額（入場料の額に2以上の区分があるときは、そのうちの最高額）の区分に応じた額を加算した額とする。
 - ア 3,000円以下のもの 10割相当額（徴収する入場料の額が1,000円以下で、かつ、営利を目的としない場合にあっては、5割相当額）
 - イ 3,000円を超え、5,000円以下のもの 15割相当額
 - ウ 5,000円を超えるもの 20割相当額
- 2 入場料を徴収しないが営利を目的として、大ホール又は小ホールを利用する場合の基準額は、この表に定める基準額に10割相当額を加算した額とし、入場料を徴収し、又は入場料を徴収しないが営利を目的としてスタジオ1、スタジオ2又は多目的ギャラリーを利用する場合の基準額は、この表に定める基準額に5割相当額を加算した額とする。
- 3 楽屋を他の用途に利用する場合の基準額は、この表に定める基準額に5割相当額を加算した額とする。
- 4 この表に定める利用時間を超えて利用する場合の基準額は、この表に定める基準額（前3号の規定により加算した場合は、その加算した額を含む。）に、1時間までごとに、当該基準額の1時間当たりの額を加算した額とする。
- 5 大ホール、小ホール、スタジオ1、スタジオ2又は多目的ギャラリーを準備のために利用する場合の基準額は、この表に定める基準額（備考第1号若しくは第2号又は前号の規定により加算した場合は、その加算した額を含む。）の5割相当額とする。
- 6 冷暖房期間（11月1日から翌年の3月31日まで及び6月1日から9月30日までの間をいう。）において冷暖房料を徴収する場合の基準額は、この表に定める基準額（前各号の規定により加算した場合は、その加算した額を含む。）の3割相当額とする。

- 7 休日とは、国民の祝日に関する法律に規定する休日をいう（(2)の表において同じ。）。
- 8 備考第1号から第6号までにおいて算出した額に10円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てる。

(2) その他

区分	単位	基準額
屋外施設	1平方メートルにつき1日までごと	7円

備考

- 1 「屋外施設」とは、前庭広場、中庭広場及び駐車場をいう。
- 2 屋外施設は、知事が定める用途に限り、利用することができる。
- 3 屋外施設を日曜日、土曜日又は休日に利用する場合の基準額は、この表に定める基準額に2割相当額を加算した額とする。
- 4 「1日」とは、午前9時から午後10時までをいう。

2 設備の基準額

種別	単位	基準額
舞台大道具及び小道具	1回1点につき	知事が定める額
舞台関係設備	1回1点につき	知事が定める額
音響関係設備	1回1点につき	知事が定める額
楽器	1回1点につき	知事が定める額
映写機	1回1点につき	知事が定める額
その他設備器具	1回1点につき	知事が定める額

備考 「1回」とは、午前9時から正午まで、午後1時から午後5時まで又は午後6時から午後10時までのそれぞれの時間帯における利用をいう。

別表第2（第20条関係）

区分		観覧料の額（1人1回につき）	
		個人の場合	団体（20人以上の場合をいう。）の場合その他教育委員会規則で定める割引制度に該当する場合
常設展	大学の学生又はこれに準ずる者	200円	160円
	その他の者	300円	240円
企画展		その都度教育委員会が定める額	

備考

- 1 「企画展」とは、常設展以外の展示で特別の企画に基づくものをいう。
- 2 常設展と企画展とを同日中に観覧しようとする者の常設展の観覧料の額は、この表に定める額の5割相当額とする。

別表第3（第20条関係）

区分	年間観覧料（同一人が1年間に常設展又は企画展を観覧する場合の観覧料）の額
小学校の児童、中学校若しくは高等学校の生徒又はこれらに準ずる者	1,500円以内で教育委員会が定める額
大学の学生又はこれに準ずる者	3,000円以内で教育委員会が定める額
その他の者	5,000円以内で教育委員会が定める額

島根県立石見美術館管理規則をここに公布する。
島根県立石見美術館管理規則

(趣旨)

第1条 この規則は、島根県芸術文化センター条例（平成16年島根県条例第51号。以下「条例」という。）第29条に基づき、島根県立石見美術館（以下「美術館」という。）の管理に関し必要な事項を定めるものとする。

(指定管理者の申請に関する書類)

第2条 条例第7条第2項の申請書は、指定管理者指定申請書（様式第1号）によらなければならない。

2 条例第7条第2項の教育委員会規則で定める書類は、次のとおりとする。

- (1) 定款、寄附行為、規約その他これらに準ずる書類
- (2) 法人にあっては、当該法人の登記事項証明書
- (3) 前項の申請書を提出する日の属する事業年度の事業計画書及び収支予算書並びに過去2年間の事業報告書、収支計算書、貸借対照表及び財産目録又はこれらに準ずる書類
- (4) 役員の名簿及び略歴を記載した書類
- (5) 団体の概要を記載した書類
- (6) 前各号に掲げるもののほか、教育委員会（以下「委員会」という。）が必要と認める書類（平17教委規則14・一部改正）

(事業報告書の内容等)

第3条 条例第9条の規則等で定める日は、毎会計年度終了後60日とする。ただし、条例第11条第1項の規定により指定管理者の指定を取消された場合は、その取消の日から60日とし、その報告の対象となる期間は当該取消の前日までとする。

2 条例第9条の規則等で定める内容は、次のとおりとする。

- (1) 美術館の管理の体制
- (2) 美術館の管理業務の実施状況及び使用の実績
- (3) 美術館の管理に要した経費の収支状況
- (4) 前各号に掲げるもののほか、美術館の管理に関し委員会が必要と認める事項

(観覧料の納付)

第4条 観覧料は、前納とする。ただし、委員会が特に認めた場合は、後納とすることができる。

(年間観覧券)

第5条 年間観覧料を支払った者に対しては、年間観覧券を交付するものとし、その有効期間は、年間観覧券を交付した日から起算して1年間とする。

2 年間観覧券の使用は、同一人に限るものとする。

(観覧料の減免)

第6条 次の各号に掲げる者（条例別表第2個人の場合の欄に該当する場合に限る。）が、美術館の展示する美術品及び美術に関する資料を観覧しようとするときは、条例第21条の規定により、条例別表第2個人の場合の欄に定める額（以下この項において「観覧料の額」という。）から当該各号に定める額を減免することができる。

- (1) 小学校の児童、中学校若しくは高等学校の生徒又はこれらに準ずる者で、学校が編成した教育課程に基づく活動により教職員に引率されて観覧する者 観覧料の全額
- (2) 前号に掲げる者を引率する教職員 観覧料の額の全額
- (3) 身体障害者福祉法（昭和24年法律第283号）第15条第4項の身体障害者手帳、療養手帳（知的障害者の福祉の充実を図るため、児童相談所又は知的障害者更生相談所において知的障害者と判定された者に対して交付される手帳で、その者の障害の程度その他の事項の記載があるものをいう。）又は精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和25年法律第123号）第45条第2項の精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者（以下次項において「障害者」という。） 観覧料の額の全額
- (4) 障害者の付添人（原則として障害者の人数と同じ人数までに限る。） 観覧料の額の全額
- (5) 前各号に掲げるもののほか、委員会が特別の理由があると認める者 委員会が別に定める額

2 前項の規定により観覧料の減免を受けようとする者は、あらかじめ、観覧料減免申請書（様式第2号）を提出し、委員会の承認を受けなければならない。ただし、前項第3号及び第4号に規定する者については、この限りでない。

(観覧料の割引制度)

第7条 条例別表第2に規定する教育委員会規則で定める割引制度は、次に掲げる事項とする。

- (1) 他の観光施設等の管理者等と共同で発行する共通割引券を利用して観覧する場合
- (2) 別に定める者が運営する交通機関を利用する者が、別に定める乗車券等を提示して観覧する場合
- (3) 前2号に掲げるもののほか、美術館の利用を促進するものとして特に必要と認める場合

(センター協議会)

第8条 センター協議会に関し必要な事項は、別に定める。

(委任)

第9条 この規則に定めるもののほか、美術館の管理に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

附 則

この規則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則（平成17年教委規則第14号）

この規則は、公布の日から施行する。

指定管理者指定申請書

年 月 日

様

所在地

申請者 名称

代表者氏名

印

島根県芸術文化センターの指定管理者について指定を受けたいので、島根県芸術文化センター条例第7条第2項の規定に基づき下記のとおり申請します。

記

団体名			
代表者職・氏名			
主たる事務所の所在地			
設立年月日	年 月 日	構成員の 人数	人
資本金			円
提携団体（他団体と連携して管理を行う場合に記入すること。）			

様式第2号（第6条関係）

島根県立石見美術館観覧料減免申請書

年 月 日

様

所在地

（団体にあっては、主たる事務所の所在地）

氏名

申請者

（団体にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号（自宅及び勤務先）

下記のとおり観覧料の減免を受けたいので申請します。

記

観覧期日	年 月 日（ ）曜日		
展覧会名			
減免を申請する理由	<input type="checkbox"/> 小学校の児童、中学校若しくは高等学校の生徒又はこれらに準ずる者が、学校が編成した教育課程に基づく活動により教職員に引率されて観覧する場合 <input type="checkbox"/> 上記の者を教職員が引率する場合 <input type="checkbox"/> その他の場合 （ ）		
区分	正規の観覧料	※ 減免率	※ 減免後の観覧料
小学校の児童、中学校若しくは高等学校の生徒又はこれらに準ずる者	円× 人＝ 円	%	円
上記を引率する教職員	円× 人＝ 円	%	円
その他の者	円× 人＝ 円	%	円
合計			円

（注） ※印欄は、記載しないでください。

施設概要

■島根県芸術文化センター（島根県立石見美術館、島根県立いわみ芸術劇場）

【所在地】 島根県益田市有明町5番15号

【設計期間】 2001年4月～2002年7月

【工事期間】 2002年11月～2005年3月

【設計】 内藤廣建築設計事務所

【構造設計】 空間工学研究所

【設備設計】 明野設備研究所

【コンサルタント】

- 設計協力：江角彰宣・みずほ設計
- 舞台機構：シアターワークショップ
- 舞台照明：シアターワークショップ
- 舞台音響：唐澤誠建築音響設計事務所
- サイン：矢萩喜從郎
- 共同監理：島根県益田土木建築事務所

【敷地面積】 36,564.16㎡

【建築面積】 14,068.15㎡

【延床面積】 19,252.45㎡

1階：13,313.01㎡、2階：2,893.78㎡

地下1階：3,045.66㎡

【建蔽率】 38.4%（許容：60%）

【容積率】 52.6%（許容：200%）

【用途】 美術館・劇場

【規模】 地上2階 地下1階

【最高高さ】 32.24m

【構造】 RC造、一部PC、S造

【設備】

●空調設備、空調方式

ホール・美術館：単一ダクト方式

事務・ホール楽屋：ファンコイルユニット、単一ダクト方式

レストラン・ホール調整室：空冷パッケージ、全熱交換器方式

●熱源

冷熱源：吸収式冷温水機、ブライン冷凍機（氷蓄熱・追掛）、

空冷ヒートポンプチラー方式

氷製氷時は深夜電力利用（蓄熱製氷方式・ダイナミック型）

温熱源：吸収式冷温水機、空冷ヒートポンプチラー方式、

ボイラー方式

●衛生設備

給水：受水槽、加圧給水ポンプ方式

給湯：楽屋・レストラン厨房＝中央式（ガス給湯器）、

その他：局所式（電気温水器）

排水：建物内＝汚・雑排水合流方式

建物外＝合併浄化槽方式（放流水BOD 20mg/L以下）

●電気設備

受電方式：高圧3相3線6.6KV 1回線

設備容量：6250kVA

契約電力：1500kVA

予備電源：高圧ガスタービン発電機 750kVA

●防災設備

消火設備：全館スプリンクラー設備

（ホール舞台部：開放型、その他：閉鎖型）

美術館展示室・収蔵庫＝ハロゲン化物消火設備

（ハロンバンク登録）

補助散水栓

排煙：自然排煙、機械式排煙

その他：自動火災報知設備、非常放送設備、誘導灯設備、

非常用照明

昇降機：乗用エレベーター、荷物用エレベーター

特殊設備：水景設備（中庭）＝オーバーフロー循環方式・

砂濾過方式

【施工】

●建築：大成建設・大畑建設・日興建設特別共同企業体

●空調：新菱冷熱・電設サービス・技研設備特別共同企業体

●衛生：新日本空調・吉村設備・角田工業特別共同企業体

●強電：中電工・北陽・山代特別共同企業体

●弱電：栗原工業

●舞台機構：森平舞台機構

●舞台照明：丸茂電機

●舞台音響：ヤマハサウンドテック

●非常用発電：東芝

●エレベーター：東芝エレベーター

●浄化槽：アルファプランニングワーク

●外構：大畑建設・日興建設特別共同企業体

●植栽：田部、大畑建設

●アスファルト舗装：大成建設・大畑建設・日興建設特別共同企業体

●屋根・外壁石州瓦：

施工＝益田窯業

製造＝益田窯業、木村窯業、シバオ

瓦ファスニングシステム（外壁石州瓦取付）

＝シマムラ

●外壁タイル：

施工＝協和タイル

製造＝株式会社 スカラ

●特殊照明：ヤマギワ

〔諸室面積一覧〕

石見美術館

●展示前室	255.2㎡
●展示室A	388.8㎡
●展示室B	202.5㎡
●展示室C	307.8㎡
●展示室D	1091.5㎡
●美術館ロビー	498.2㎡
●搬入荷解スペース(展示倉庫含む)	282.5㎡
●美術館搬入口	178.6㎡
●収蔵庫1	290.3㎡
●収蔵庫2	189.0㎡
●収蔵庫前室	61.1㎡
●一時保管庫	101.2㎡
●修復室	35.6㎡
●隔離室	22.8㎡
●写真室	99.8㎡
●学芸員室	61.8㎡
●研究資料室	47.7㎡

共用・管理部門

●応接室	43.0㎡
●センター長室	22.9㎡
●副センター長室	22.9㎡
●ホール館長室	22.9㎡
●事務室	170.2㎡
●講義室	102.1㎡
●ボランティア室	43.4㎡
●アテンダント控室	20.2㎡
●救護室	7.4㎡
●授乳室	10.3㎡
●AV機械室	23.6㎡
●中央監視室	47.3㎡
●清掃員室	16.8㎡

●回廊	1358.3㎡
●中庭広場	2079.3㎡
●美術館中庭	170.5㎡
●事務中庭	220.5㎡

●多目的ギャラリー	182.4㎡
●ミュージアムショップ	89.0㎡
●レストラン	182.6㎡

いわみ芸術劇場

大ホール

●ホワイエ 1F/2F	1436.5㎡
●客席 1F/2F	1153.3㎡
●舞台	1965.3㎡
●親子室	15.1㎡
●要約筆記室	14.7㎡
●調光操作室	29.8㎡
●音響調整室	24.4㎡
●奈落	138.7㎡
●オーケストラピット	89.9㎡
●客席ワゴン収納庫	197.7㎡

●小楽屋1	19.6㎡
●小楽屋2	19.6㎡
●中楽屋1	31.0㎡
●中楽屋2	30.9㎡
●中楽屋3	32.0㎡
●中楽屋4	32.0㎡
●大楽屋1	73.4㎡
●大楽屋2	74.0㎡
●楽屋サロン	106.7㎡
●主催者控室	10.3㎡
●楽屋中庭	86.6㎡

小ホール

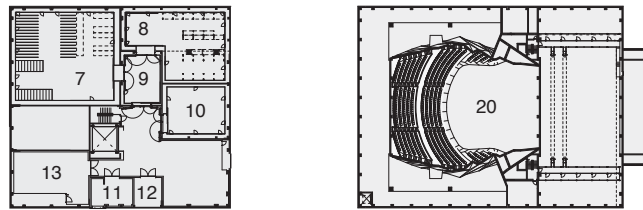
●ホワイエ 1F/2F	478.4㎡
●客席	394.6㎡
●舞台	416.6㎡
●調光操作室	27.3㎡
●音響調整室	26.8㎡
●投映室	12.9㎡

●小楽屋1	16.4㎡
●小楽屋2	16.4㎡
●中楽屋1	27.7㎡
●中楽屋2	27.5㎡
●ラウンジ	74.0㎡
●主催者控室	10.9㎡
●楽屋中庭	174.2㎡

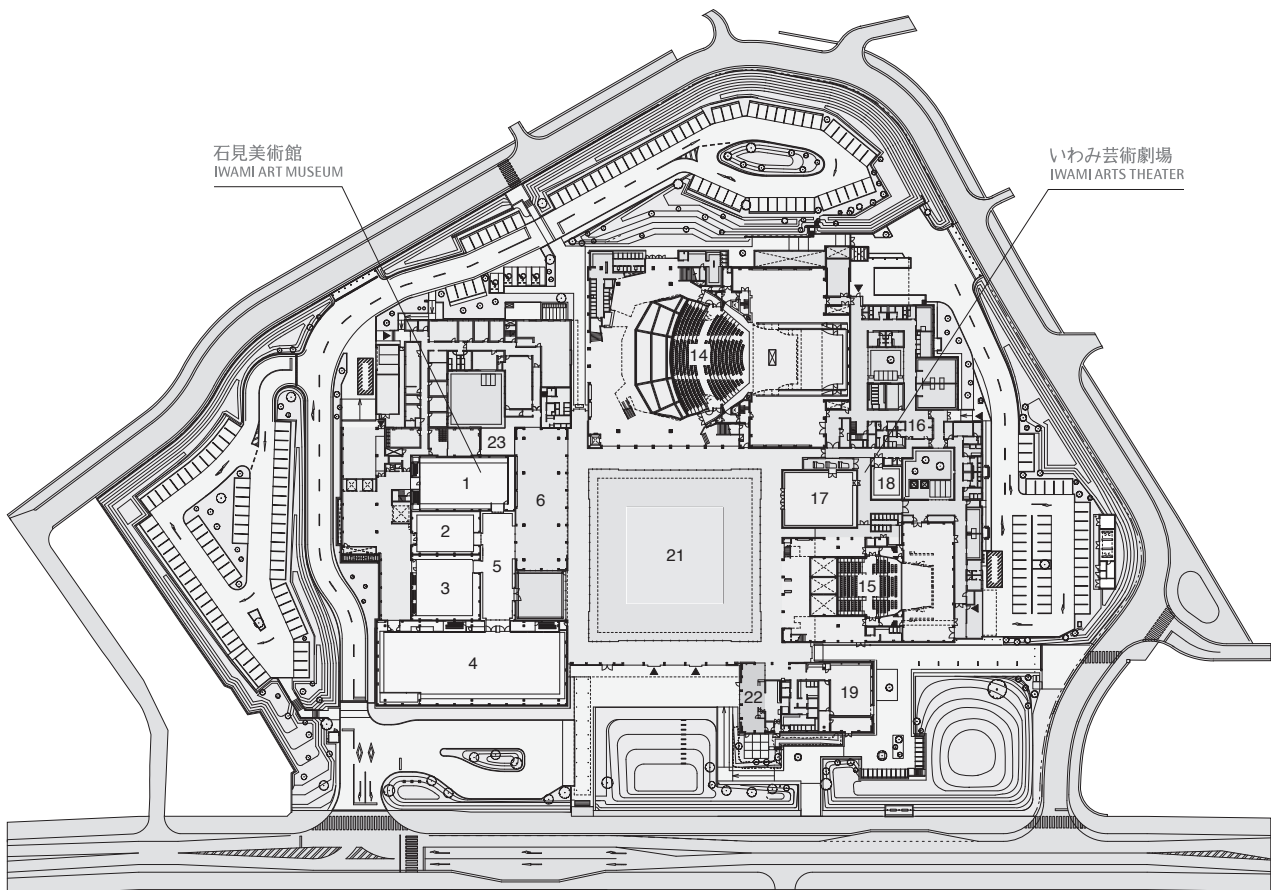
●楽屋ロビー	43.0㎡
●楽屋事務室	15.8㎡

●スタジオ1	256.4㎡
●スタジオ2	70.9㎡
●ピアノ庫	42.4㎡
●スタジオロッカー室 1/2	14.1㎡

2F



1F



石見美術館

- | | |
|----------|----------|
| 1:展示室 A | 8:収蔵庫 2 |
| 2:展示室 B | 9:収蔵庫前室 |
| 3:展示室 C | 10:一時保管庫 |
| 4:展示室 D | 11:修復室 |
| 5:展示前室 | 12:隔離室 |
| 6:美術館ロビー | 13:写真室 |
| 7:収蔵庫 1 | |

いわみ芸術劇場

- | | |
|----------------|---------------|
| 14:大ホール | 21:中庭広場 |
| 15:小ホール | 22:レストラン |
| 16:楽屋 | 23:ミュージアムショップ |
| 17:スタジオ 1 | |
| 18:スタジオ 2 | |
| 19:多目的ギャラリー | |
| 20:大ホール 2 F 客席 | |

運営組織体制

施設名称

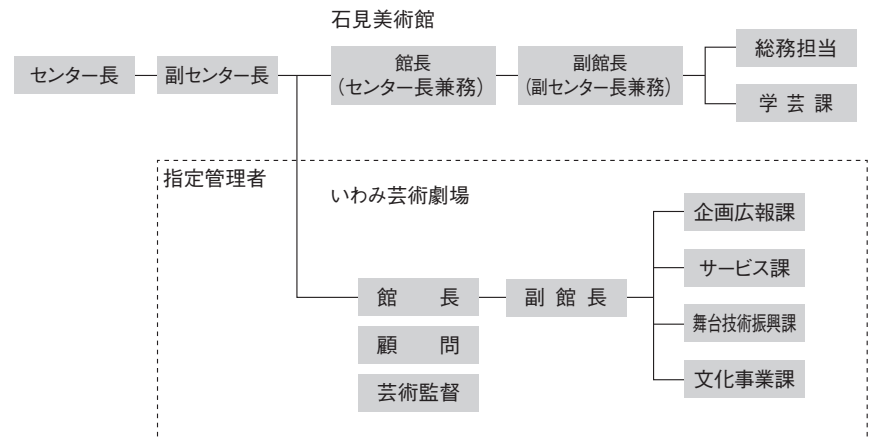
島根県芸術文化センター(島根県立石見美術館、島根県立いわみ芸術劇場)

組織体制

島根県芸術文化センター協議会

協議会委員(13名)

島根県芸術文化センター



シンボルマーク

このシンボルマークは、島根県を示すアルファベットの「S」と石見を示すアルファベットの「I」で構成され、また日本海の遠望を連想させる奥行きも加味してデザインされたものである。アルファベットの「I」のオレンジ色のイメージは石州瓦の色を連想させるだけでなく、他の色との組み合わせで色彩豊かにすることで、美術館とホールの文化施設を晴れやかに謳い上げることをイメージさせる。

矢萩喜徳郎



利用案内

開館(利用)時間

石見美術館：10:00-18:30(展示室への入場は18:00まで)
 いわみ芸術劇場：9:00-22:00

休館日

石見美術館：毎週火曜日、年末年始
 いわみ芸術劇場：毎月第2火曜日及び第4火曜日、年末年始
 (火曜日が祝日の場合は、その翌日以降の最初の休日でない日が休館日)
 ※催しにあわせて休館日を変更する場合があります。

石見美術館観覧料

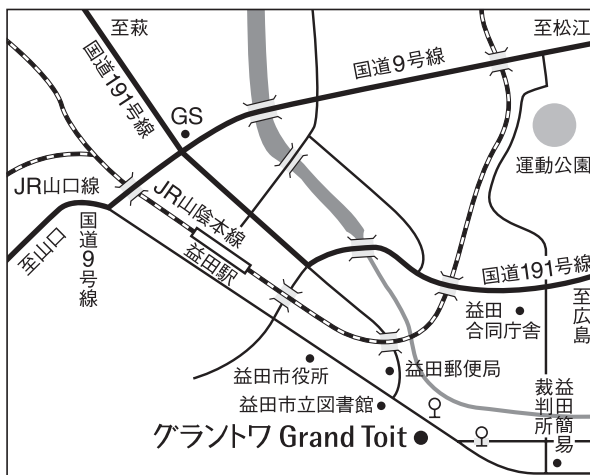
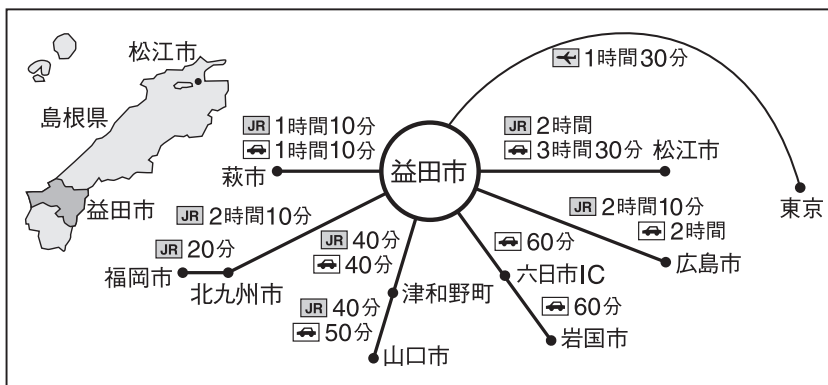
コレクション展：一般300(240)円/大学生200(160)円/高校生以下は無料
 企画展：一般 1000(800)円/大学生600(450)円/小中高生300(250)円
 ()内は20名以上の団体料金
 ・コレクション展と企画展とを同時に観覧する場合は、コレクション展の観覧料が半額になります。
 ・中高生(引率者含む)の学校教育活動による観覧は無料。(事前にセンターにご連絡下さい)
 ・身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保険手帳をお持ちの方及びその介助者は観覧無料。

いわみ芸術劇場利用料

センターへ直接お問い合わせ下さい。

交通案内

- ・石見交通バス「グラントワ前」下車 徒歩1分
- ・JR益田駅から 徒歩15分
- ・萩・石見空港から連絡バスJR益田駅まで 約15分
- ・浜田自動車道浜田ICから自動車 約50分
- ・JR新山口駅からJR益田駅まで特急 約90分
- ・◎駐車場あります(200台・無料)
- ・※ただし土日祝などイベント開催時は駐車場の混雑が予想されます。



平成27年3月30日発行

発行 **島根県立石見美術館**

〒698-0022 島根県益田市有明町5-15

島根県芸術文化センター「グラントワ」内

TEL0856-31-1860(代表) FAX0856-31-1884(代表)

E-mail : zaidan@grandtoit.jp <http://www.grandtoit.jp>



島根県芸術文化センター
SHIMANE ARTS CENTER
石見美術館
IWAMI ART MUSEUM